

**令和 2 年度**  
**指標達成度調査業務**  
**(事業の効果に関する市民意識調査)**  
**報告書**

令和 3 年 3 月

札幌市

<b>1. 調査実施の概要</b> .....	<b>4</b>
(1) 調査の目的.....	4
(2) 内容.....	4
(3) 設計.....	4
(4) 回収結果.....	4
(5) 回答者の特性.....	5
(6) 本調査結果利用上の注意.....	6
<b>2. 調査結果の詳細</b> .....	<b>8</b>
(1) 「暮らし・コミュニティ」について.....	8
子どもの権利の保護.....	8
自然・社会・文化体験をしやすい環境.....	13
社会的役割の実感.....	15
相談相手や情報収集手段の有無.....	17
子育てに関する不安や負担の軽減.....	19
ひとり親家庭の生活に対する不安.....	21
ひとり親家庭の生活について具体的に不安を感じている事柄.....	23
仕事と生活の調和.....	25
仕事と生活の調和がよりとれるようになると思う要素.....	27
子ども・子育て支援施策の充実度.....	29
子どもの生み育てやすい環境.....	41
障がい者の暮らしやすさ.....	43
生活や健康福祉の相談先.....	47
孤立死の心配.....	50
継続的に行っているまちづくり活動.....	52
市民参加の機会.....	56
市政への関心や参加.....	66
市政への参加しやすさに必要な事柄.....	68
海外交流への関心.....	71
行ったスポーツ（運動）.....	74
スポーツの頻度.....	81
直接観戦したスポーツ.....	83
札幌の水道.....	86
水道に関する取り組み.....	92
(2) 「低炭素社会・エネルギー転換」について.....	95
生ごみ減量・リサイクルの取り組み.....	95
「生物多様性」の言葉の意味.....	98

環境配慮活動について.....	101
(3)「戦略を支える都市空間」について.....	108
住環境の満足度.....	108
公共交通の満足度.....	110

### **3. 調査票 ..... 112**

# **1. 調査実施の概要**

## 1. 調査実施の概要

### (1) 調査の目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意識を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

### (2) 内容

- ① 「暮らし・コミュニティ」について
- ② 「低炭素社会・エネルギー転換」について
- ③ 「戦略を支える都市空間」について

### (3) 設計

この調査は、次のとおり設計した。

- ① 調査地域： 札幌市内
- ② 調査対象： 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数： 4,000 人
- ④ 調査方法： 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間： 令和 3 年 2 月 8 日（月）～3 月 1 日（月）
- ⑥ 抽出方法： 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」  
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

### (4) 回収結果

発送数： 4,000

回収数（率）： 1,545（38.6%）

## (5) 回答者の特性

		回答者数	男性	女性	無回答	計
全体		1,545	639	885	21	1,545
性別	男性	639	639	0	0	639
	女性	885	0	885	0	885
	無回答	21	0	0	21	21
年代別	18～19歳	23	11	12	0	23
	20～29歳	117	52	65	0	117
	30～39歳	198	70	128	0	198
	40～49歳	273	103	169	1	273
	50～59歳	251	95	155	1	251
	60～64歳	149	67	82	0	149
	65～69歳	136	67	68	1	136
	70歳以上	380	174	204	2	380
	無回答	18	0	2	16	18
居住区別	中央区	194	73	120	1	194
	北区	212	89	122	1	212
	東区	200	90	108	2	200
	白石区	142	62	80	0	142
	厚別区	101	36	65	0	101
	豊平区	191	74	117	0	191
	清田区	100	51	49	0	100
	南区	109	49	59	1	109
	西区	168	63	105	0	168
	手稲区	106	49	57	0	106
	無回答	22	3	3	16	22

**(6) 本調査結果利用上の注意**

- ① Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ② 各回答の比率は、回答者数の分母とした百分率であり、小数第2位を四捨五入して表している。
- ③ 1人の対象者につき2つ以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

## **2. 調査結果の詳細**

## 2. 調査結果の詳細

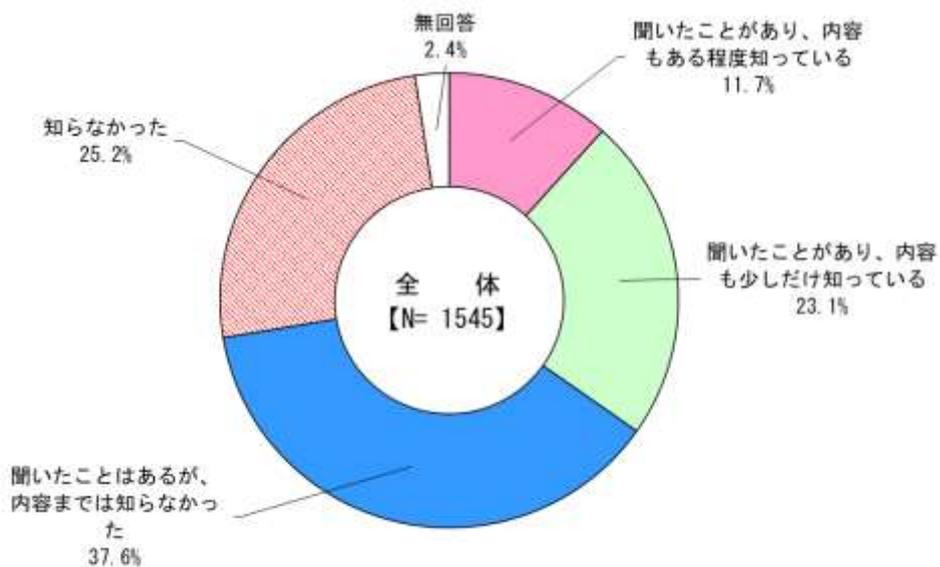
### (1) 「暮らし・コミュニティ」について

#### 子どもの権利の保護

【問1】「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために大切にされなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、これまで「子どもの権利」について知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもの権利の周知については、「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」(37.6%)と「知らなかった」(25.2%)を合わせた割合(62.8%)が全体の6割強を占めている。



#### 【対象者全体】

「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」が37.6%と最も高く、次いで「知らなかった」が25.2%、「聞いたことがあり、内容も少しだけ知っている」が23.1%、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」が11.7%となっている。

**【性別】**

男女ともに「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」が最も高く、男性で 39.0%、女性で 36.9% となっている。

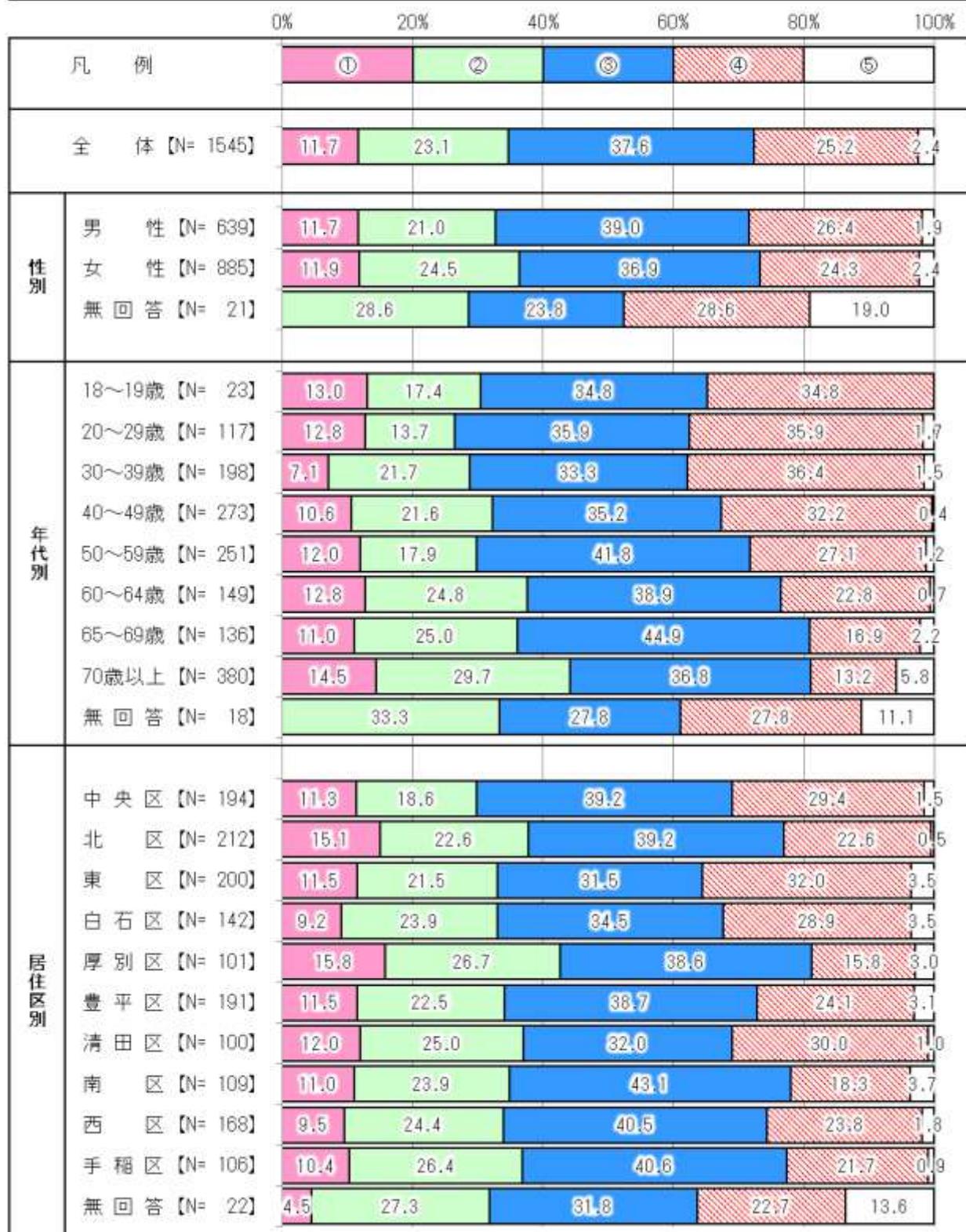
**【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。**

20 代、30 代を除く全年代において「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」が最も高いが、20 代では「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」と「知らなかった」が同値、30 代では「知らなかった」が 36.4%と最も高くなっている。

**【居住区別】**

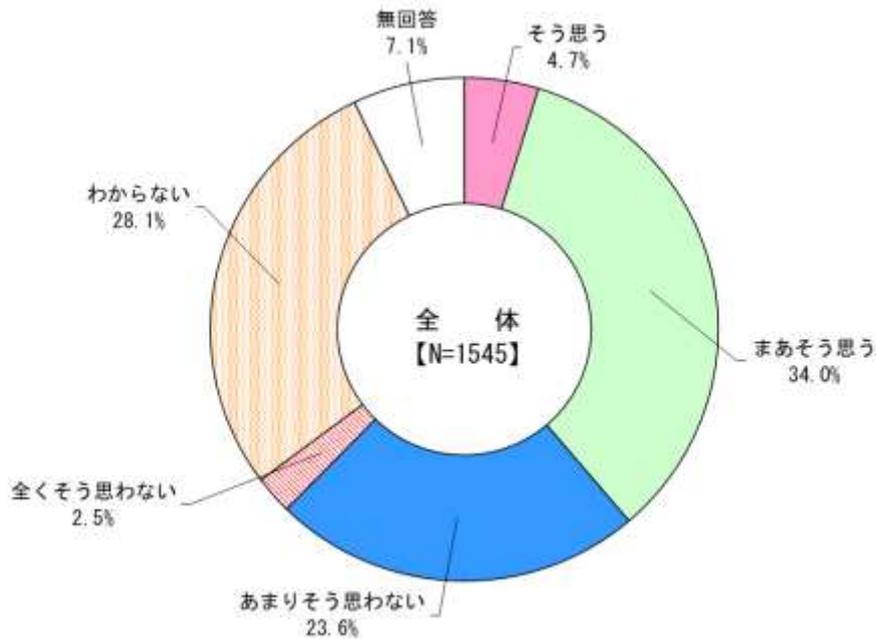
東区を除く全居住区で「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」が最も高く、その中でも南区が 43.1%と最も高くなっている。東区では「知らなかった」が最も高くなっている。

①聞いたことがあり、内容もある程度知っている ②聞いたことがあり、内容も少しだけ知っている  
 ③聞いたことはあるが、内容までは知らなかった ④知らなかった ⑤無回答



(2) あなたは、今の札幌市では、「子どもの権利」が大切にされていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもの権利については、「そう思う」(4.7%)と「まあそう思う」(34.0%)を合わせた割合(38.7%)が全体の4割弱を占めている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が34.0%と最も高く、次いで「わからない」が28.1%、「あまりそう思わない」が23.6%、「そう思う」が4.7%、「全くそう思わない」が2.5%となっている。

【性別】

男性では「わからない」が30.7%と最も高くなっている。女性では「まあそう思う」が36.3%と最も高くなっている。

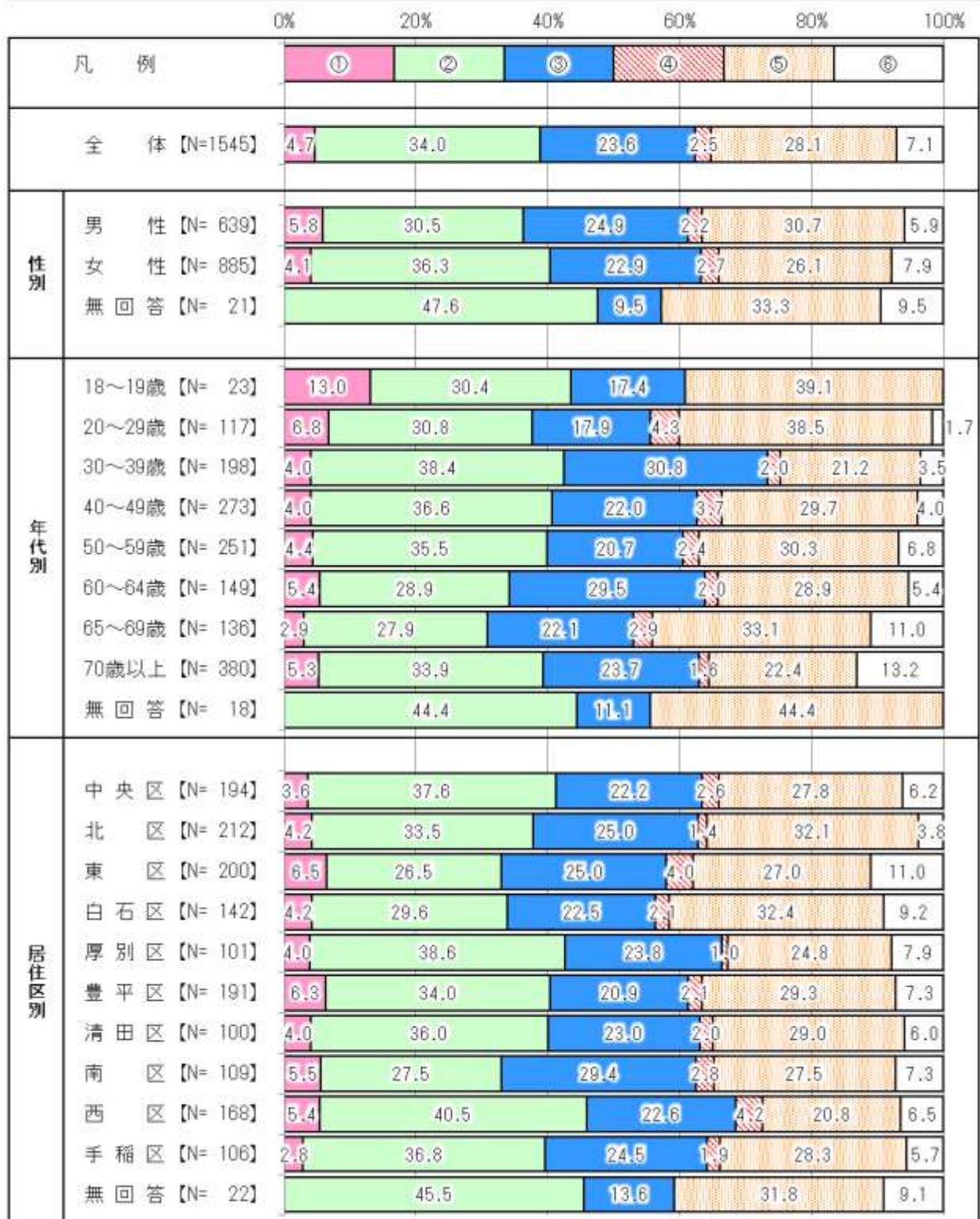
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「まあそう思う」は30代が38.4%と最も高く、また「あまりそう思わない」も30代が30.8%と最も高くなっている。

【居住区別】

「まあそう思う」は西区が40.5%と最も高い。南区では「あまりそう思わない」が29.4%と他の居住区に比べて高く、「まあそう思う」(27.5%)を上回っている。

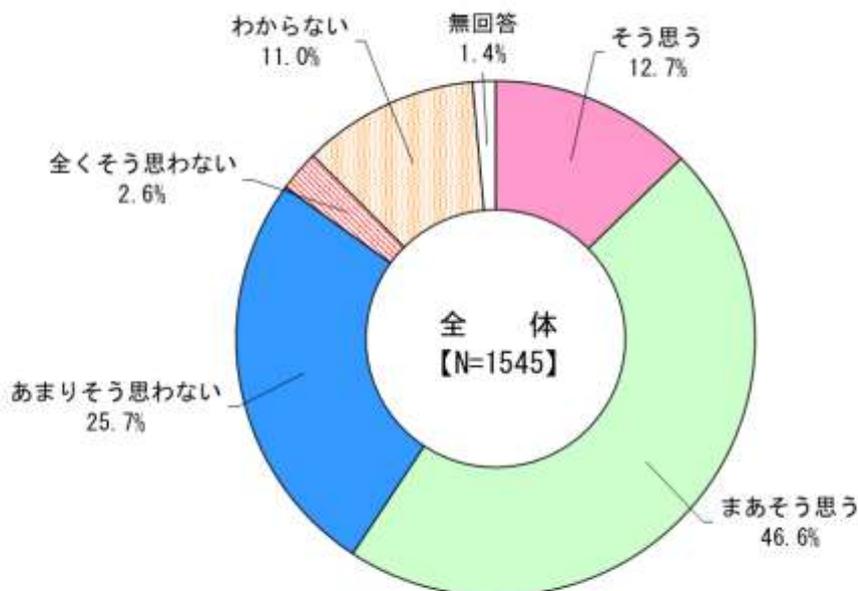
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 自然・社会・文化体験をしやすい環境

【問 2】あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

自然・社会・文化体験をしやすい環境であると思うかについては、「そう思う」（12.7%）と「まあそう思う」（46.6%）を合わせた割合（59.3%）が6割弱となっている。



### 【対象者全体】

「まあそう思う」が46.6%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が25.7%、「そう思う」が12.7%、「わからない」が11.0%、「全くそう思わない」が2.6%となっている。

### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が45.2%、女性が47.2%となっている。

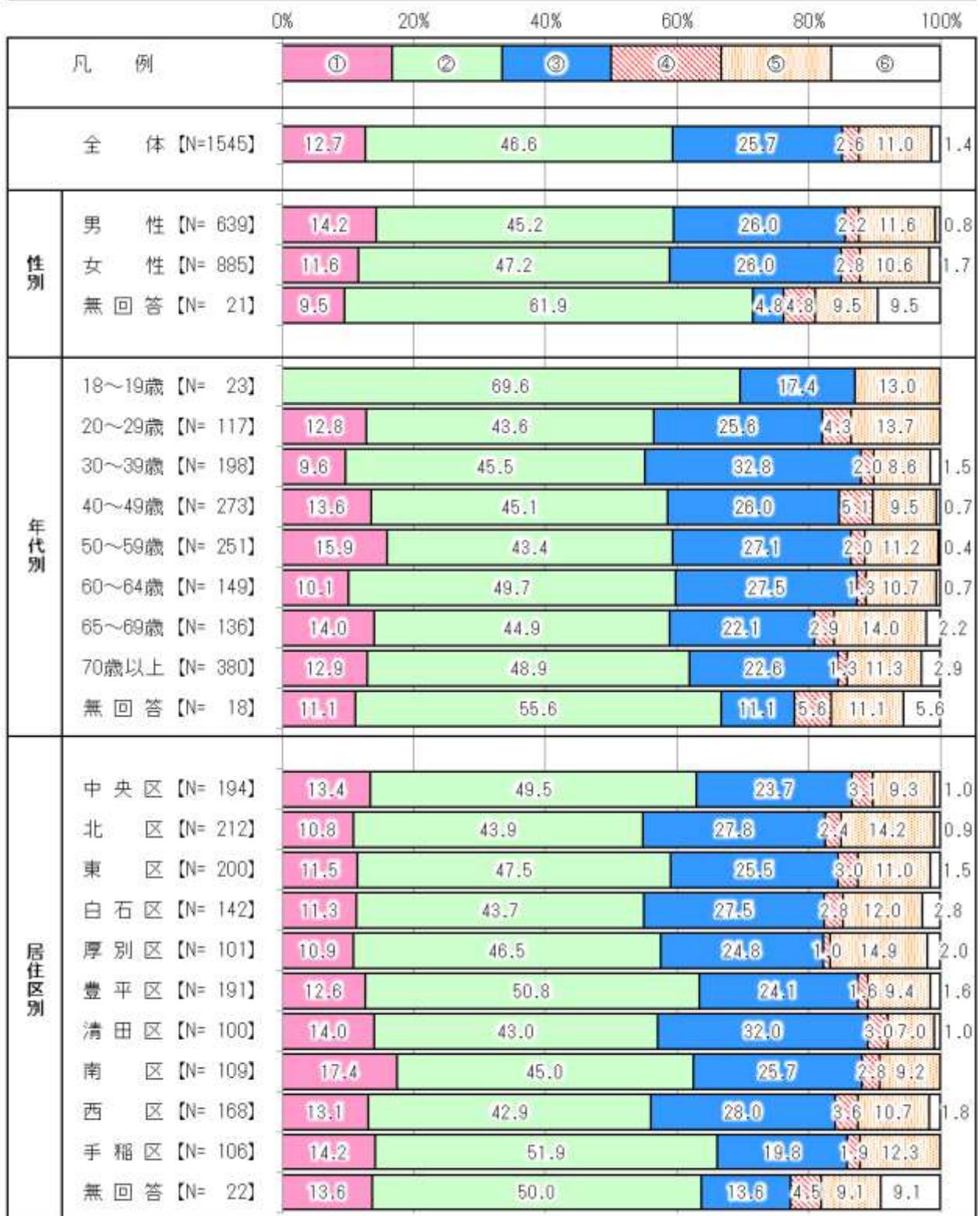
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「まあそう思う」が最も高くなっており、その中でも60歳代前半が49.7%と最も高い。「あまりそう思わない」は30歳代で32.8%と最も高い。

### 【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっており、その中でも手稲区が51.9%と最も高い。「あまりそう思わない」は清田区が32.0%と最も高い。

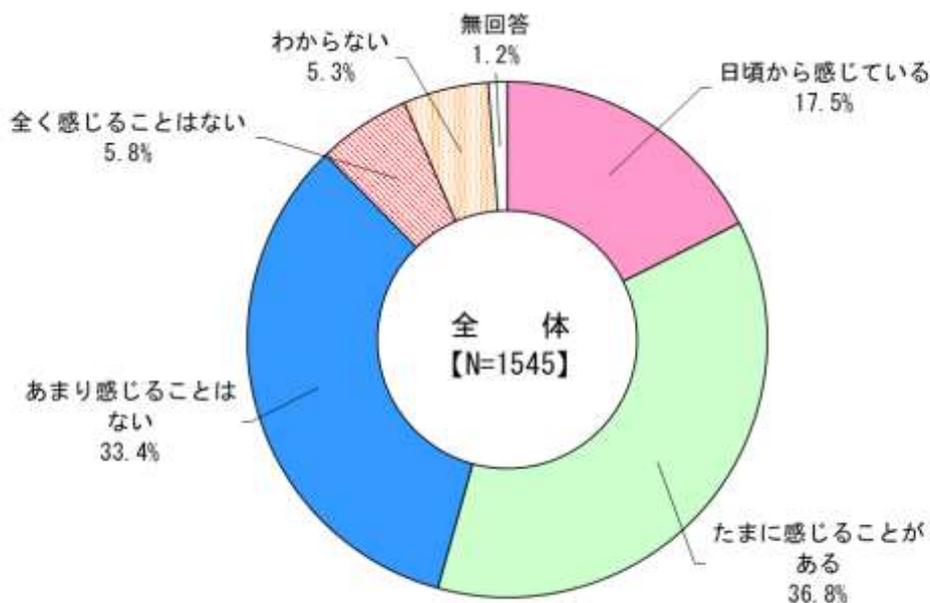
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 社会的役割の実感

【問 3】あなたは、ご自身が「社会や他人の役に立っている」、「社会や他人から必要とされている」など、社会の一員として役割を持っていると感じることがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

社会的役割の実感については、「日頃から感じている」（17.5%）と「たまに感じることもある」（36.8%）を合わせた割合（54.3%）が5割強となっている。



### 【対象者全体】

「たまに感じることもある」が36.8%と最も高く、次いで「あまり感じることはない」が33.4%、「日頃から感じている」が17.5%、「全く感じることはない」が5.8%となっている。

### 【性別】

「日頃から感じている」は女性（15.9%）よりも男性（20.2%）が4.3ポイント上回る。また「あまり感じることはない」は男性（29.9%）よりも女性（35.9%）が6.0ポイント上回る。

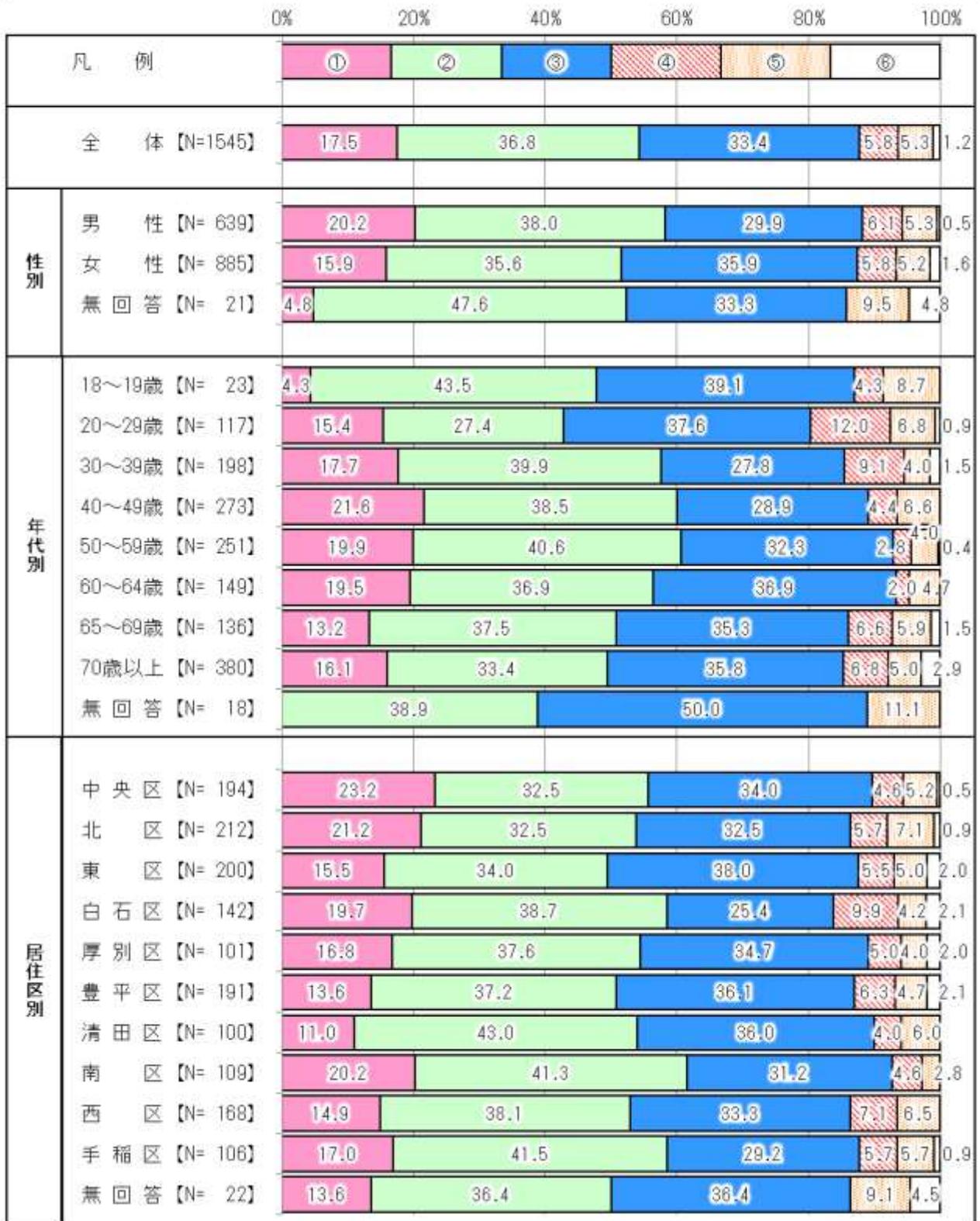
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「日頃から感じている」は40歳代で21.6%と最も高くなっている。また60歳代後半で13.2%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

「日頃から感じている」は中央区で23.2%と最も高くなっている。また清田区で11.0%と最も低くなっている。

①日頃から感じている ②たまに感じることもある ③あまり感じることはない ④全く感じることはない  
 ⑤わからない ⑥無回答

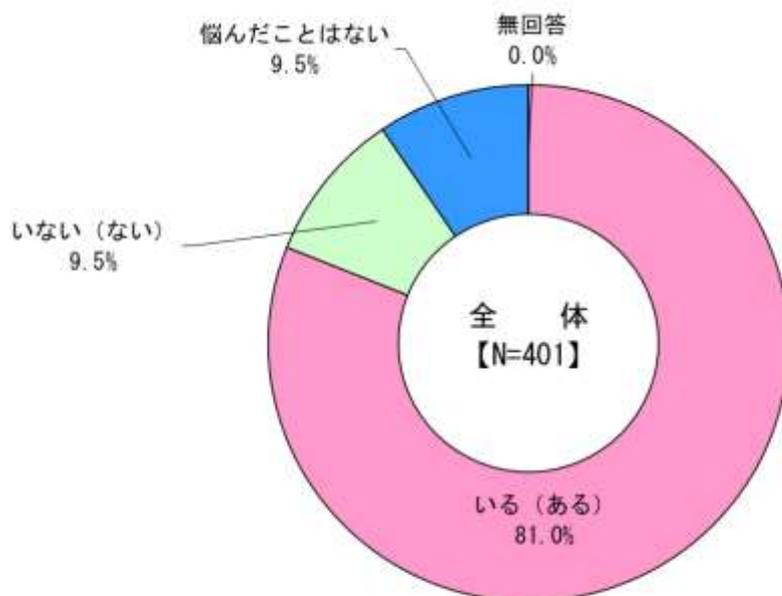


## 相談相手や情報収集手段の有無

【問 4】 この設問は 18 歳以下のお子さんがある方のみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) 妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談相手や情報収集手段の有無について、「いる（ある）」が 81.0%と全体の 8 割強を占めている。



### 【対象者全体】

「いる（ある）」が最も高く（81.0%）、次いで「いない（ない）」が 9.5%、同じく「悩んだことはない」が 9.5%となっている。

### 【性別】

男女ともに「いる（ある）」が最も高く、男性が 69.0%、女性が 88.9%と、女性の方が 19.9 ポイント高くなっている。

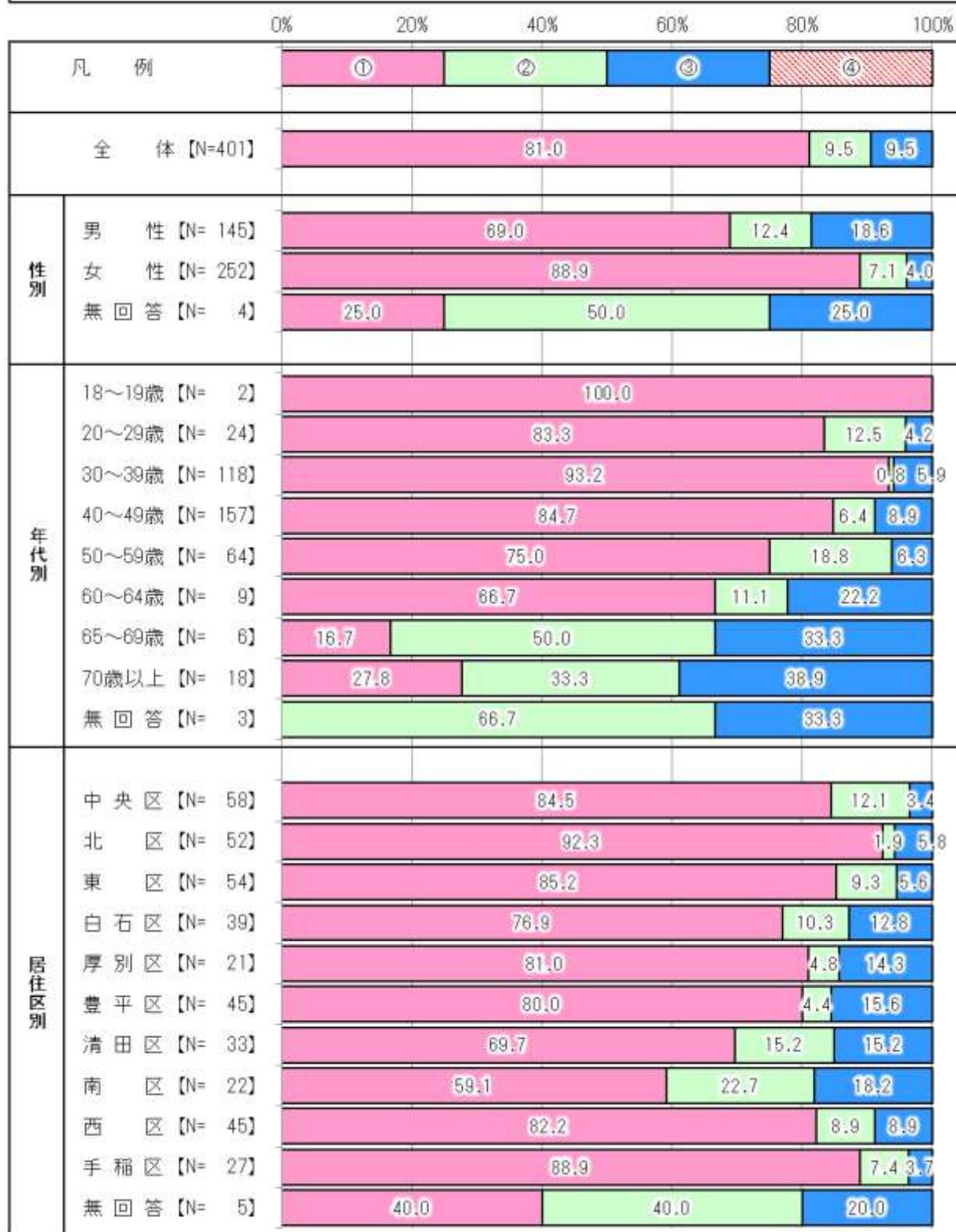
### 【年代別】 ※10 歳代、20 歳代、60 歳代、70 歳以上は少数のため参考値とする。

30 歳代から 50 歳代のいずれも「いる（ある）」が最も高いが、年代が上がるにつれて値が減少する傾向にあり、30 歳代では 93.2%だが、50 歳代では 75.0%となっている。

### 【居住区別】 ※厚別区、南区、手稲区は少数のため参考値とする。

ほぼ全ての居住区で「いる（ある）」が 7 割を超えており、特に北区で 92.3%と最も高くなっている。ただし清田区では 69.7%に留まっている。

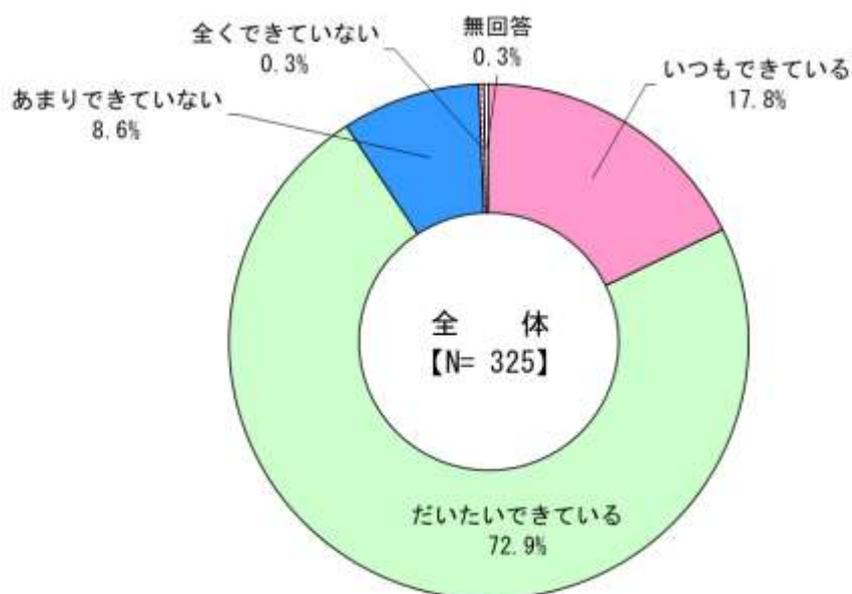
①いる（ある） ②いない（ない） ③悩んだことはない ④無回答



## 子育てに関する不安や負担の軽減

(2) (1)で「1.いる(ある)」と答えた方にお聞きします。あなたは、妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談や情報収集したことにより不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てに関する不安や負担の軽減については、「いつもできている」(17.8%)と「だいたいできている」(72.9%)と合わせた割合(90.7%)が全体の9割を占めている。



### 【対象者全体】

「だいたいできている」が72.9%と最も高く、次いで「いつもできている」が17.8%、「あまりできていない」が8.6%、「全くできていない」が0.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「だいたいできている」が最も高く、男性が67.0%、女性が75.4%となっている。「あまりできていない」は、男性が16.0%、女性が5.4%と、男性の方が10.6ポイント高くなっている。

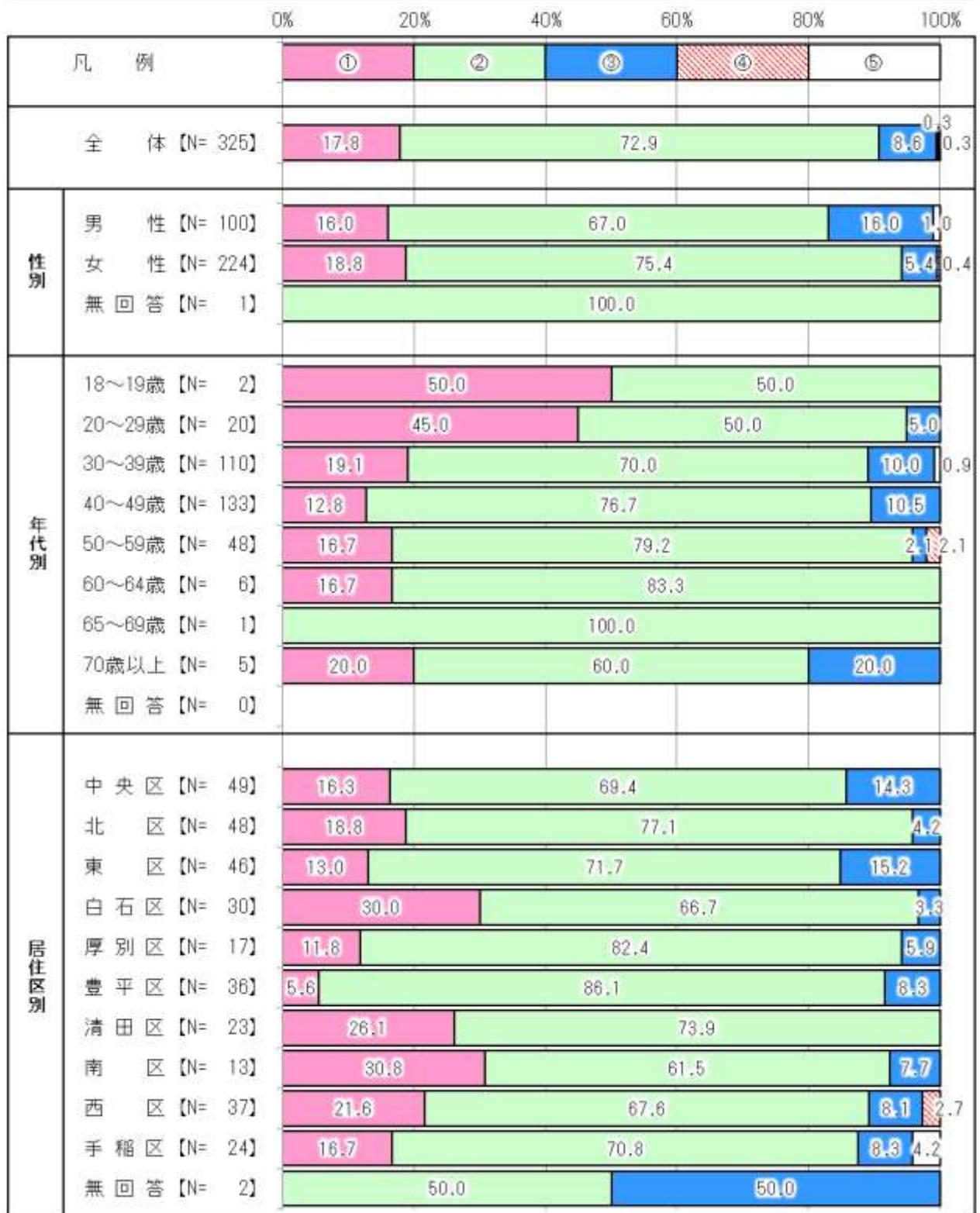
【年代別】※10歳代、20歳代、60歳代、70歳以上は少数のため参考値とする。

40歳代で「いつもできている」が12.8%と最も低く、「あまりできていない」が10.5%と最も高い。

【居住区別】※厚別区、南区、手稲区は少数のため参考値とする。

「いつもできている」は豊平区で5.6%と最も低くなっている。また「あまりできていない」は東区で15.2%と最も高くなっている。

①いつもできている ②だいたいできている ③あまりできていない ④全くできていない ⑤無回答

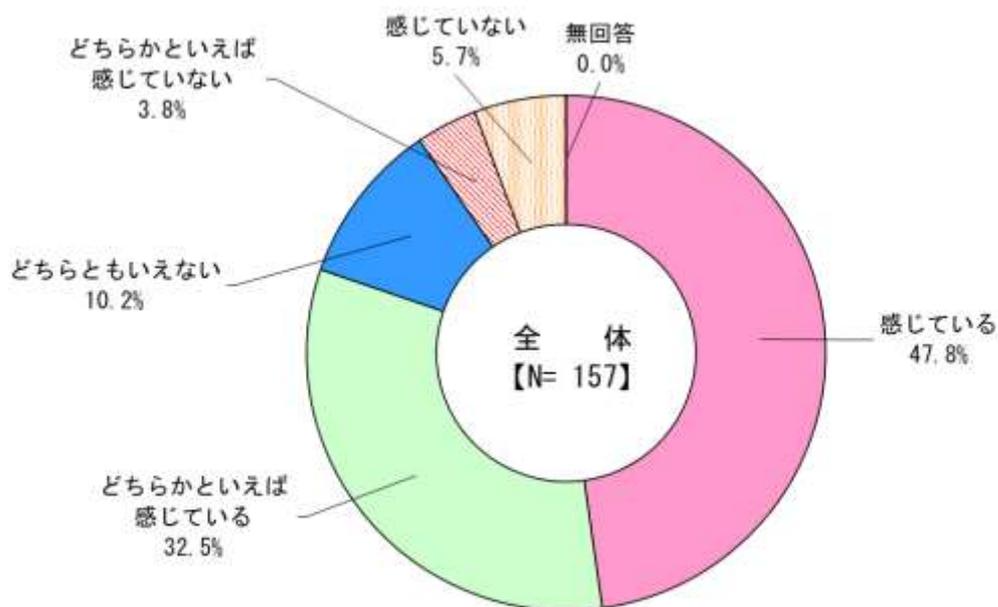


## ひとり親家庭の生活に対する不安

【問 5】 この設問は 20 歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなたは、今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

ひとり親家庭の生活に対する不安については、「感じている」(47.8%)と「どちらかといえば感じている」(32.5%)を合わせた割合(80.3%)が全体の約8割を占めている。



### 【対象者全体】

「感じている」が47.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じている」が32.5%、「どちらともいえない」が10.2%となっている

### 【性別】

男女ともに「感じている」が最も高く、男性で38.6%、女性で54.1%となっている。

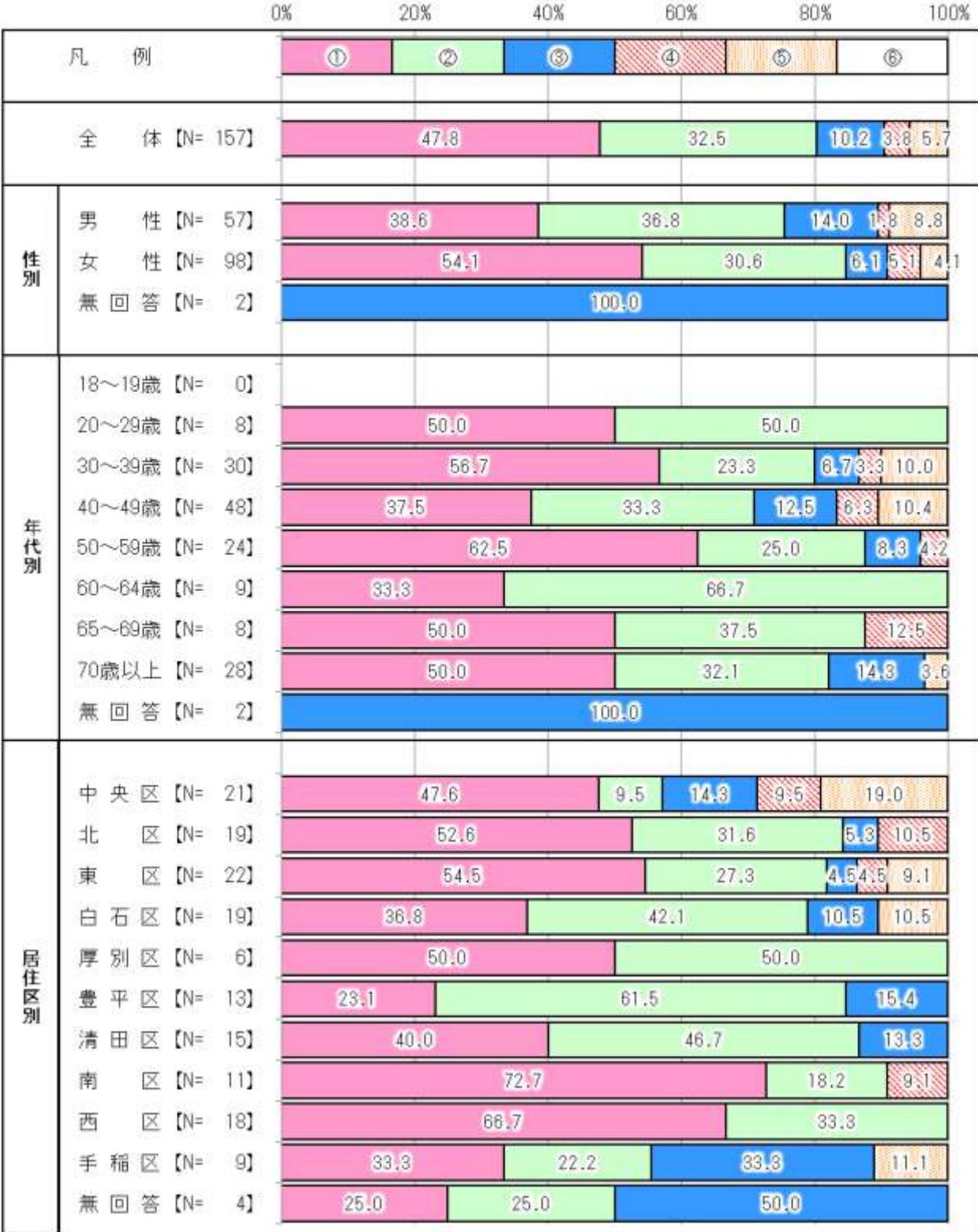
【年代別】 ※10歳代、20歳代、60歳代は少数のため参考値とする。

「感じている」は50歳代で62.5%と最も高くなっている。

【居住区別】 ※全体的に少数のため参考値とする。

「感じている」は南区で72.7%と最も高くなっている。

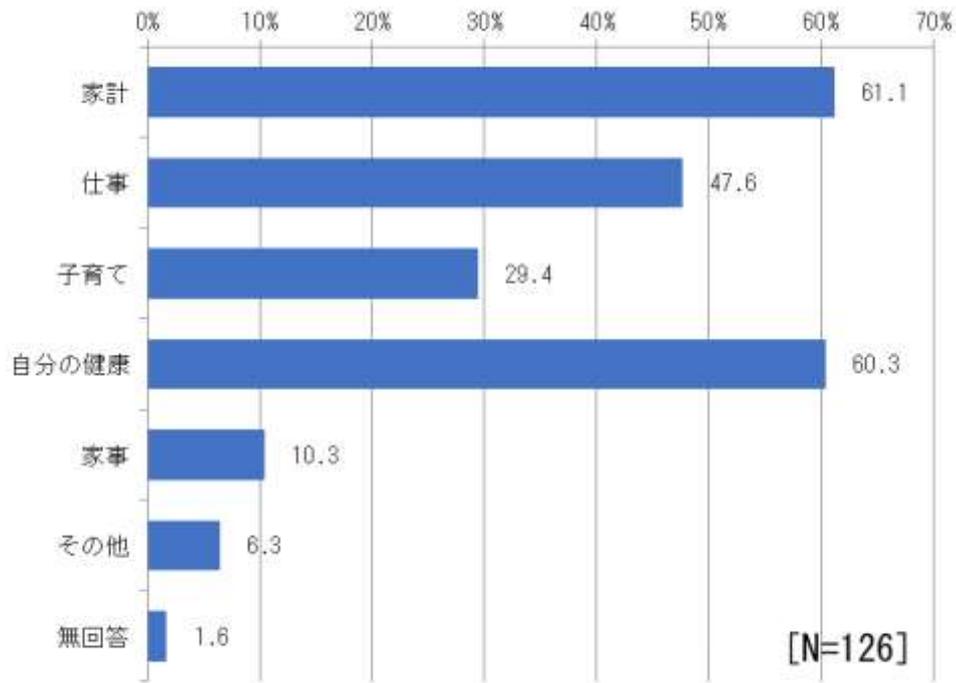
①感じている ②どちらかといえば感じている ③どちらともいえない  
 ④どちらかといえば感じていない ⑤感じていない ⑥無回答



## ひとり親家庭の生活について具体的に不安を感じている事柄

(2) (1) で「1. 感じている」または「2. どちらかといえば感じている」を回答した方のみにお聞きします。あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

ひとり親家庭の生活について具体的に不安を感じている事柄については、「家計」が61.1%とも高く、次いで「自分の健康」が60.3%となっている。



### 【対象者全体】

「家計」が61.1%と最も高く、次いで「自分の健康」が60.3%、「仕事」が47.6%、「子育て」が29.4%となっている。

### 【性別】

男性では「仕事」が53.5%と最も高く、女性では「家計」が67.5%と最も高くなっている。

### 【年代別】 ※10歳代、20歳代、60歳代は少数のため参考値とする。

30歳代では「仕事」(66.7%)と「子育て」(58.3%)、40歳代では「子育て」(41.2%)、50歳代では「家計」(76.2%)が他の年代よりも高くなっている。70歳以上では「自分の健康」が82.6%と、他の年代よりも高くなっている。

### 【居住区別】 ※全体的に少数のため参考値とする。

「家計」は白石区(80.0%)、西区(72.2%)、南区(80.0%)で他の居住区よりも高くなっている。「自分の健康」は中央区(83.3%)と南区(80.0%)で他の居住区よりも高くなっている。

(単位：%)

		回答者数	家計	仕事	子育て	自分の健康	家事	その他	無回答	計
全体		126	61.1	47.6	29.4	60.3	10.3	6.3	1.6	216.7
性別	男性	43	48.8	53.5	16.3	51.2	4.7	4.7	-	179.1
	女性	83	67.5	44.6	36.1	65.1	13.3	7.2	2.4	236.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	8	75.0	62.5	25.0	37.5	12.5	-	-	212.5
	30～39歳	24	66.7	66.7	58.3	29.2	8.3	-	-	229.2
	40～49歳	34	70.6	52.9	41.2	61.8	11.8	2.9	-	241.2
	50～59歳	21	76.2	47.6	28.6	61.9	9.5	33.3	4.8	261.9
	60～64歳	9	55.6	44.4	-	66.7	22.2	-	-	188.9
	65～69歳	7	14.3	57.1	-	100.0	-	-	-	171.4
	70歳以上	23	39.1	13.0	4.3	82.6	8.7	-	4.3	152.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	12	50.0	50.0	50.0	83.3	33.3	8.3	-	275.0
	北区	16	56.3	43.8	37.5	62.5	6.3	12.5	-	218.8
	東区	18	61.1	61.1	27.8	50.0	11.1	5.6	-	216.7
	白石区	15	80.0	46.7	26.7	60.0	26.7	6.7	-	246.7
	厚別区	6	33.3	50.0	33.3	50.0	-	-	-	166.7
	豊平区	11	45.5	63.6	9.1	54.5	9.1	9.1	9.1	200.0
	清田区	13	46.2	38.5	30.8	53.8	7.7	-	7.7	184.6
	南区	10	80.0	30.0	20.0	80.0	-	10.0	-	220.0
	西区	18	72.2	38.9	27.8	61.1	-	5.6	-	205.6
	手稲区	5	60.0	80.0	40.0	60.0	-	-	-	240.0
	無回答	2	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

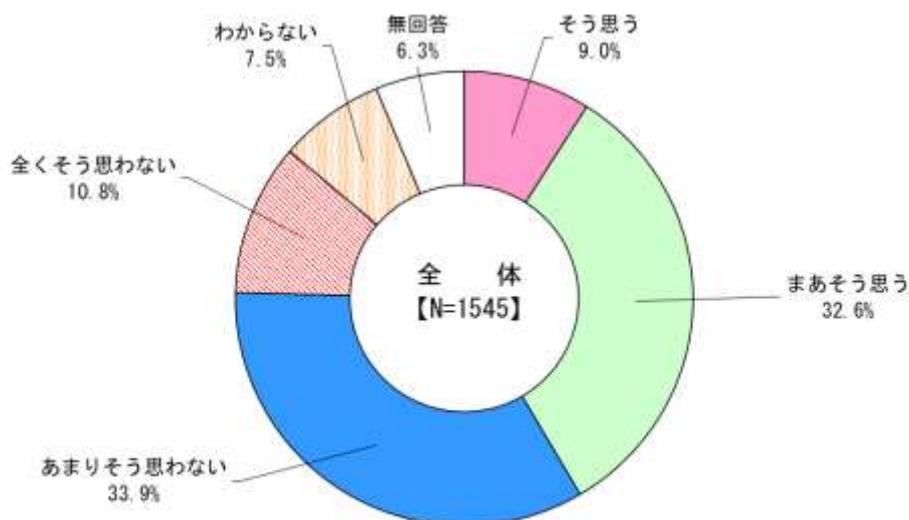
対象者全体の値と比較し10%以上低い

## 仕事と生活の調和

【問 6】仕事と生活の調和についてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなたは、「仕事」と「育児、家事、介護、趣味などの生活」の調和がとれていると思いますか。  
あてはまるもの一つに○をつけてください。

「仕事」と「私生活」の調和については、「そう思う」(9.0%)と「まあそう思う」(32.6%)を合わせた割合(41.6%)が全体の約4割となっている。



### 【対象者全体】

「あまりそう思わない」が33.9%、次いで「まあそう思う」が32.6%、「全くそう思わない」が10.8%となっている。

### 【性別】

男性は「まあそう思う」が34.1%と最も高く、女性は「あまりそう思わない」が35.4%と最も高くなっている。

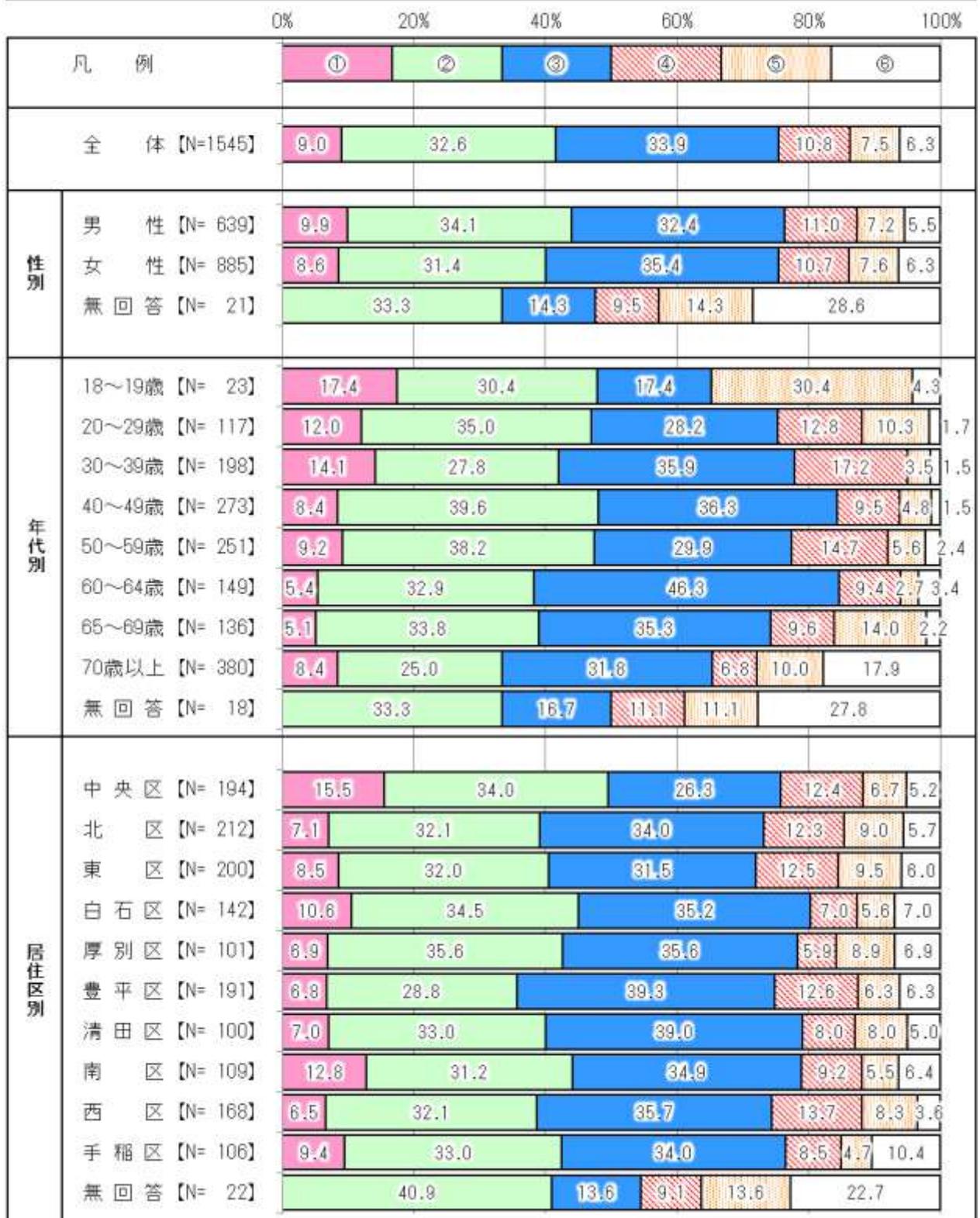
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「そう思う」「まあそう思う」の合計は40歳代で48.0%と最も高く、70歳以上で33.4%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

「そう思う」「まあそう思う」の合計は中央区で49.5%と最も高く、豊平区で35.6%と最も低くなっている。

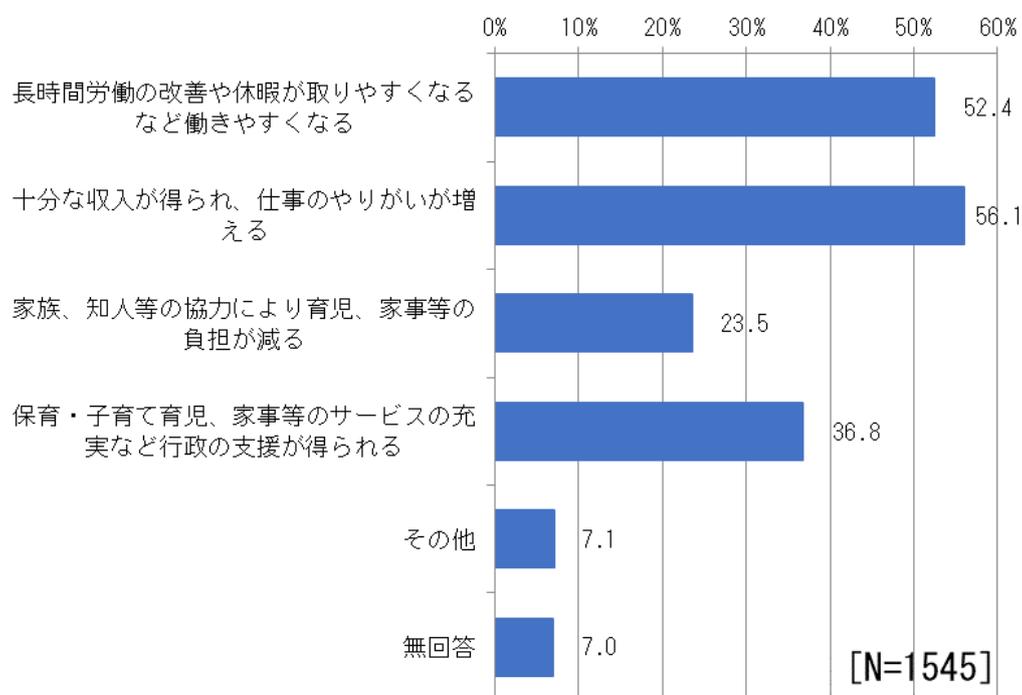
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 仕事と生活の調和がよりとれるようになると思う要素

(2) あなたはどうしたら、「仕事」と「育児、家事、介護、趣味などの生活」の調和がよりとれるようになると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「仕事」と「私生活」の調和がよりとれるようになると思う要素については、「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」が 56.1%と最も高く、次いで「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」が 52.4%となっている。



### 【対象者全体】

「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」が 56.1%と最も高く、次いで「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」が 52.4%となっている。

### 【性別】

男女ともに大きな差は少ないが、「家族、知人等の協力により育児、家事等の負担が減る」は、女性(28.4%)が男性(16.9%)よりも 11.5 ポイント上回っている。

### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代と 30 歳代において「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」と「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」が他の年代よりも高く、すべて 65%を超えている。

### 【居住区別】

居住区ごとに大きな差は見られないが、「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」は清田区で 45.0%と他の居住区よりも低い。

(単位：%)

		回答者数	長時間労働の改善や休みやすくなるなど働きやすくなる	十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える	家族、家事等の負担が減る	保育・子育て育児、家事等のサービスの実施など行政の支援が得られる	その他	無回答	計
全体		1,545	52.4	56.1	23.5	36.8	7.1	7.0	182.8
性別	男性	639	52.0	57.6	16.9	34.1	5.6	5.9	172.1
	女性	885	53.4	55.8	28.4	39.0	8.0	7.2	191.9
	無回答	21	23.8	19.0	19.0	23.8	9.5	28.6	123.8
年代別	18～19歳	23	78.3	52.2	39.1	26.1	8.7	4.3	208.7
	20～29歳	117	67.5	68.4	23.9	42.7	9.4	1.7	213.7
	30～39歳	198	66.7	68.7	30.8	37.9	7.1	1.5	212.6
	40～49歳	273	57.1	63.4	24.5	34.4	5.5	1.1	186.1
	50～59歳	251	51.8	61.0	23.5	35.1	5.6	4.0	180.9
	60～64歳	149	61.1	63.8	20.8	41.6	6.0	1.3	194.6
	65～69歳	136	46.3	52.2	20.6	44.1	7.4	5.9	176.5
	70歳以上	380	35.8	37.6	20.3	33.9	8.4	19.5	155.5
	無回答	18	27.8	16.7	16.7	22.2	11.1	27.8	122.2
居住区別	中央区	194	57.7	63.4	26.3	41.2	4.1	7.2	200.0
	北区	212	53.8	51.9	29.7	34.9	4.2	6.1	180.7
	東区	200	50.0	60.5	23.5	33.0	7.0	6.5	180.5
	白石区	142	48.6	59.2	23.2	35.2	9.9	8.5	184.5
	厚別区	101	52.5	55.4	16.8	37.6	5.9	5.9	174.3
	豊平区	191	55.5	57.6	20.9	37.7	6.3	5.8	183.8
	清田区	100	57.0	45.0	26.0	39.0	8.0	6.0	181.0
	南区	109	45.0	60.6	21.1	30.3	9.2	5.5	171.6
	西区	168	47.6	55.4	19.0	36.9	10.1	7.1	176.2
	手稲区	106	58.5	50.0	24.5	45.3	8.5	9.4	196.2
	無回答	22	36.4	22.7	22.7	27.3	9.1	22.7	140.9

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

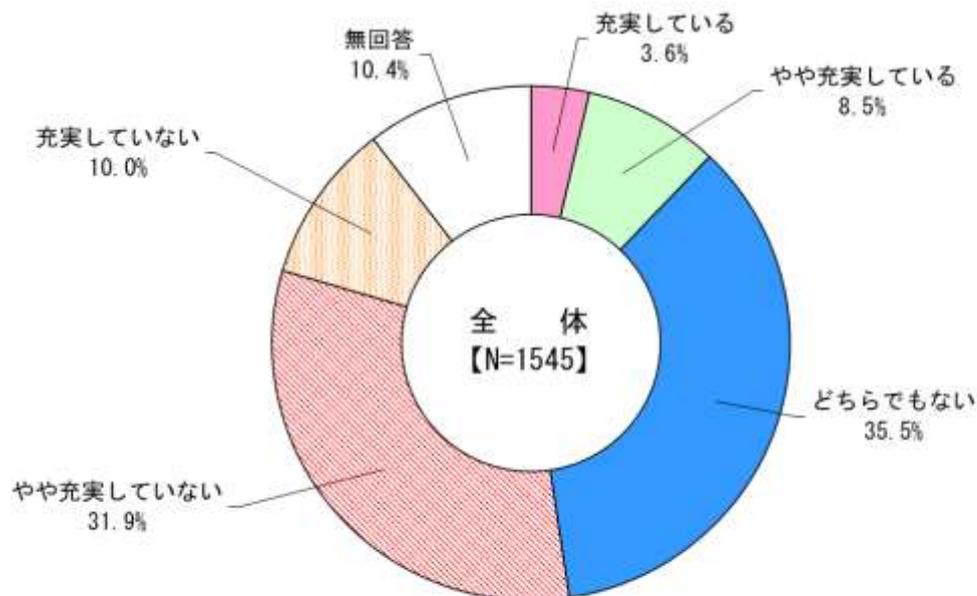
## 子ども・子育て支援施策の充実度

【問 7】あなたは、札幌市の子ども・子育て支援施策について、どの程度充実していると思いますか。  
各項目についてあてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てしやすい環境について

### ① 子連れでも出かけやすく楽しめる場の確保

子連れでも出かけやすく楽しめる場の確保について、「やや充実していない」(31.9%)と「充実していない」(10.0%)をあわせた割合(41.9%)は約4割強である。



### 【対象者全体】

「どちらでもない」が35.5%と最も高く、次いで「やや充実にしていない」が31.9%、「充実していない」が10.0%、「やや充実にしている」が8.5%、「充実にしている」が3.6%となっている。

### 【性別】

「どちらでもない」が男性(35.7%)、女性(35.8%)ともに高く、大きな差はみられない。

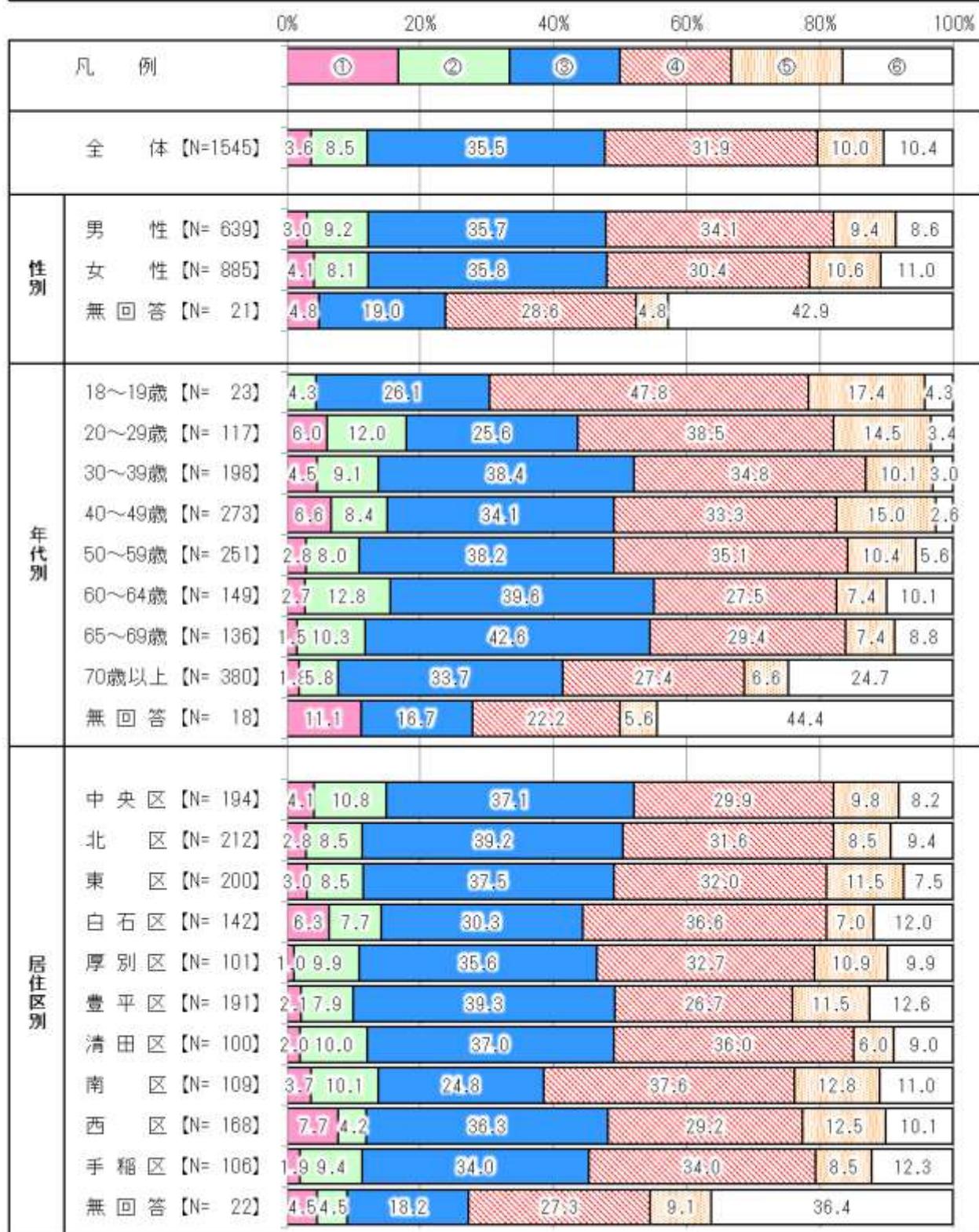
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代では「やや充実にしていない」が38.5%と最も高い。その他の年代では「どちらでもない」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

「充実にしている」「やや充実にしている」の合計は中央区で14.9%と最も高い。白石区・南区では「やや充実にしていない」が「どちらでもない」を上回っており、特に南区では「やや充実にしていない」が37.6%と最も高い。手稲区では「どちらでもない」と「やや充実にしていない」が同率であった。

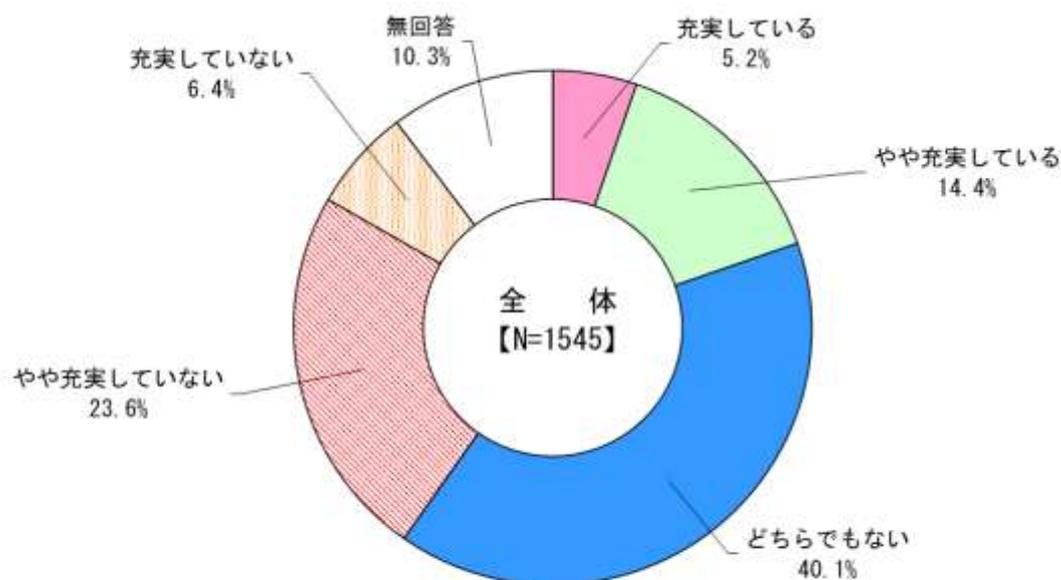
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子育てしやすい環境について

### ② 放課後の子どもの生活の場など居場所づくり

放課後の子どもの居場所づくりについて、「どちらでもない」が（40.1%）と最も高い。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が40.1%と最も高い。次いで「やや充実していない」が23.6%、「やや充実している」が14.4%、「充実していない」が6.4%、「充実している」が5.2%となっている。

#### 【性別】

男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も高く、大きな差は見られない。

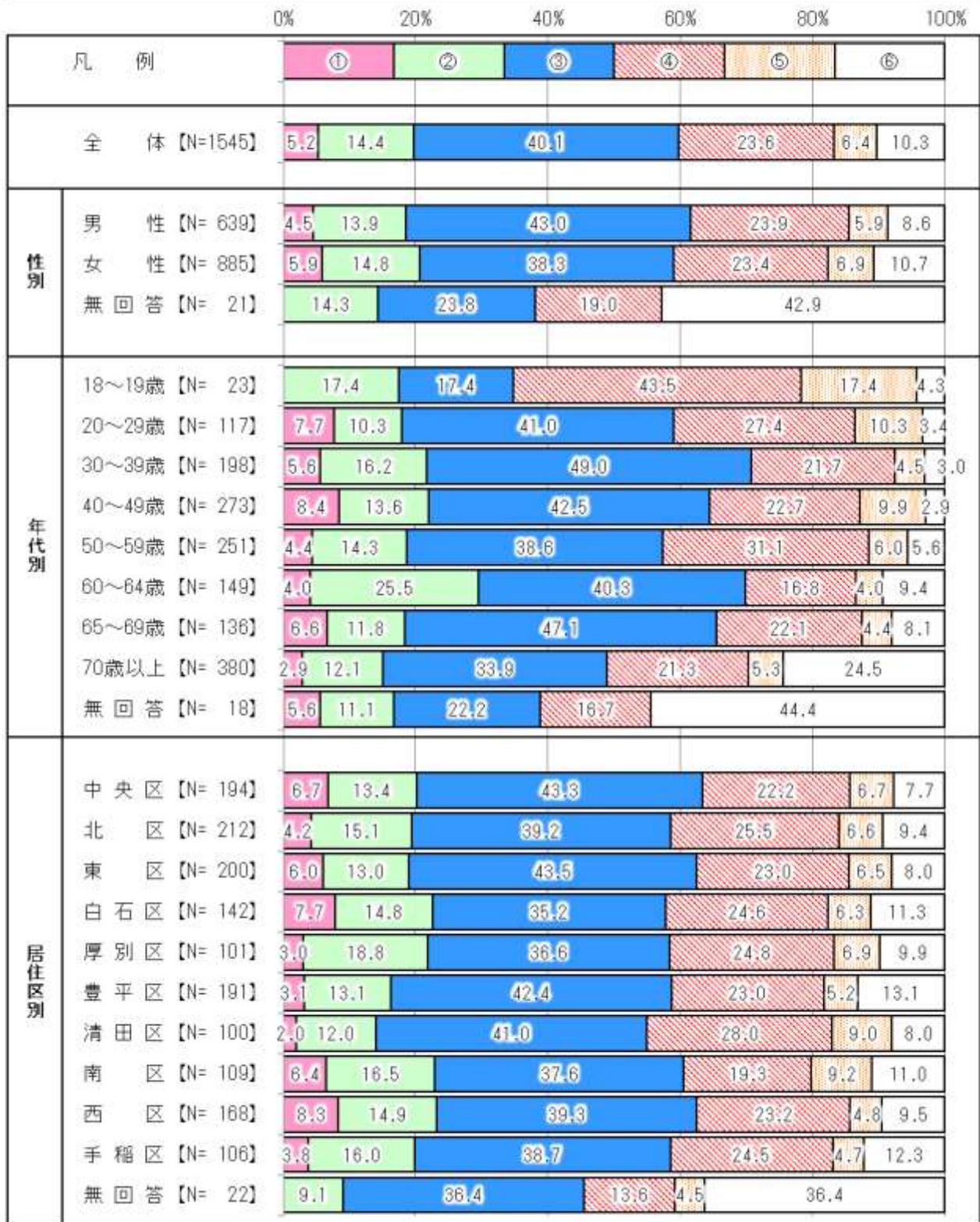
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は60～64歳で29.5%と最も高く、「やや充実していない」「充実していない」を合わせた割合は20歳代で37.7%と最も高かった。

#### 【居住区別】

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は中央区・白石区・厚別区・南区・西区で20%を超えている。一方、「やや充実していない」と「充実していない」を合わせた割合は北区・白石区・厚別区・清田区で30%を超えている。

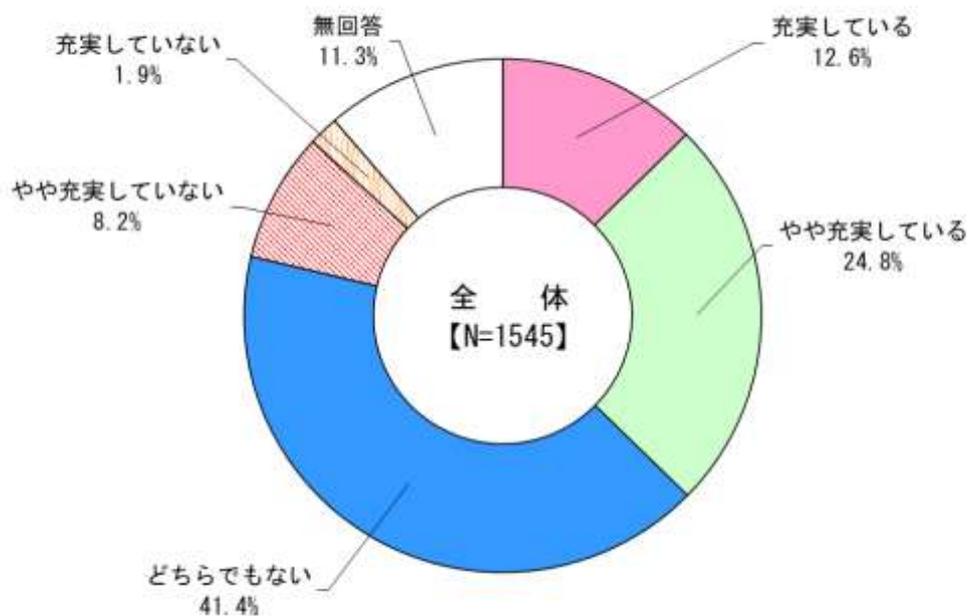
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子育てしやすい環境について

### ③ 子育てしやすい環境に向けた企業に対する改善の働きかけ

子育てしやすい環境に向けた企業に対する改善の働きかけについて、「充実している」(12.6%)と「やや充実している」(24.8%)を合わせた割合(37.4%)は4割弱である。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が41.4%と最も高くなっている。次いで、「やや充実している」が24.8%、「充実している」が12.6%、「やや充実していない」が8.2%、「充実していない」が1.9%となっている。

#### 【性別】

男性、女性ともに「どちらでもない」が最も高く、大きな差は見られない。

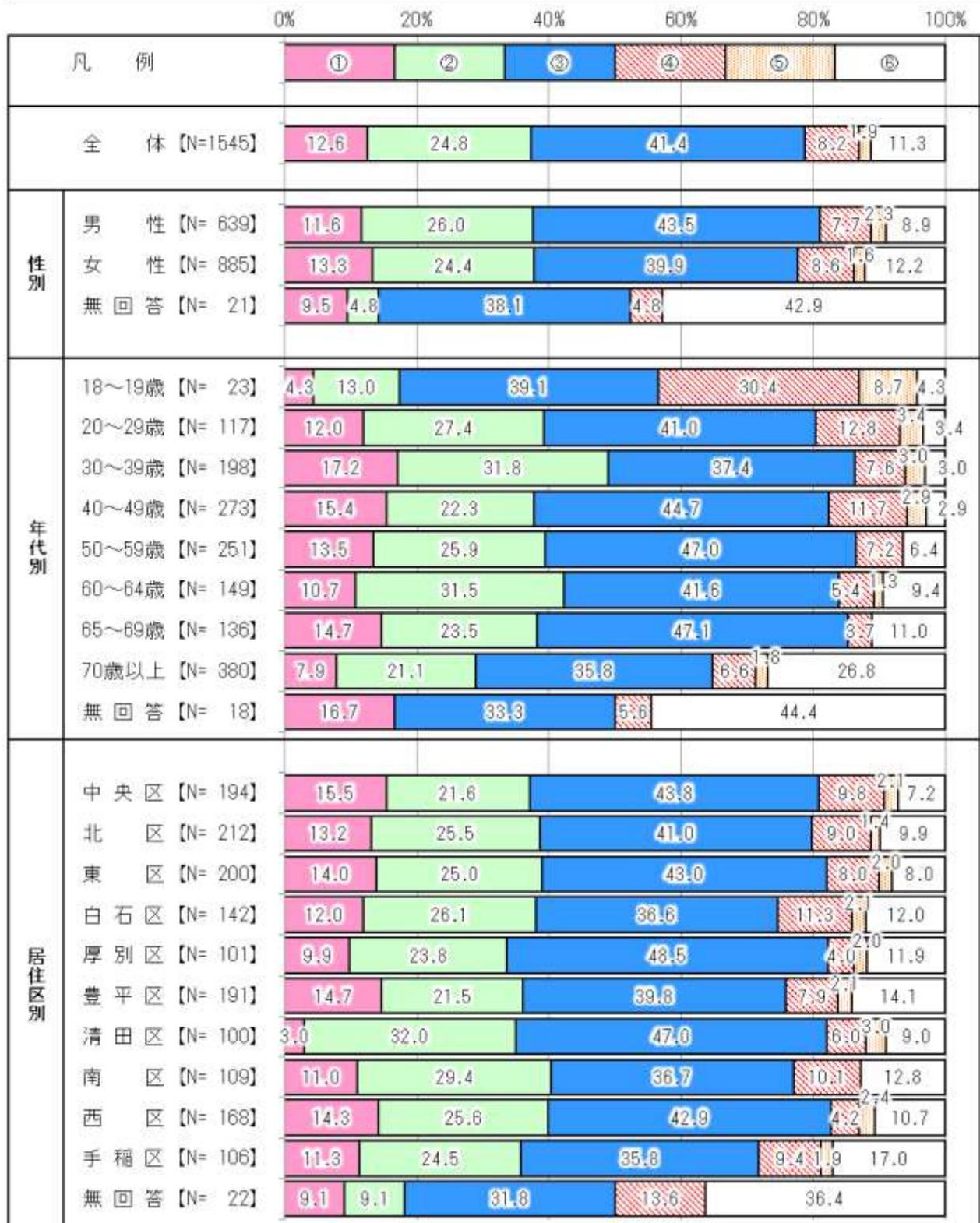
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は30歳代が49.0%と最も高くなっており、70歳以上で29.0%と最も低くなっている。

#### 【居住区別】

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は南区が40.4%と最も高くなっており、厚別区で33.7%と最も低くなっている。

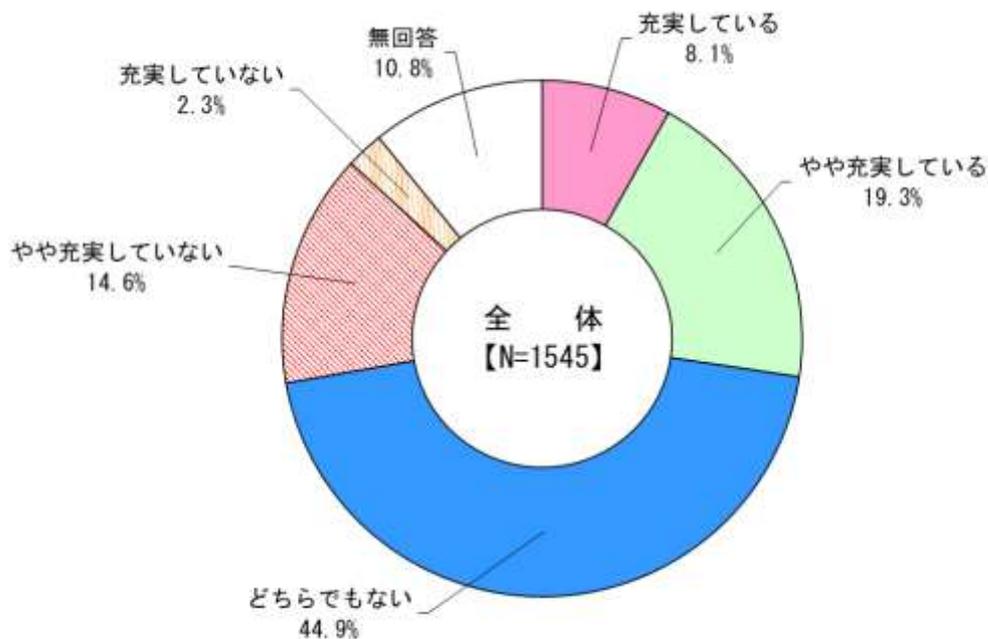
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子ども支援・子育て支援サービスについて

### ④ 待機児童対策や子育て支援サービスの提供

待機児童対策や子育て支援サービスの提供について、「どちらでもない」(44.9%)がもっとも高く、次いで「やや充実している」(19.3%)が高くなっている。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が44.9%と最も高くなっている。次いで、「やや充実している」が19.3%、「やや充実していない」が14.6%、「充実している」が8.1%、「充実していない」が2.3%となっている。

#### 【性別】

男性、女性ともに「どちらでもない」が最も高く、大きな差は見られない。

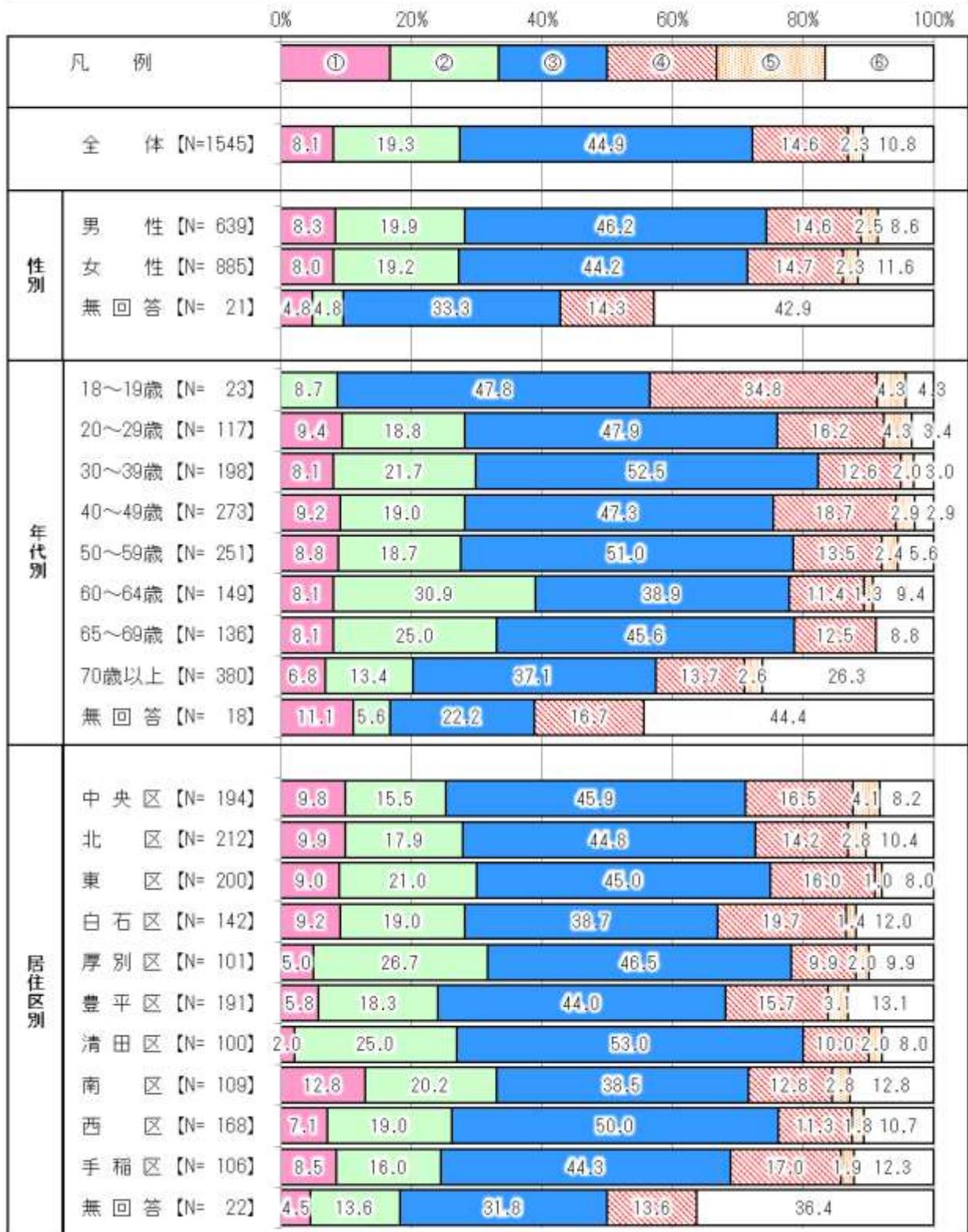
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は60～64歳で39.0%と最も高くなっている。一方、「やや充実していない」と「充実していない」を合わせた割合は40歳代で21.6%と最も高くなっている。

#### 【居住区別】

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は南区が33.0%と最も高い。一方、「やや充実していない」と「充実していない」を合わせた割合は白石区で21.1%と最も高くなっている。

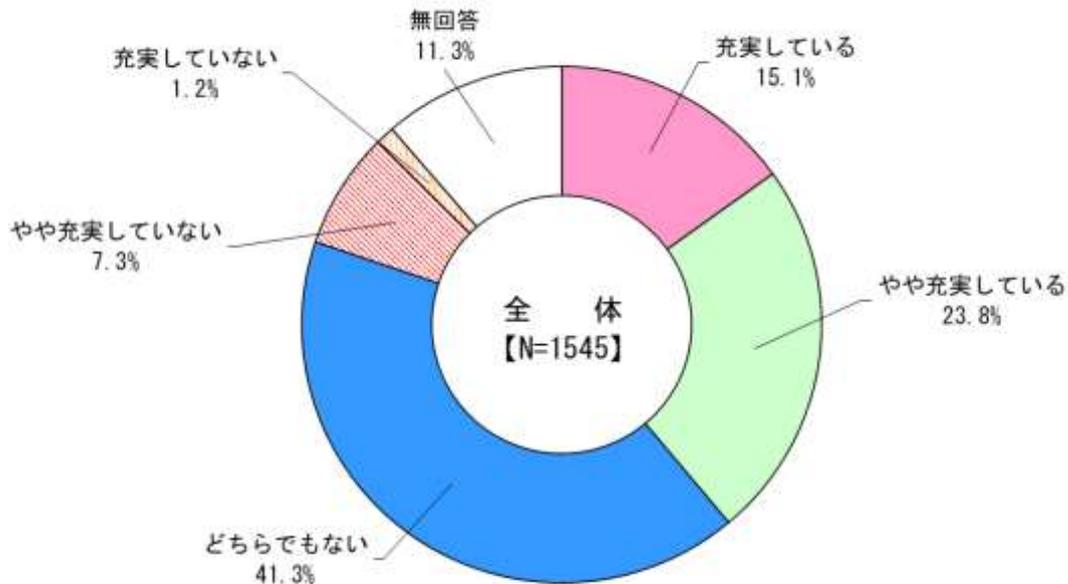
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子ども支援・子育て支援サービスについて

### ⑤ いじめや虐待から子どもを守る取組

いじめや虐待から子どもを守る取組について、「充実している」(15.1%)と「やや充実している」(23.8%)とをあわせた割合(38.9%)は4割未満である。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が41.3%と最も高く、次いで「やや充実している」が23.8%、「充実している」が15.1%、「やや充実していない」が7.3%、「充実していない」が1.2%となっている。

#### 【性別】

男性、女性ともに「どちらでもない」が最も高く、あまり差はみられない。

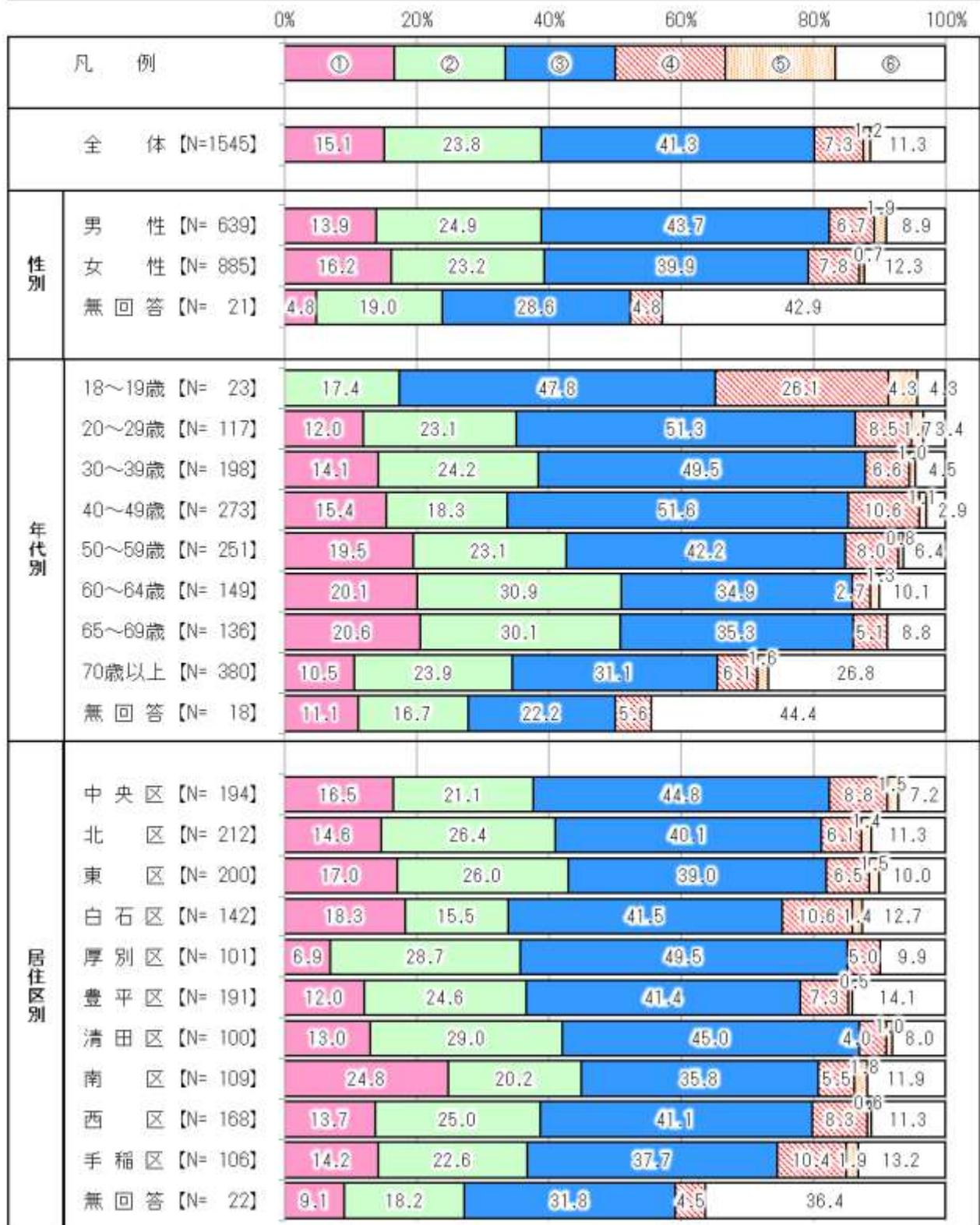
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は、60～64歳で51.0%と最も高くなっている。

#### 【居住区別】

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は、南区で45.0%と最も高くなっている。

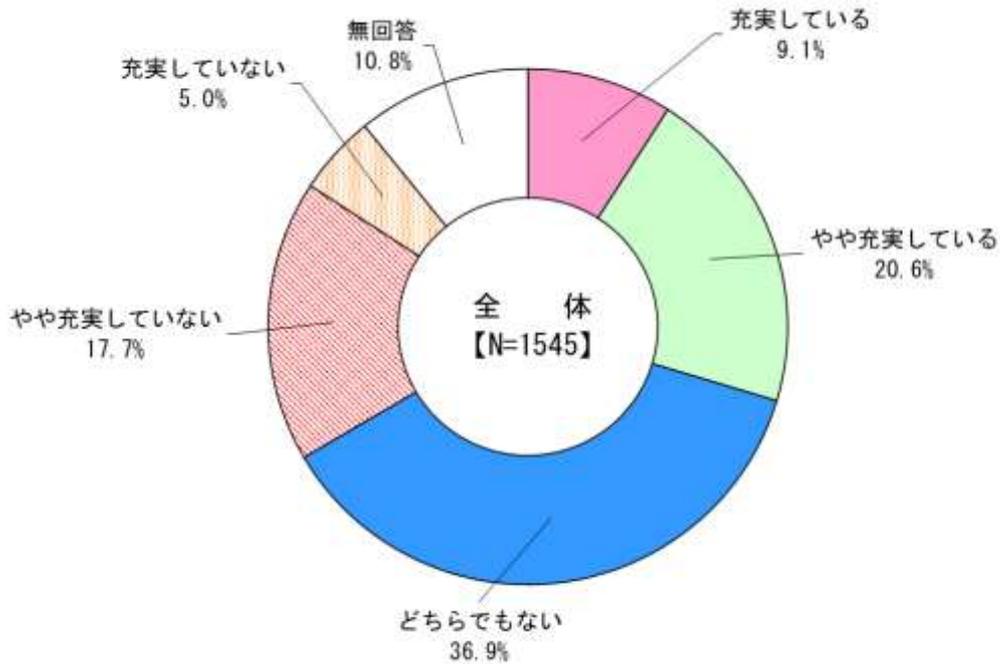
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 経済的支援について

### ⑥ 幼児教育・保育、医療費など子育て支援にかかる費用の軽減

子育て支援にかかる費用の軽減について、「どちらでもない」が（36.9%）と最も高い。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が 36.9%と最も高く、次いで「やや充実している」が 20.6%、「やや充実していない」が 17.7%、「充実している」が 9.1%、「充実していない」が 5.0%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「どちらでもない」が最も高く、大きな差はみられない。

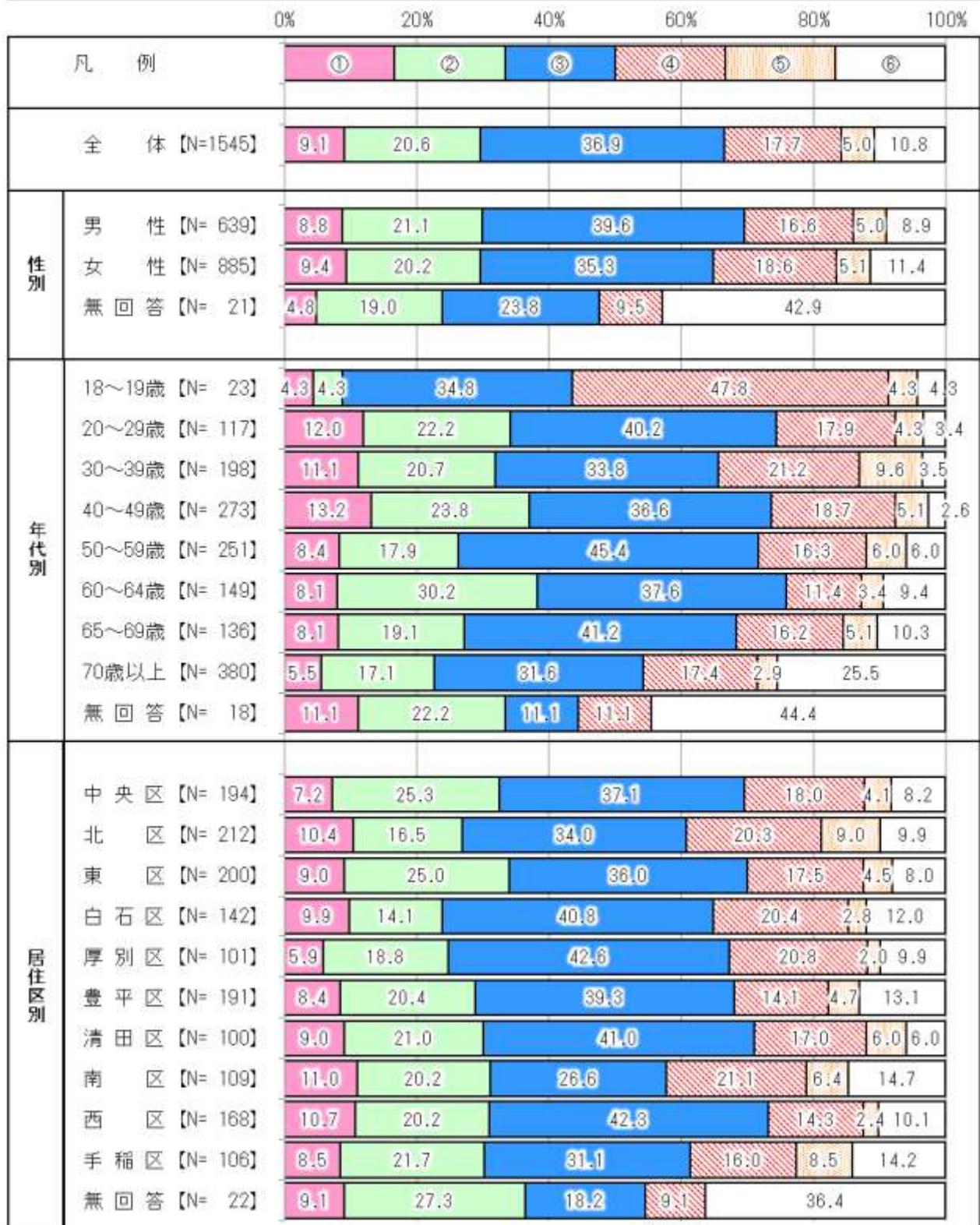
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は、60歳代で 38.3%と最も高く、「やや充実していない」と「充実していない」を合わせた割合は 30歳代で 30.8%と最も高い。

#### 【居住区別】

「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合は東区で 34.0%と最も高く、「やや充実していない」と「充実していない」を合わせた割合は北区で 29.3%と最も高い。

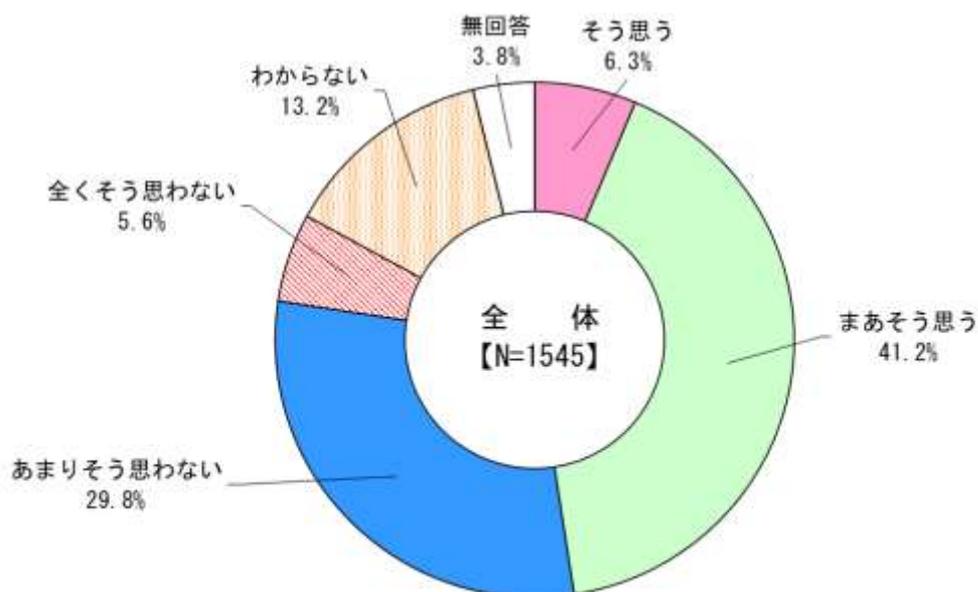
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子どもの生み育てやすい環境

【問 8】あなたは、札幌市が、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生み育てやすい環境にあるかについては、「まあそう思う」が41.2%と最も高くなっている。



### 【対象者全体】

「まあそう思う」が41.2%、次いで「あまりそう思わない」が29.8%となっている。

### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が40.2%、女性が42.4%となっている。

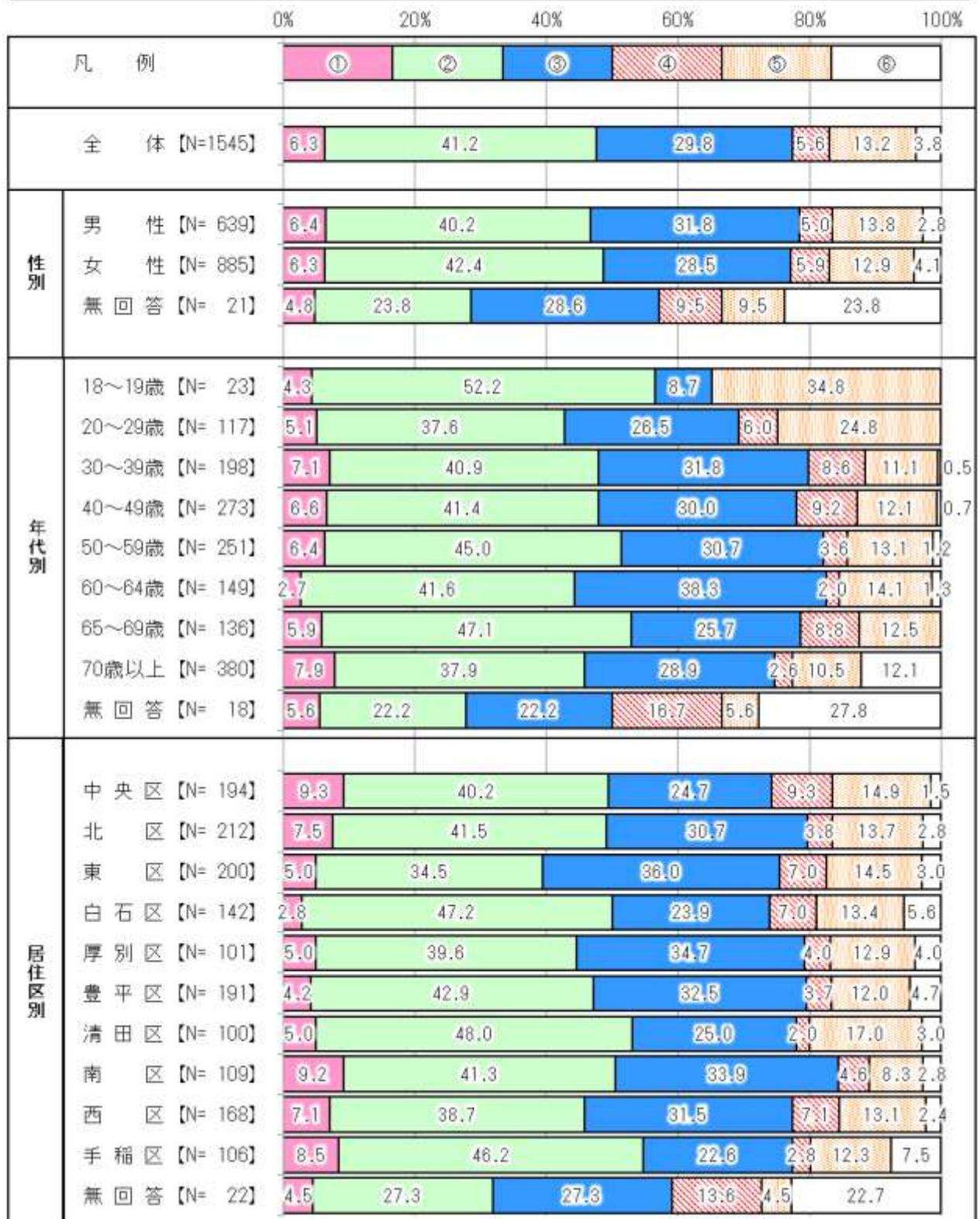
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

いずれの年代も「まあそう思う」が最も高くなっている。「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた割合は、30歳代と60歳代前半で40%を超えている。

### 【居住区別】

東区を除く全ての居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は手稲区で54.7%と最も高く、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた割合は東区で43.0%と最も高い。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 障がい者の暮らしやすさ

【問 9】障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなた、またはあなたの同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください(ここで言う「障がいのある方」とは、障害者手帳の有無に関わりません。)

障がいのある家族の有無については、「いない」が73.5%と最多である。



### 【対象者全体】

「いない」が73.5%と最も高い。次いで「本人」が6.5%、「親または配偶者の親」が4.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「いない」が最も高く、大きな差はみられない。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「いない」は70歳以上で62.6%と、他の年代に比べて低くなっている。

### 【居住区別】

「いない」は中央区と白石区で78.9%と最も高く、清田区で64.0%と最も低くなっている。

(単位：%)

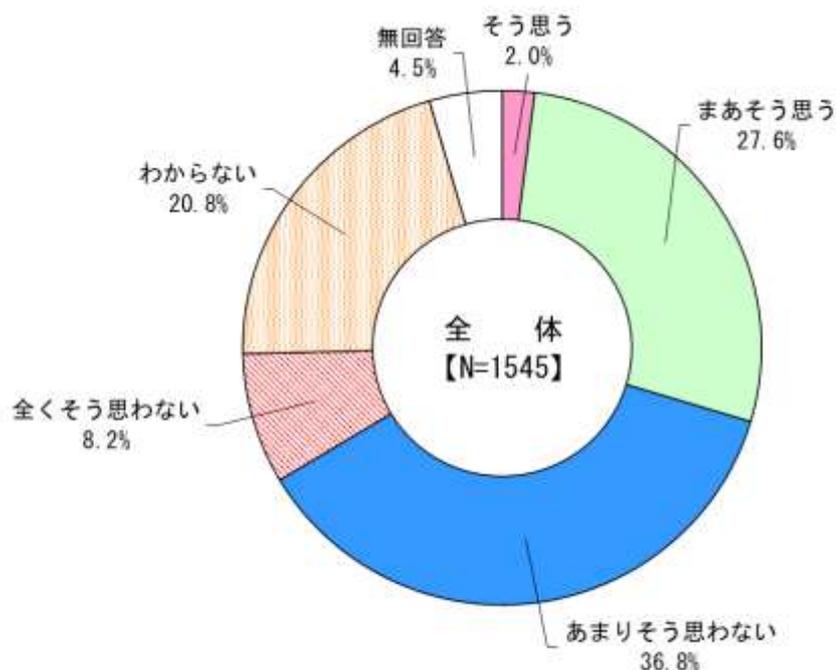
		回答者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	子のうち18歳以下の子	親または配偶者の親	その他(祖父母・孫など)	いない	無回答	計
全体		1,545	6.5	3.3	2.5	1.1	4.3	3.9	73.5	6.8	101.9
性別	男性	639	6.7	3.6	2.3	0.9	4.5	2.7	75.9	5.3	102.0
	女性	885	6.1	3.1	2.5	1.2	4.2	4.7	72.8	7.1	101.7
	無回答	21	14.3	4.8	4.8	-	-	9.5	33.3	38.1	104.8
年代別	18～19歳	23	-	-	-	-	-	8.7	82.6	8.7	100.0
	20～29歳	117	7.7	-	-	0.9	3.4	8.5	81.2	-	101.7
	30～39歳	198	4.5	2.5	0.5	2.0	2.0	5.6	83.3	1.5	102.0
	40～49歳	273	3.7	1.8	3.3	2.6	9.2	1.8	75.5	3.7	101.5
	50～59歳	251	6.0	2.0	2.0	0.8	4.8	2.8	79.7	2.4	100.4
	60～64歳	149	7.4	4.7	4.7	0.7	5.4	4.7	73.2	4.7	105.4
	65～69歳	136	6.6	1.5	2.2	-	4.4	5.1	72.8	8.1	100.7
	70歳以上	380	8.7	6.8	3.4	0.5	1.8	2.9	62.6	15.3	102.1
	無回答	18	22.2	5.6	-	-	-	5.6	27.8	44.4	105.6
居住区別	中央区	194	6.2	2.6	1.5	1.5	2.6	4.1	78.9	4.6	102.1
	北区	212	4.2	2.8	2.8	0.5	4.7	4.7	74.1	8.0	101.9
	東区	200	7.0	2.0	2.5	1.0	5.5	4.5	72.5	5.5	100.5
	白石区	142	3.5	2.1	0.7	1.4	4.2	4.2	78.9	5.6	100.7
	厚別区	101	9.9	4.0	3.0	1.0	4.0	2.0	75.2	3.0	102.0
	豊平区	191	6.3	4.2	1.6	-	5.2	4.7	71.7	8.9	102.6
	清田区	100	9.0	7.0	4.0	5.0	3.0	1.0	64.0	11.0	104.0
	南区	109	6.4	4.6	4.6	0.9	2.8	2.8	74.3	4.6	100.9
	西区	168	5.4	1.8	3.6	0.6	2.4	3.6	78.6	5.4	101.2
	手稲区	106	9.4	4.7	1.9	0.9	9.4	5.7	65.1	6.6	103.8
	無回答	22	13.6	4.5	-	-	-	4.5	45.5	36.4	104.5

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

- (2) あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。  
あてはまるもの一つに○をつけてください。

障がい者の暮らしやすさについては、「あまりそう思わない」が36.8%と最も高くなっている。



**【対象者全体】**

「あまりそう思わない」が36.8%と最も高い。次いで「まあそう思う」が27.6%、「わからない」が20.8%となっている。

**【性別】**

男女ともに「あまりそう思わない」が高く、男性が36.3%、女性が37.5%となっている。

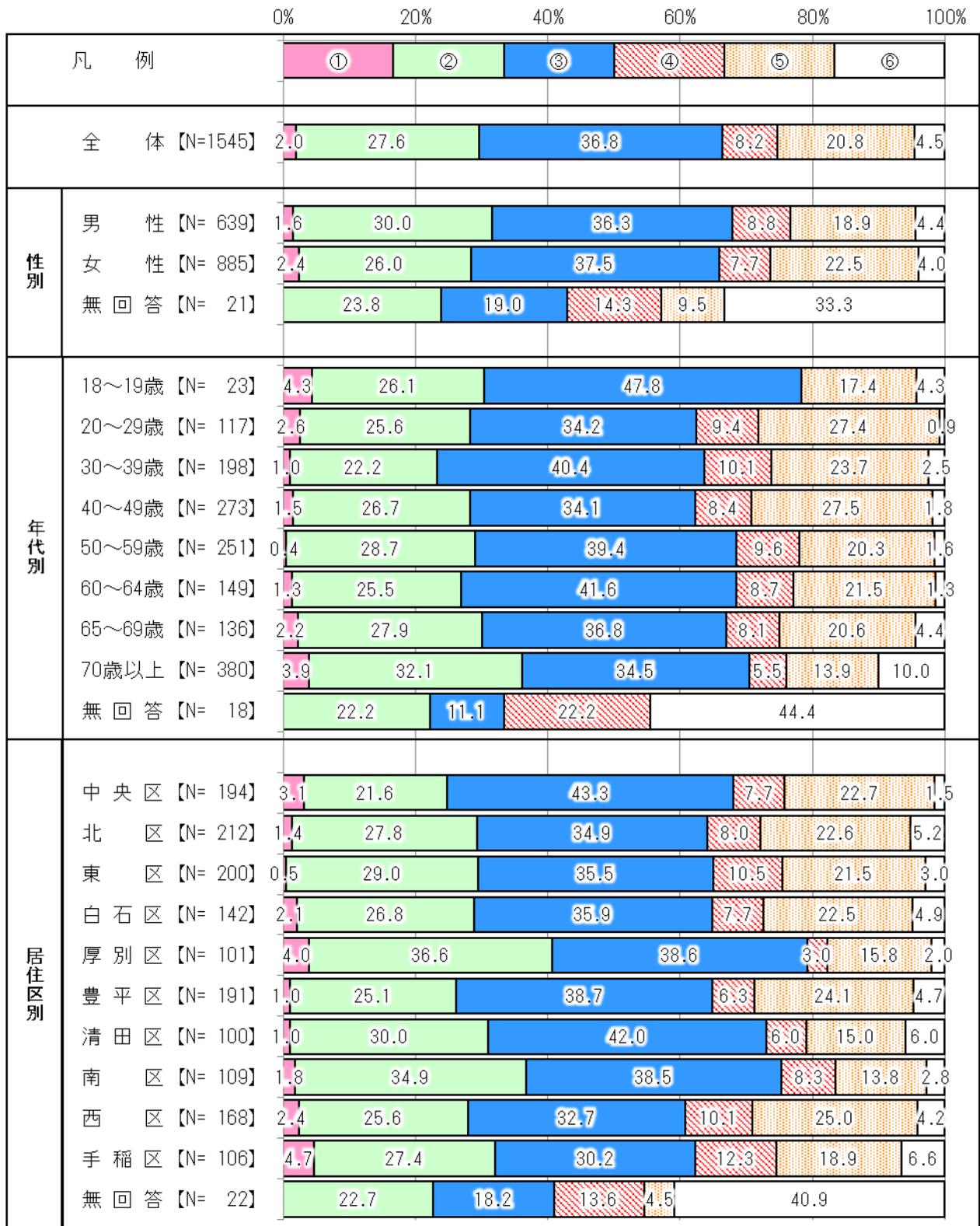
**【年代別】** ※10歳代は少数のため参考値とする。

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、70歳以上で36.0%と最も高く、30歳代で23.2%と最も低い。

**【居住区別】**

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、厚別区で40.6%と最も高く、中央区で24.7%と最も低い。

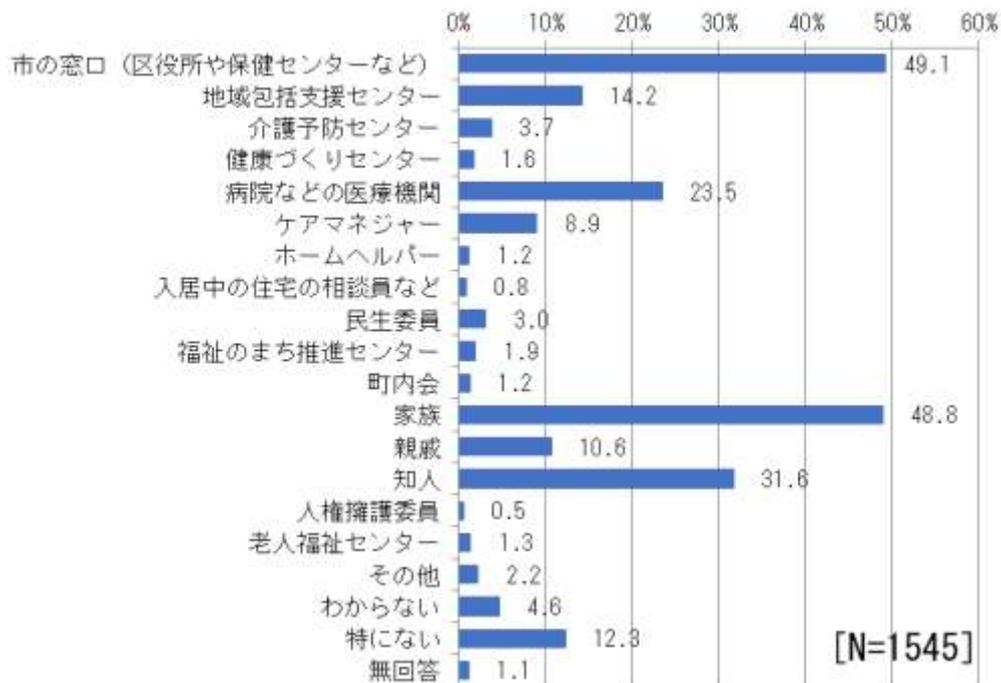
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 生活や健康福祉の相談先

【問 10】あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。または、どこに相談しようと思いますか。もっともあてはまるものすべてに○をつけてください。

生活や健康福祉の相談先については、「市の窓口（区役所や保健センターなど）」が 49.1%と最も高く、次いで「家族」が 48.8%となっている。



### 【対象者全体】

「市の窓口（区役所や保健センターなど）」が 49.1%と最も高く、次いで「家族」が 48.8%、「知人」が 31.6%、「病院などの医療関係」が 23.5%となっている。

### 【性別】

男性では「市の窓口（区役所や保健センターなど）」が 48.0%と最も高く、女性では「家族」が 51.3%と最も高い。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代、30歳代では「家族」が他の年代よりも高く約 62.0%となっており、30歳代では「知人」(46.0%)も高くなっている。70歳以上では「地域包括支援センター」(24.5%)が他の年代よりも高く、「知人」(18.7%)が低くなっている。

### 【居住区別】

「市の窓口（区役所や保健センターなど）」は中央区、東区、厚別区、清田区、南区で最も高くなっている。北区、白石区、豊平区、西区、手稲区では「家族」の割合が最も高くなっている。

		回答者数	市の窓口（区役所や保健センターなど）	地域包括支援センター	介護予防センター	健康づくりセンター	病院などの医療機関	ケアマネジャー	ホームヘルパー	入居中の住宅の相談員など	民生委員
全体		1,545	49.1	14.2	3.7	1.6	23.5	8.9	1.2	0.8	3.0
性別	男性	639	48.0	9.7	2.8	1.1	23.9	7.8	1.1	0.8	3.0
	女性	885	50.1	17.3	4.3	1.9	23.5	9.7	1.2	0.8	3.1
	無回答	21	38.1	19.0	4.8	4.8	9.5	9.5	-	-	4.8
年代別	18～19歳	23	39.1	8.7	-	4.3	21.7	8.7	-	-	-
	20～29歳	117	41.9	4.3	1.7	1.7	19.7	2.6	1.7	-	1.7
	30～39歳	198	44.9	6.1	1.5	1.0	24.7	3.5	0.5	-	-
	40～49歳	273	45.1	5.5	-	0.4	17.2	3.3	2.2	0.7	-
	50～59歳	251	53.4	15.9	2.8	1.6	21.9	12.4	1.6	1.2	1.6
	60～64歳	149	57.7	18.1	4.0	1.3	26.2	13.4	-	1.3	2.7
	65～69歳	136	55.1	14.7	3.7	1.5	21.3	9.6	0.7	0.7	3.7
	70歳以上	380	49.5	24.5	8.7	2.6	30.3	13.4	1.1	1.1	8.2
	無回答	18	27.8	27.8	5.6	5.6	5.6	11.1	-	-	5.6
居住区別	中央区	194	51.0	12.4	2.6	2.1	21.6	7.7	1.0	-	1.5
	北区	212	47.6	16.0	3.8	1.9	25.0	9.9	1.4	0.9	2.8
	東区	200	52.5	17.5	4.5	1.0	24.5	6.0	0.5	1.5	3.5
	白石区	142	40.1	8.5	4.2	1.4	24.6	9.2	-	0.7	1.4
	厚別区	101	57.4	21.8	5.9	2.0	24.8	9.9	2.0	-	4.0
	豊平区	191	45.0	12.0	4.7	1.0	20.9	7.9	1.6	1.0	4.2
	清田区	100	54.0	15.0	4.0	4.0	19.0	11.0	-	1.0	6.0
	南区	109	52.3	10.1	0.9	0.9	26.6	11.0	0.9	0.9	5.5
	西区	168	45.2	12.5	2.4	1.2	22.6	8.9	2.4	-	0.6
	手稲区	106	52.8	17.0	3.8	0.9	28.3	10.4	1.9	1.9	2.8
	無回答	22	40.9	18.2	4.5	4.5	13.6	13.6	-	-	4.5

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

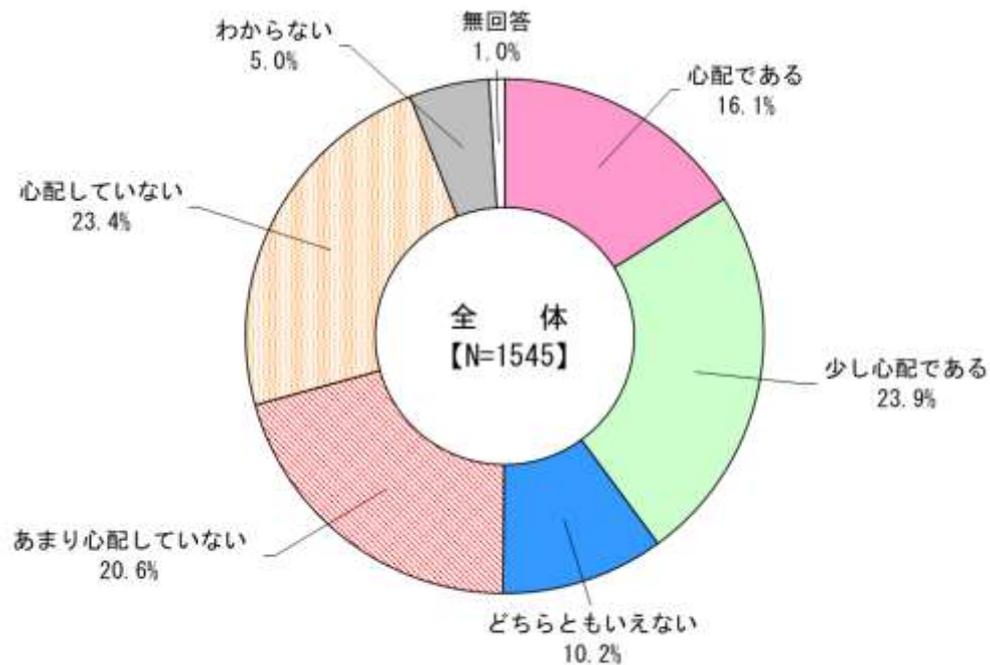
	回答者数	福祉のまち推進センター	町内会	家族	親戚	知人	人権擁護委員	老人福祉センター	その他	わからない	特にない	無回答	計	
全体	1,545	1.9	1.2	48.8	10.6	31.6	0.5	1.3	2.2	4.6	12.3	1.1	222.1	
性別	男性	639	1.9	1.4	46.2	11.3	25.4	0.6	0.8	2.5	3.9	17.1	0.6	209.9
	女性	885	1.9	1.1	51.3	10.2	36.5	0.5	1.7	2.0	5.1	8.7	1.1	232.0
	無回答	21	-	-	23.8	9.5	14.3	-	-	-	4.8	19.0	14.3	176.2
年代別	18～19歳	23	4.3	-	65.2	17.4	56.5	-	-	-	21.7	4.3	252.2	
	20～29歳	117	0.9	-	62.4	12.8	41.0	-	-	1.7	4.3	14.5	-	212.8
	30～39歳	198	0.5	-	62.6	14.6	46.0	-	1.5	3.0	4.5	11.6	0.5	227.3
	40～49歳	273	0.4	0.4	54.6	8.8	33.7	0.7	-	4.4	7.7	12.8	0.4	198.2
	50～59歳	251	1.2	0.4	49.0	10.0	36.7	-	0.8	1.6	6.4	11.6	0.4	230.3
	60～64歳	149	2.7	0.7	43.6	11.4	28.9	-	0.7	2.0	4.0	13.4	-	232.2
	65～69歳	136	2.2	0.7	39.0	10.3	26.5	2.2	-	0.7	2.9	14.7	-	210.3
	70歳以上	380	3.9	3.9	39.2	8.7	18.7	0.8	3.7	1.6	2.4	10.3	2.4	234.7
無回答	18	-	-	16.7	16.7	11.1	-	-	-	5.6	11.1	22.2	172.2	
居住区別	中央区	194	1.0	0.5	49.0	11.9	35.6	1.0	0.5	4.1	4.6	9.8	0.5	218.6
	北区	212	1.9	1.9	50.9	10.8	31.6	0.5	1.9	2.4	3.3	11.3	0.9	226.9
	東区	200	3.5	0.5	45.5	11.0	30.5	1.5	2.0	2.5	3.5	10.5	1.5	224.0
	白石区	142	0.7	1.4	48.6	8.5	33.8	-	-	2.1	8.5	14.1	1.4	209.2
	厚別区	101	4.0	1.0	49.5	10.9	30.7	-	3.0	2.0	3.0	13.9	-	245.5
	豊平区	191	1.6	1.6	48.7	12.0	35.6	-	0.5	2.6	4.2	13.1	1.6	219.9
	清田区	100	3.0	2.0	46.0	12.0	25.0	-	2.0	1.0	6.0	18.0	-	229.0
	南区	109	2.8	1.8	48.6	8.3	25.7	0.9	0.9	2.8	5.5	11.0	0.9	218.3
	西区	168	1.2	0.6	50.0	9.5	33.9	0.6	1.8	1.2	4.8	14.9	-	214.3
	手稲区	106	-	1.9	53.8	9.4	28.3	-	0.9	-	3.8	9.4	0.9	228.3
無回答	22	-	-	36.4	13.6	18.2	-	-	-	4.5	9.1	18.2	200.0	

## 孤立死の心配

【問 11】 あなたは、孤立死\*について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください

※ 孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か経過した状態で発見されることです。

孤立死の心配については、「心配である」(16.1%)と「少し心配である」(23.9%)を合わせた割合(40.0%)が全体の4割となっている。



### 【対象者全体】

「少し心配である」が23.9%と最も高い。次いで、「心配していない」が23.4%である。

### 【性別】

「心配である」「少し心配である」を合わせた割合は、男性が35.9%、女性が42.8%である。

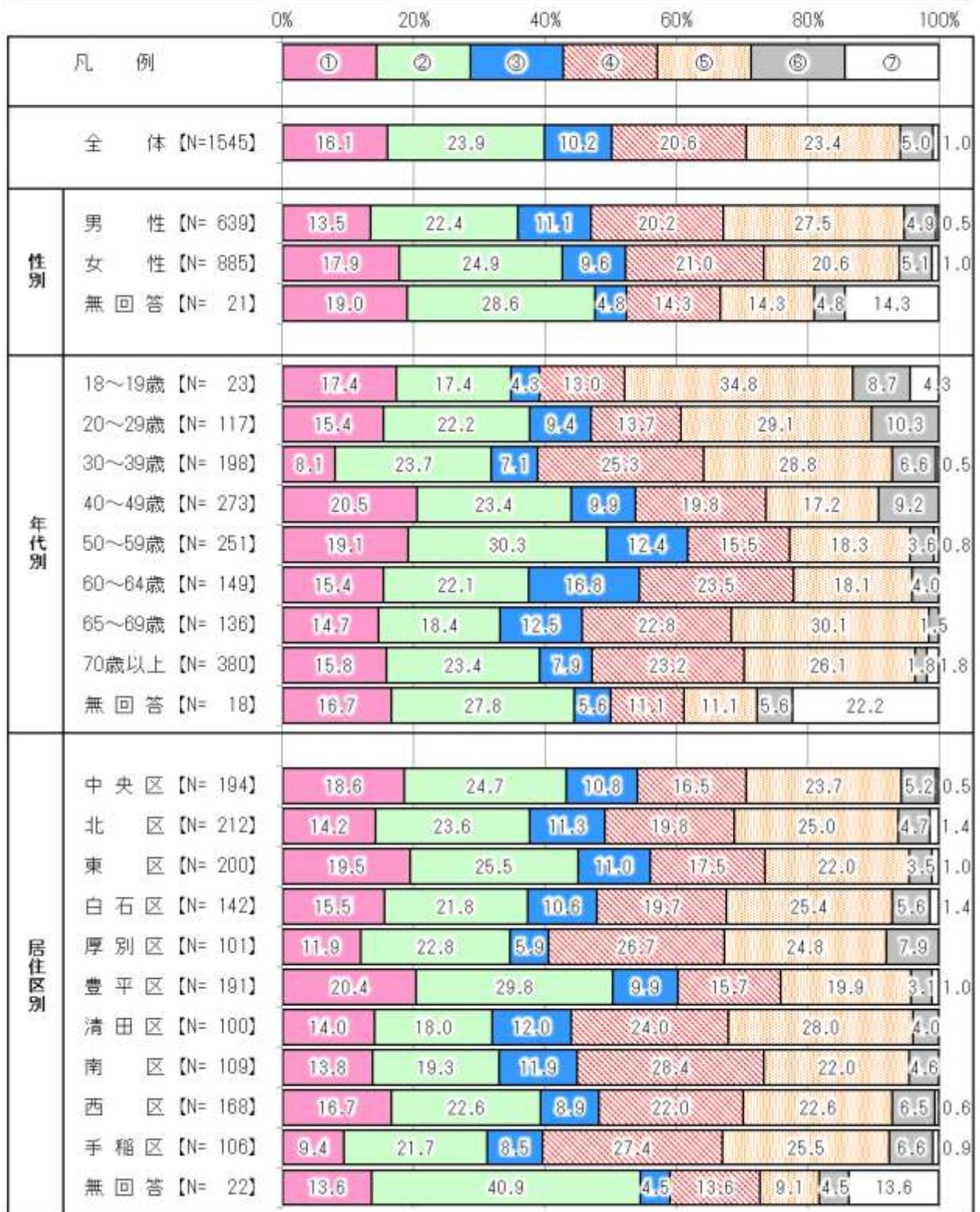
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「心配である」「少し心配である」を合わせた割合は50歳代で49.4%と最も高く、「あまり心配していない」「心配していない」を合わせた割合は30歳代で54.1%と最も高い。

### 【居住区別】

「心配である」「少し心配である」を合わせた割合は豊平区で50.2%と最も高く、手稲区で31.1%と最も低い。

①心配である ②少し心配である ③どちらともいえない ④あまり心配していない  
 ⑤心配していない ⑥わからない ⑦無回答

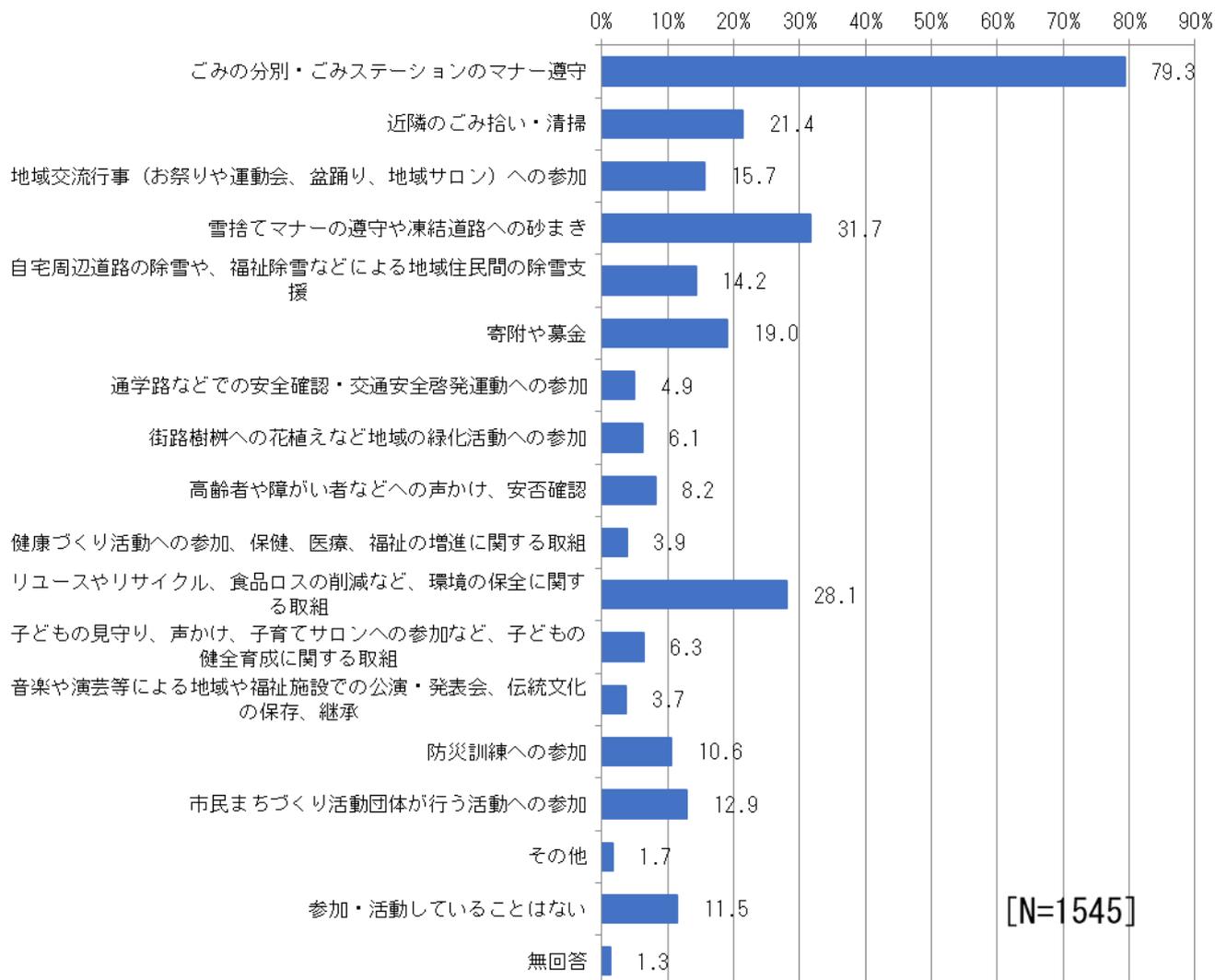


## 継続的に行っているまちづくり活動

【問 12】 次にあげるまちづくり活動\*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動とは、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等の市民まちづくり団体が行う活動に参加するなど、快適な生活空間の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための活動全般を指します。

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が79.3%と最も高くなっている。



### 【対象者全体】

「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が 79.3%と最も高くなっている。次いで、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が 31.7%、「リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組」が 28.1%となっている。

### 【性別】

男性では「近隣のごみ拾い・清掃」(25.0%)、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」(35.5%)、「自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援」(18.5%)が女性より 5 ポイント以上高くなっている。

女性では「リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組」(31.6%)が男性より 5 ポイント以上高くなっている。

### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

60 歳代後半では「近隣のごみ拾い・清掃」(39.7%)、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」(45.6%)が、70 歳以上では「近隣のごみ拾い・清掃」(33.4%)、「防災訓練への参加」(21.1%)が、他の年代に比べて高くなっている。一方、20 歳代では「参加・活動していることはない」(23.1%)が他の年代に比べて高くなっており、「近隣のごみ拾い・清掃」、「地域交流行事(お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン)への参加」、「寄付や募金」がいずれも 10%未満となっている。

### 【居住区別】

清田区、南区、手稲区では清掃や除雪に関係する活動が他の居住区よりも高く、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」はいずれの区も 40%を超えている。

厚別区では「リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組」が 38.6%と他の居住区よりも高くなっている。

		回答者数	ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守	近隣のごみ拾い・清掃	地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加	雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき	雪などによる地域住民間の除雪支援	自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪	寄附や募金	通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加	街路樹への花植えなど地域の緑化活動への参加
全体		1,545	79.3	21.4	15.7	31.7	14.2	19.0	4.9	6.1	
性別	男性	639	79.5	25.0	16.6	35.5	18.5	17.5	4.9	5.9	
	女性	885	79.5	19.3	15.3	29.3	11.3	20.2	4.9	6.4	
	無回答	21	61.9	-	4.8	19.0	9.5	14.3	4.8	-	
年代別	18～19歳	23	56.5	8.7	21.7	21.7	8.7	8.7	8.7	4.3	
	20～29歳	117	70.9	5.1	5.1	23.9	7.7	8.5	0.9	-	
	30～39歳	198	80.3	11.1	14.1	23.2	8.6	14.1	3.0	1.5	
	40～49歳	273	79.1	12.5	16.8	29.7	11.7	11.4	8.1	2.6	
	50～59歳	251	83.3	18.3	12.0	32.7	10.4	18.3	4.0	4.4	
	60～64歳	149	76.5	26.2	14.1	36.2	22.1	20.1	4.7	5.4	
	65～69歳	136	88.2	39.7	19.1	45.6	19.1	26.5	2.9	9.6	
	70歳以上	380	78.9	33.4	21.1	34.2	19.5	28.9	5.8	13.4	
	無回答	18	61.1	5.6	-	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	
居住区別	中央区	194	75.3	13.4	13.9	23.2	8.8	19.6	7.2	5.2	
	北区	212	82.5	23.6	17.0	37.3	16.0	18.4	6.1	9.4	
	東区	200	79.0	17.0	9.5	26.5	10.0	15.0	3.5	3.0	
	白石区	142	76.1	17.6	16.2	29.6	9.2	14.1	2.8	4.9	
	厚別区	101	86.1	29.7	18.8	38.6	15.8	25.7	2.0	10.9	
	豊平区	191	77.5	16.2	15.7	22.5	14.1	21.5	3.7	7.3	
	清田区	100	86.0	28.0	20.0	47.0	21.0	19.0	3.0	11.0	
	南区	109	86.2	35.8	23.9	42.2	23.9	27.5	7.3	7.3	
	西区	168	76.2	16.1	11.3	27.4	9.5	16.1	4.8	1.2	
	手稲区	106	75.5	36.8	20.8	41.5	26.4	20.8	7.5	5.7	
	無回答	22	68.2	9.1	4.5	27.3	9.1	9.1	4.5	-	

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

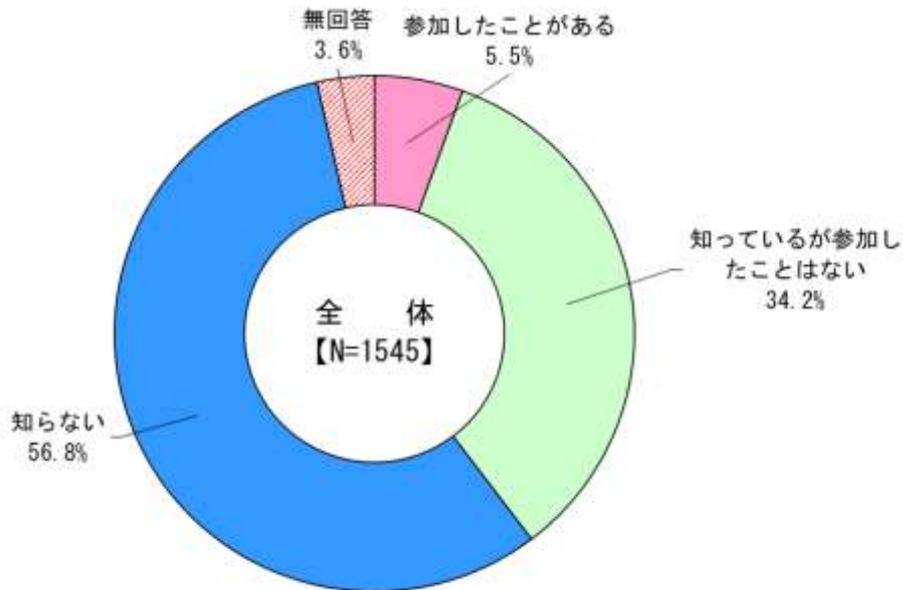
	回答者数	高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認	健康づくり活動への参加、保健、医療、福祉の増進に関する取組	健康づくり活動への参加、保	リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組	子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加など、子どもの健全育成に関する取組	音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承	防災訓練への参加	市民まちづくり活動団体が行う活動への参加	その他	参加・活動していることはない	無回答	計
全体	1,545	8.2	3.9	28.1	6.3	3.7	10.6	12.9	1.7	11.5	1.3	280.6	
性別	男性	639	6.6	4.2	23.6	3.8	3.6	12.4	11.1	2.2	12.2	0.8	283.9
	女性	885	9.5	3.7	31.6	8.4	3.7	9.4	14.4	1.4	11.1	1.4	280.7
	無回答	21	-	-	14.3	-	4.8	4.8	9.5	4.8	9.5	14.3	176.2
年代別	18～19歳	23	4.3	-	17.4	-	-	-	4.3	-	30.4	4.3	200.0
	20～29歳	117	2.6	2.6	22.2	6.8	2.6	2.6	-	0.9	23.1	-	185.5
	30～39歳	198	3.0	4.0	26.8	10.1	2.5	1.5	7.1	1.0	13.6	0.5	226.3
	40～49歳	273	3.7	1.8	30.4	6.6	2.2	7.0	12.5	0.7	12.5	0.4	249.5
	50～59歳	251	6.8	3.2	35.5	6.0	3.6	8.0	12.4	1.6	10.4	-	270.5
	60～64歳	149	10.7	4.0	36.2	4.0	4.7	10.7	12.1	3.4	15.4	0.7	307.4
	65～69歳	136	11.0	8.8	23.5	5.1	4.4	15.4	19.1	1.5	3.7	0.7	344.1
	70歳以上	380	15.3	4.7	23.9	6.3	5.0	21.1	19.5	2.9	7.1	3.2	344.2
	無回答	18	-	-	11.1	-	11.1	5.6	11.1	-	11.1	16.7	166.7
居住区別	中央区	194	7.2	4.6	28.4	6.2	4.6	15.5	16.5	1.5	12.4	2.1	265.5
	北区	212	10.4	2.8	33.5	8.5	5.2	16.5	10.8	3.3	8.5	1.9	311.8
	東区	200	5.0	6.5	21.0	3.0	1.0	9.5	11.5	2.0	11.0	1.5	235.5
	白石区	142	7.0	1.4	31.0	3.5	3.5	6.3	9.9	2.1	16.2	0.7	252.1
	厚別区	101	10.9	5.9	38.6	5.0	4.0	14.9	16.8	3.0	7.9	-	334.7
	豊平区	191	12.0	2.1	29.8	5.2	4.2	9.4	11.5	1.0	12.6	1.6	268.1
	清田区	100	10.0	4.0	32.0	10.0	-	9.0	14.0	1.0	6.0	-	321.0
	南区	109	10.1	6.4	27.5	10.1	7.3	11.0	11.9	0.9	7.3	-	346.8
	西区	168	4.2	1.8	22.0	7.7	3.0	6.0	13.1	1.2	16.1	0.6	238.1
	手稲区	106	7.5	5.7	22.6	7.5	3.8	5.7	17.9	0.9	15.1	0.9	322.6
	無回答	22	-	-	13.6	-	4.5	-	4.5	-	9.1	13.6	177.3

## 市民参加の機会

【問 13】札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆様にご集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）に参加したことがありますか。

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が 56.8%と全体の 6 割未満を占めている。



### 【対象者全体】

「知らない」が 56.8%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が 34.2%、「参加したことがある」が 5.5%となっている。

### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が 54.6%、女性が 58.2%となっている。

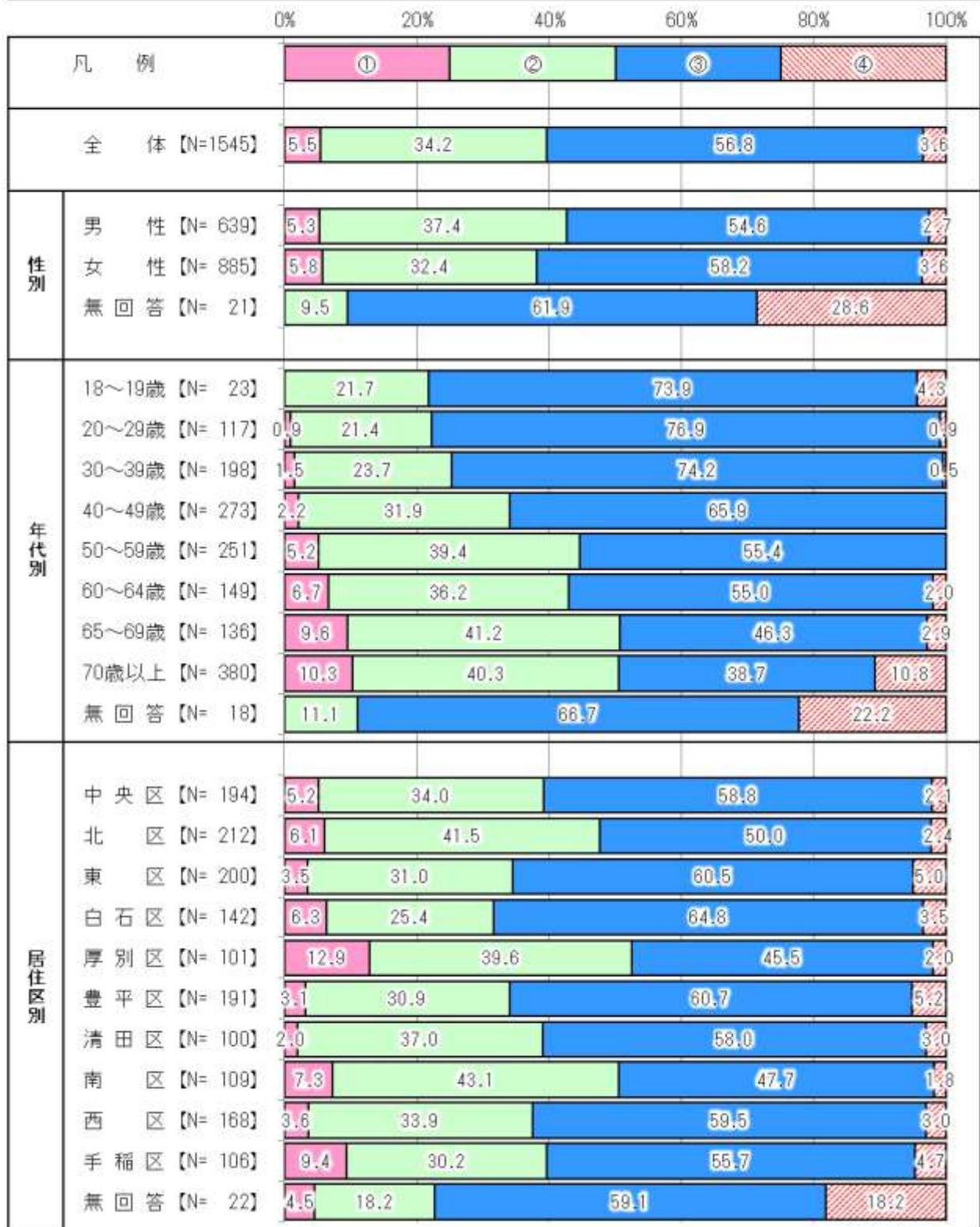
### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

「参加したことがある」と「知っているが参加したことはない」はともに、年代が上がるにつれて上昇傾向となっている。「参加したことがある」は 70 歳以上（10.3%）で、「知っているが参加したことはない」は 60 歳代後半（41.2%）で最も高くなっている。

### 【居住区別】

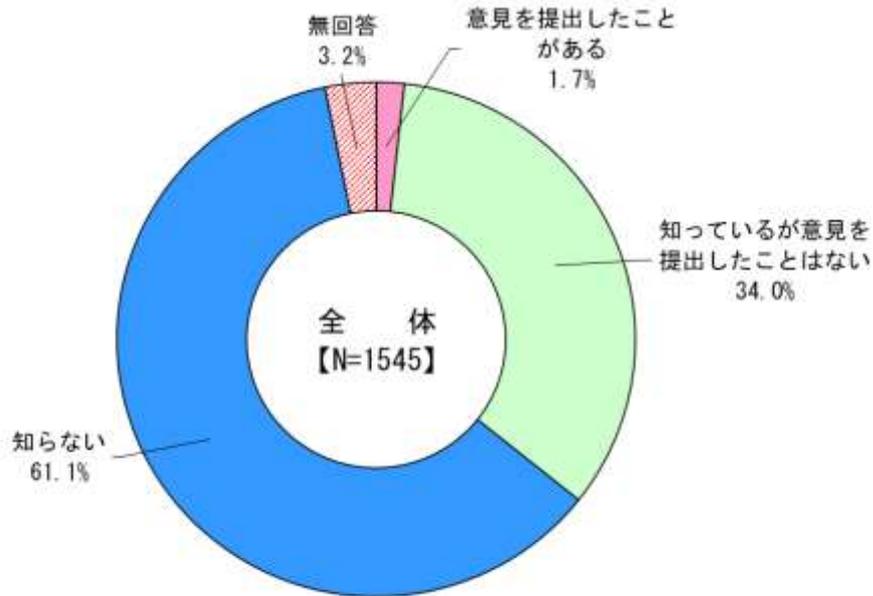
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。「参加したことがある」は厚別区が 12.9%と最も高く、清田区が 2.0%と最も低い。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(2) パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆様から意見をいただくもの）に意見を提出したことがありますか。

パブリックコメントの提出については、「知らない」が61.1%と全体の6割を占めている。



#### 【対象者全体】

「知らない」が61.1%と最も高くなっている。次いで、「知っているが意見を提出したことはない」が34.0%、「意見を提出したことがある」が1.7%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が54.0%、女性が66.2%となっている。男性では「知っているが意見を提出したことはない」が41.0%と、女性（29.4%）よりも11.6ポイント高くなっている。

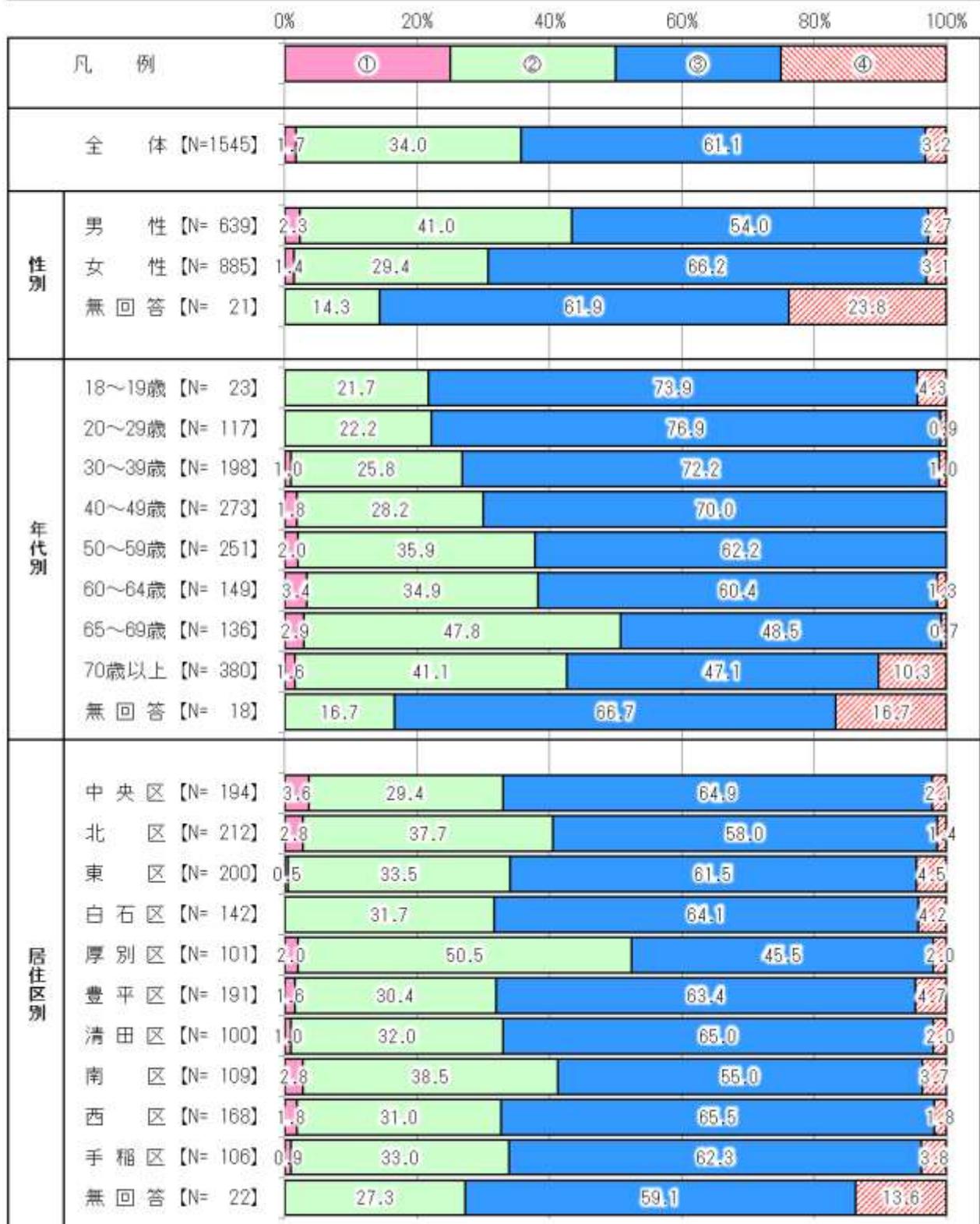
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。「知っているが意見を提出したことはない」は年代が上がるにつれて上昇傾向にある。特に60歳代後半では47.8%と最も高く、「知らない」（48.5%）とほぼ同率である。

#### 【居住区別】

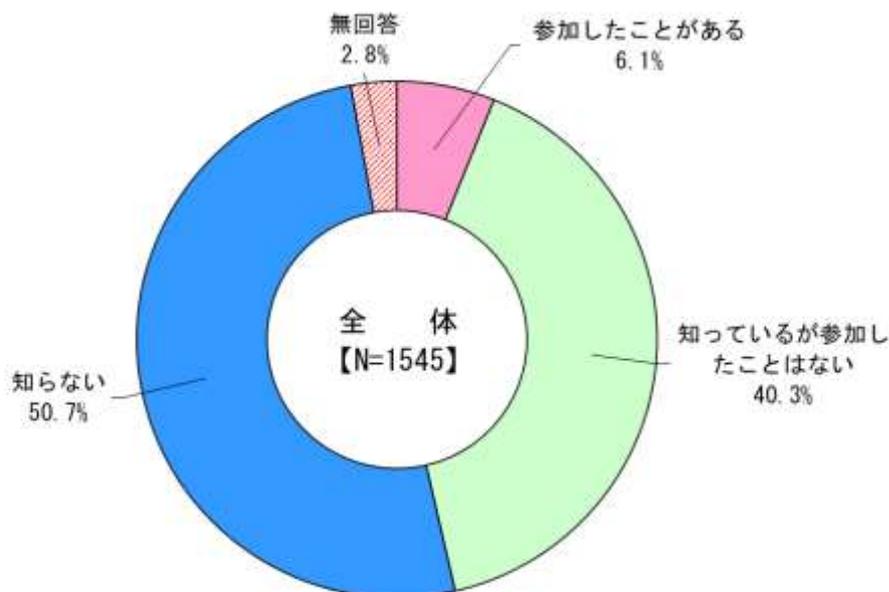
厚別区では「知っているが意見を提出したことはない」（50.5%）が「知らない」（45.5%）を5.0ポイント上回っている。厚別区を除く全居住区では「知らない」が最も高い。

①意見を提出したことがある ②知っているが意見を提出したことはない ③知らない ④無回答



(3) シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）に参加したことがありますか。

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が 50.7%と全体の 5 割を占めている。



#### 【対象者全体】

「知らない」が 50.7%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が 40.3%、「参加したことがある」が 6.1%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が 51.8%、女性が 49.8%となっている。

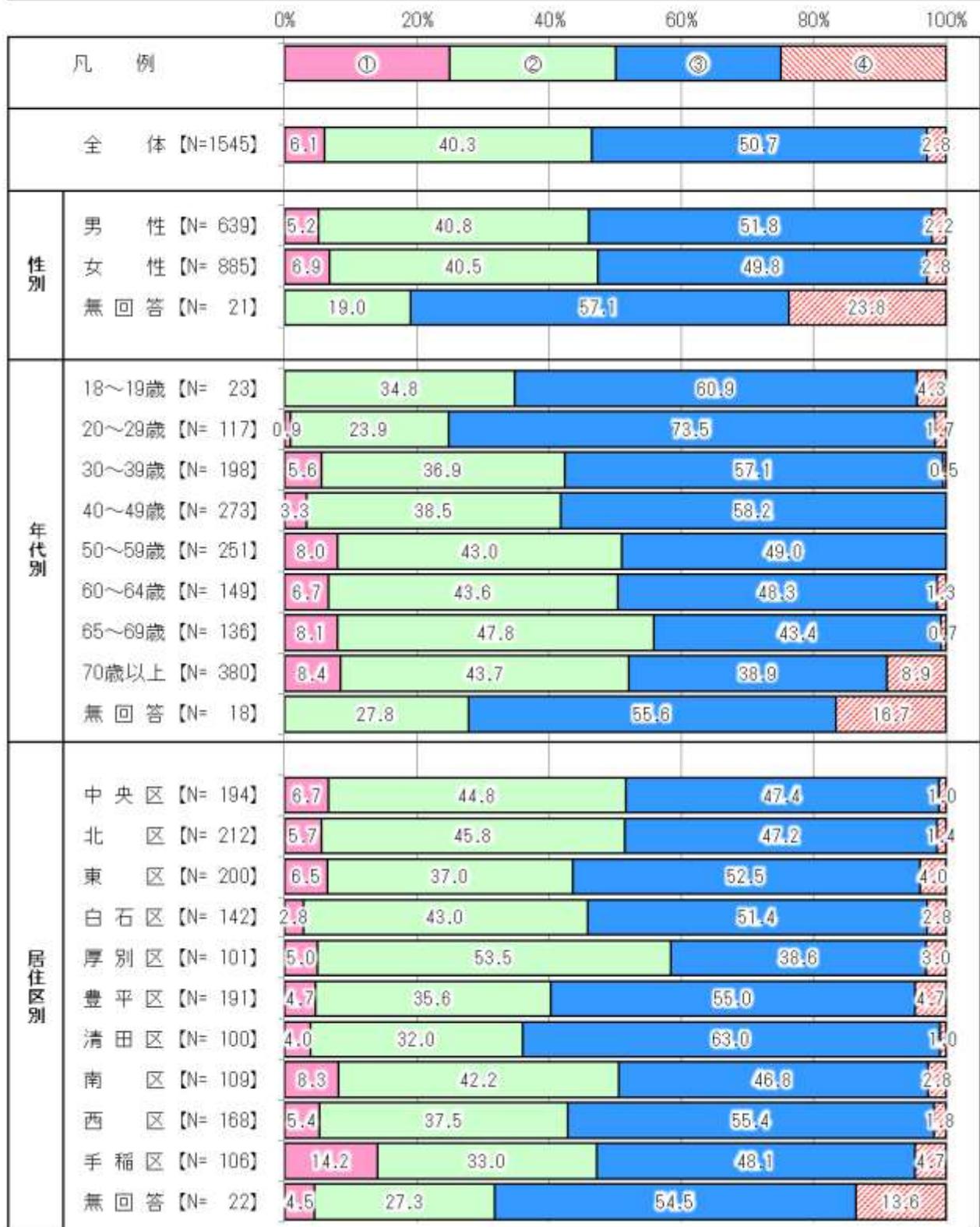
#### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

「参加したことがある」「知っているが参加したことはない」はいずれも年齢とともに上昇傾向にあり、50 歳代以上で合計が「知らない」を上回る。「参加したことがある」は 70 歳以上で 8.4%と最も高くなる。

#### 【居住区別】

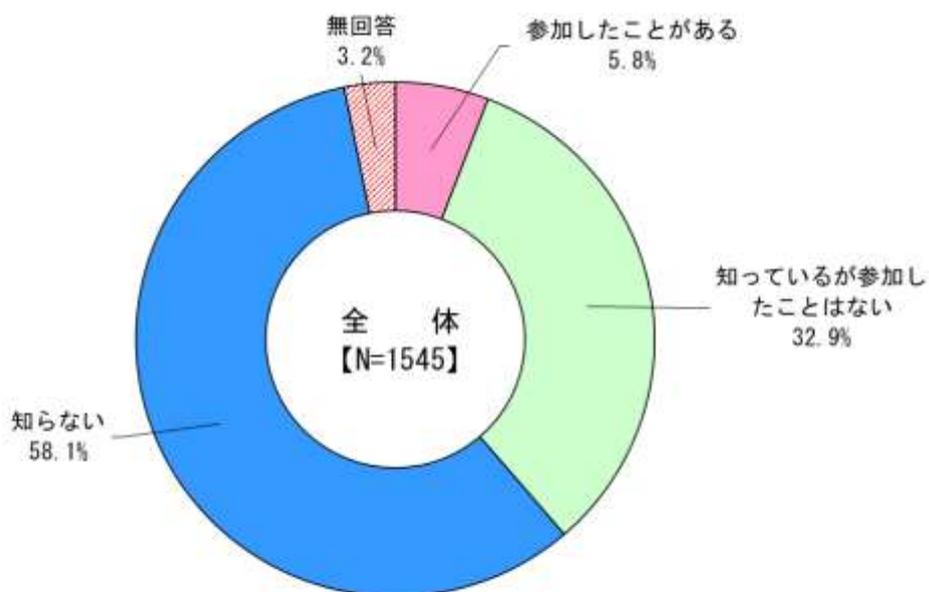
厚別区を除く全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも清田区は 63.0%と特に高くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(4) ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）に参加したことがありますか。

ワークショップの参加については、「知らない」が58.1%と全体の6割弱を占めている。



#### 【対象者全体】

「知らない」が58.1%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が32.9%、「参加したことがある」が5.8%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が59.5%、女性が57.1%となっている。

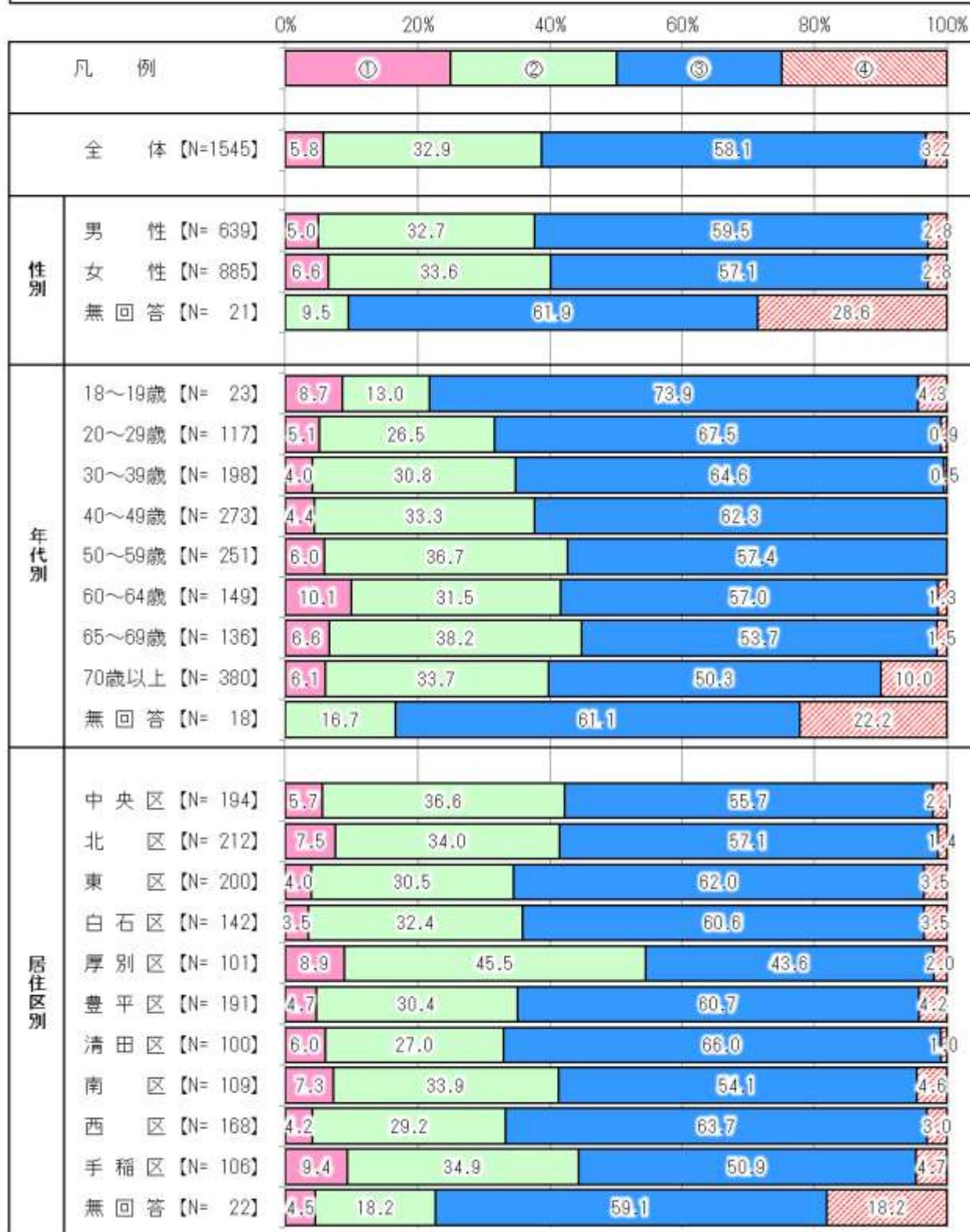
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「参加したことがある」「知っているが参加したことはない」はいずれも年齢とともに上昇傾向にある。「参加したことがある」は60歳代前半で10.1%と最も高くなる。

#### 【居住区別】

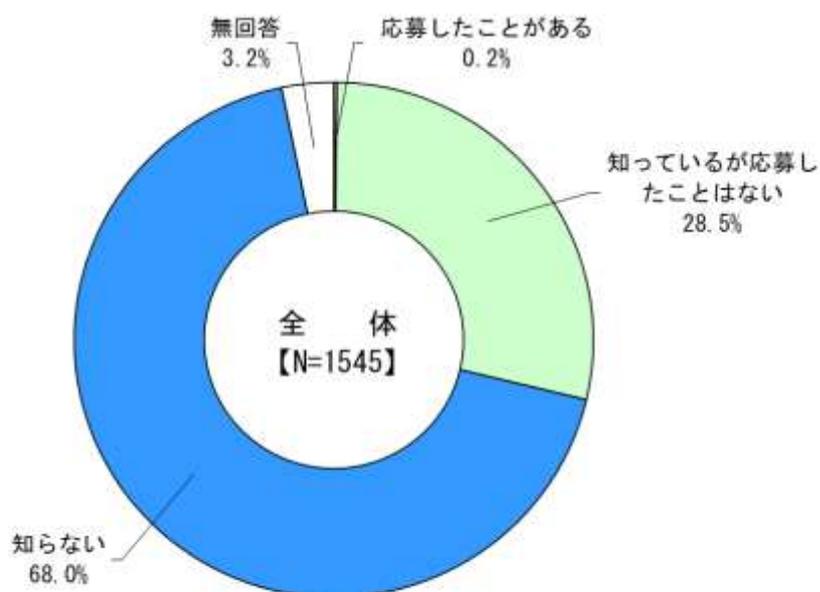
厚別区を除く全居住区で「知らない」が最も高くなっている。厚別区では「知っているが参加したことはない」が45.5%で、「知らない」の43.6%を上回っている。また「参加したことがある」は手稲区で9.4%と最も高い。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



- (5) 審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募に応募したことがありますか。

市民参加の公募については、「知らない」が 68.0%と全体の 7 割未満を占めている。



#### 【対象者全体】

「知らない」が 68.0%と最も高くなっている。次いで、「知っているが応募したことはない」が 28.5%、「応募したことがある」が 0.2%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が 65.1%、女性が 70.2%となっている。

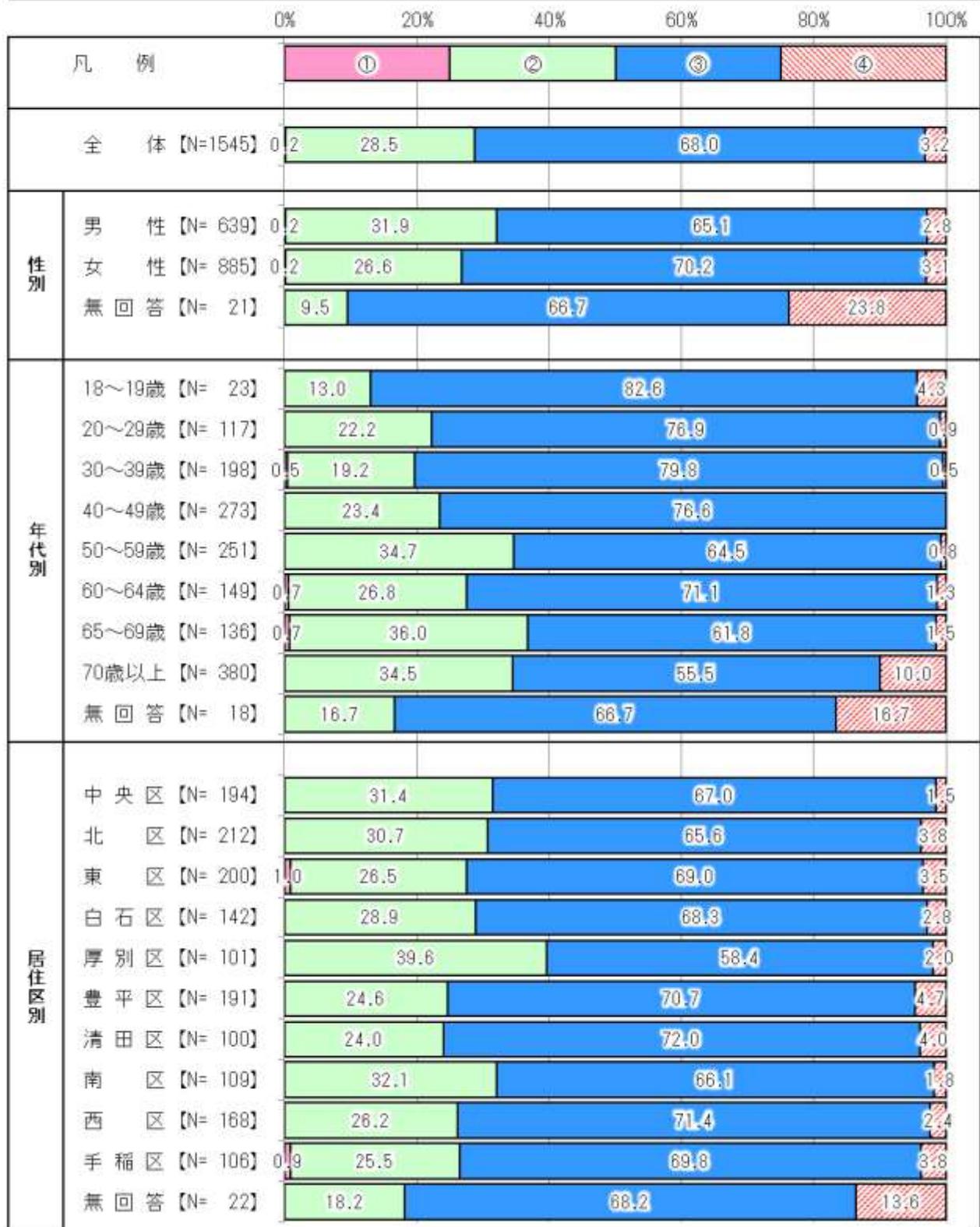
#### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。その中でも 30 歳代が 79.8%と最も高く、70 歳以上が 55.5%と最も低くなっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも清田区が 72.0%と最も高く、厚別区が 58.4%と最も低くなっている。

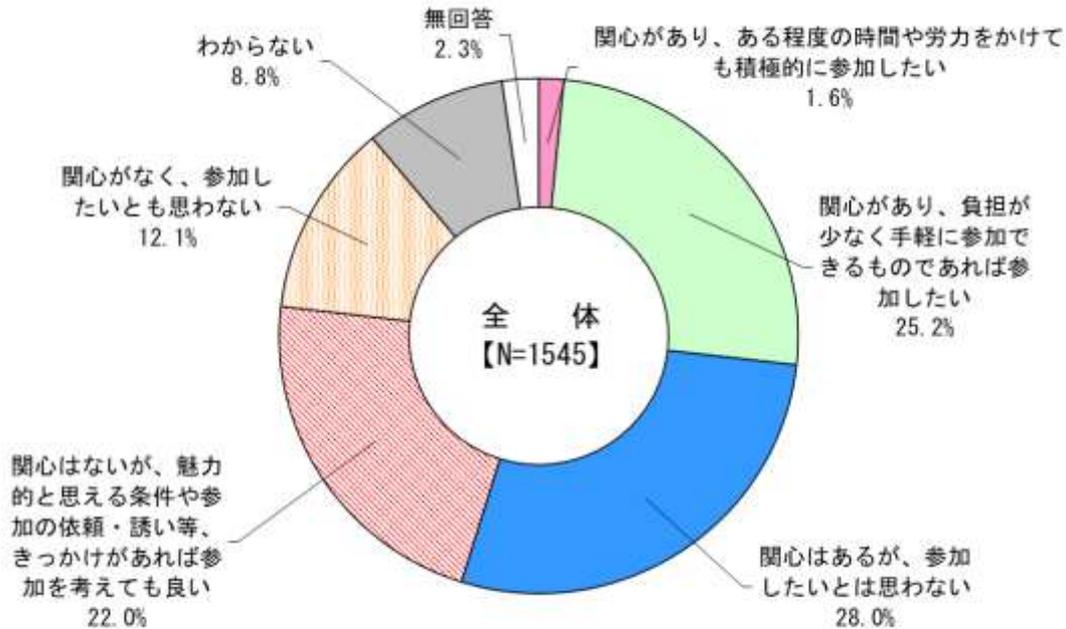
①応募したことがある ②知っているが応募したことはない ③知らない ④無回答



## 市政への関心や参加

【問 14】 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への関心や参加については、「関心はあるが、参加したいと思わない」が 28.0%と最も高く、次いで「関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい」が 25.2%となっている。



### 【対象者全体】

「関心はあるが、参加したいと思わない」が 28.0%と最も高く、次いで「関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい」が 25.2%、「関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えてもいい」が 22.0%、「関心がなく、参加したいと思わない」が 12.1%、「わからない」が 8.8%、「関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい」が 1.6%となっている。

### 【性別】

男性では「関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい」が 29.6%と最も高く、女性では「関心はあるが、参加したいと思わない」が 27.0%と最も高くなっている。

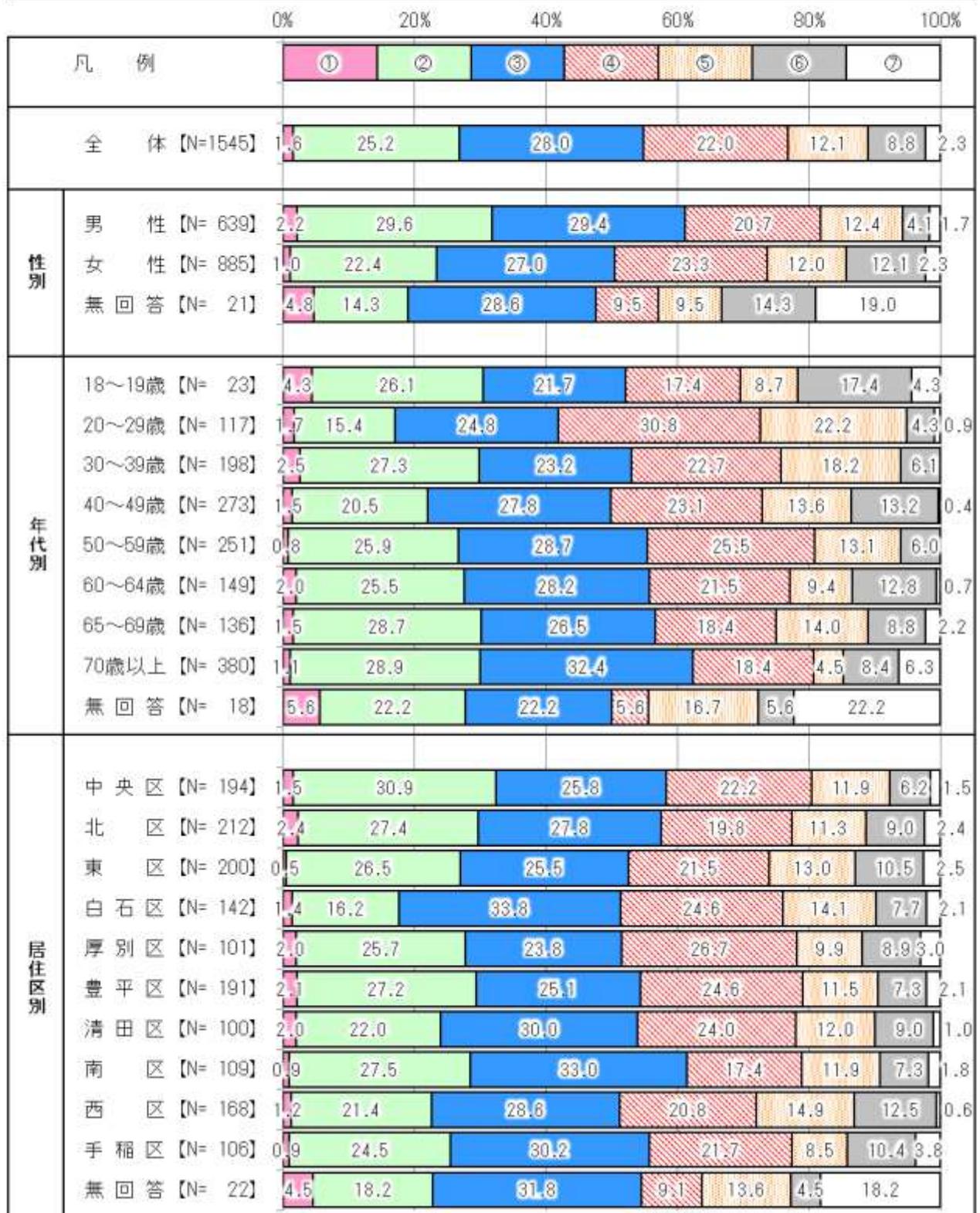
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代では「関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えてもいい」が 30.8%が最も高く、他の世代と比べても高くなっている。

### 【居住区別】

中央区、東区、豊平区では「関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい」が最も高く、北区、白石区、清田区、南区、西区、手稲区では「関心はあるが、参加したいと思わない」が最も高くなっている。

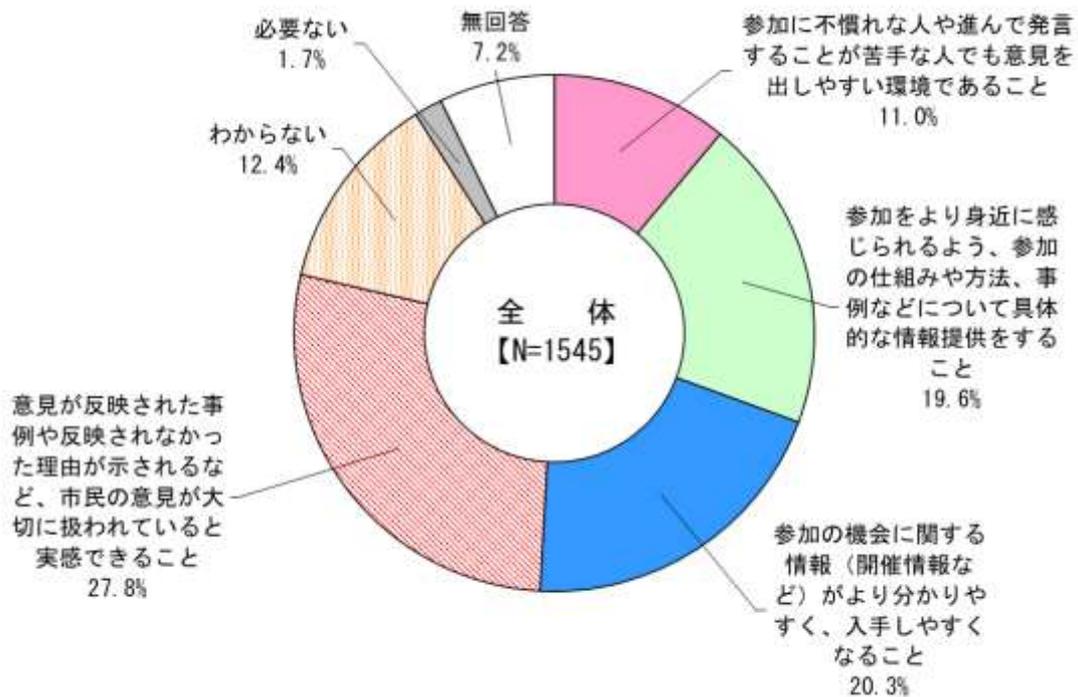
①関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい  
 ②関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい ③関心はあるが、参加したいとは思わない  
 ④関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えても良い  
 ⑤関心がなく、参加したいとは思わない ⑥わからない ⑦無回答



## 市政への参加しやすさに必要な事柄

【問 15】あなたは、今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への参加しやすさに必要な事柄については、「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が 27.8%、「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 20.3%となっている。



### 【対象者全体】

「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が 27.8%と最も高くなっている。次いで、「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 20.3%、「参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること」が 19.6%、「わからない」が 12.4%、「参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること」が 11.0%、「必要ない」が 1.7%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高く、男性が 26.9%、女性が 28.7%となっている。

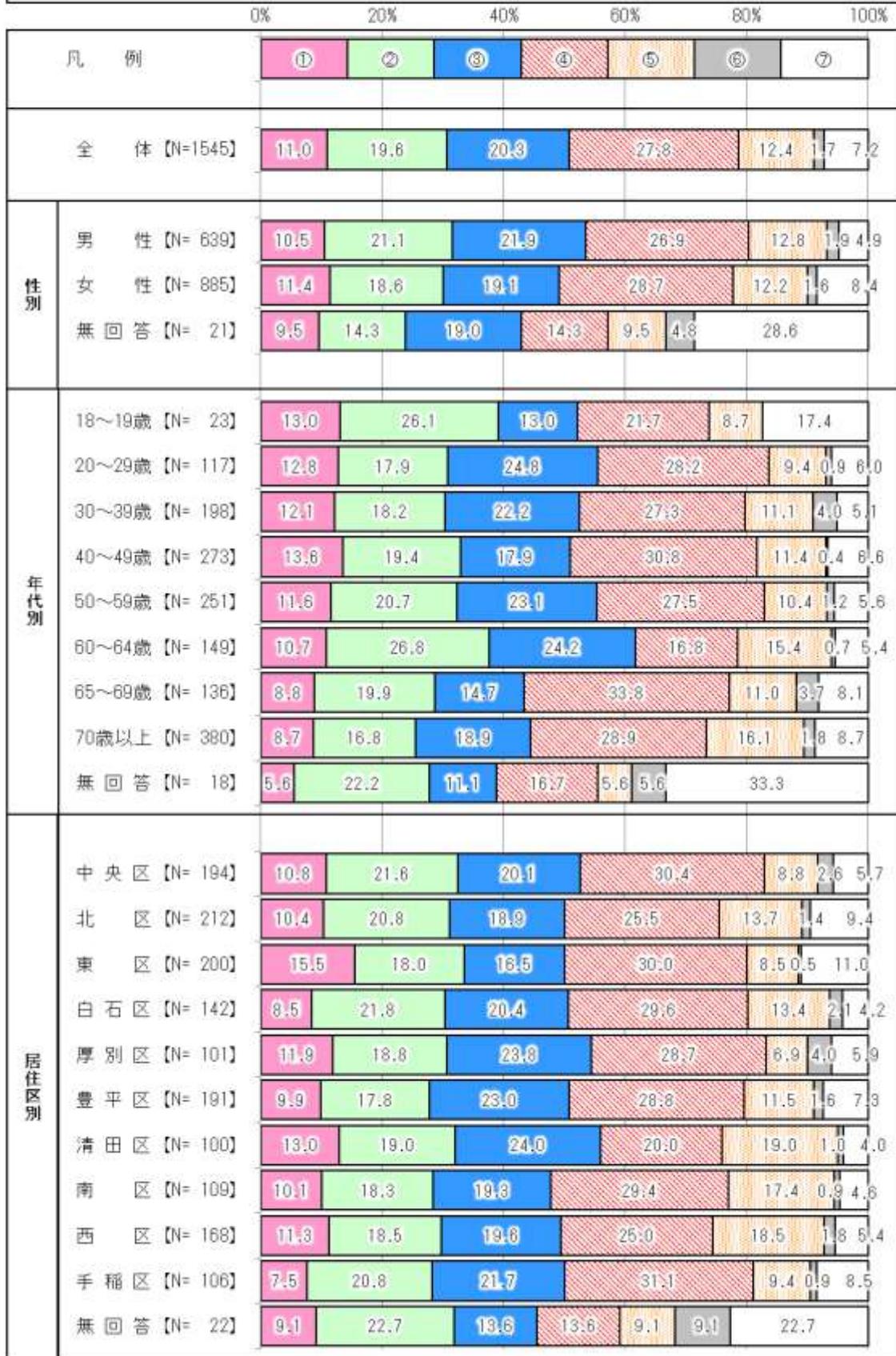
#### 【年代別】※10 歳代は少数のため参考値とする。

60 歳代前半を除く全年代で「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高く、その中でも 40 歳代が 30.8%、60 歳代後半が 33.8%と高くなっている。60 歳代前半では「参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること」が 26.8%と最も高くなっている。

#### 【居住区別】

清田区では「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 24.0%と最も高く、その他の区では「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高くなっている。

- ①参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること  
 ②参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること  
 ③参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること  
 ④意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど市民の意見が大切に扱われていると実感できること  
 ⑤わからない ⑥必要ない ⑦無回答



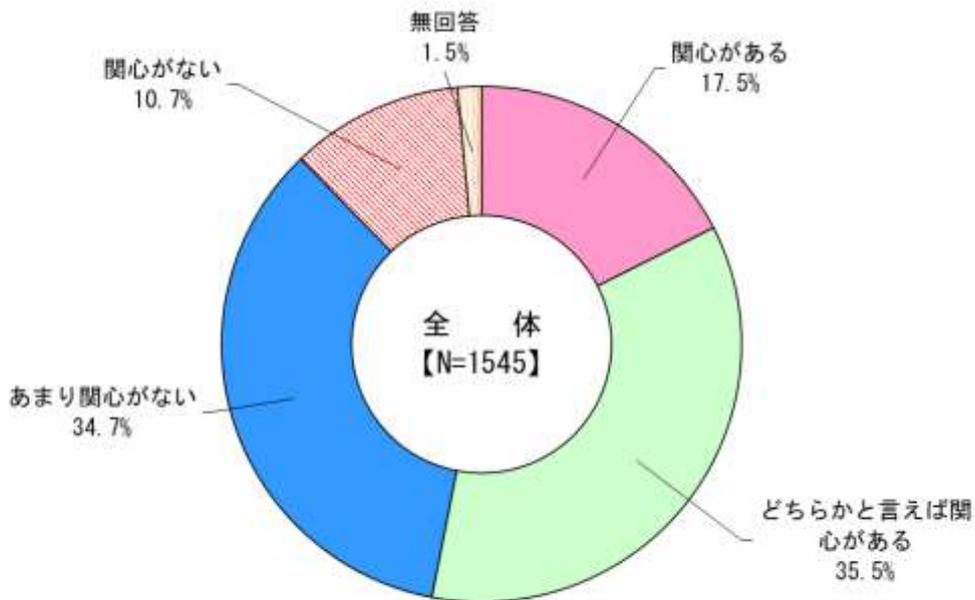
## 海外交流への関心

【問 16】札幌市においても国際社会との関係が深まる中、あなたは、姉妹・友好都市<sup>\*1</sup>をはじめとした海外諸都市との往来や外国人との交流<sup>\*2</sup>等を通して、異文化を理解し、世界の都市と友好を深めていくことに関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との往来や外国人との交流」とは、スポーツ、文化芸術、教育、観光、経済など様々な分野における交流を指します。

海外交流への関心については、「関心がある」（17.5%）と「どちらかといえば関心がある」（35.5%）を合わせた割合（53.0%）が5割強となっている。



### 【対象者全体】

「どちらかといえば関心がある」が35.5%と最も高くなっている。次いで、「あまり関心がない」が34.7%、「関心がある」が17.5%、「関心がない」が10.7%となっている。

### 【性別】

男性では「あまり関心がない」が35.1%と最も高くなっており、女性では「どちらかといえば関心がある」が36.5%と最も高い。

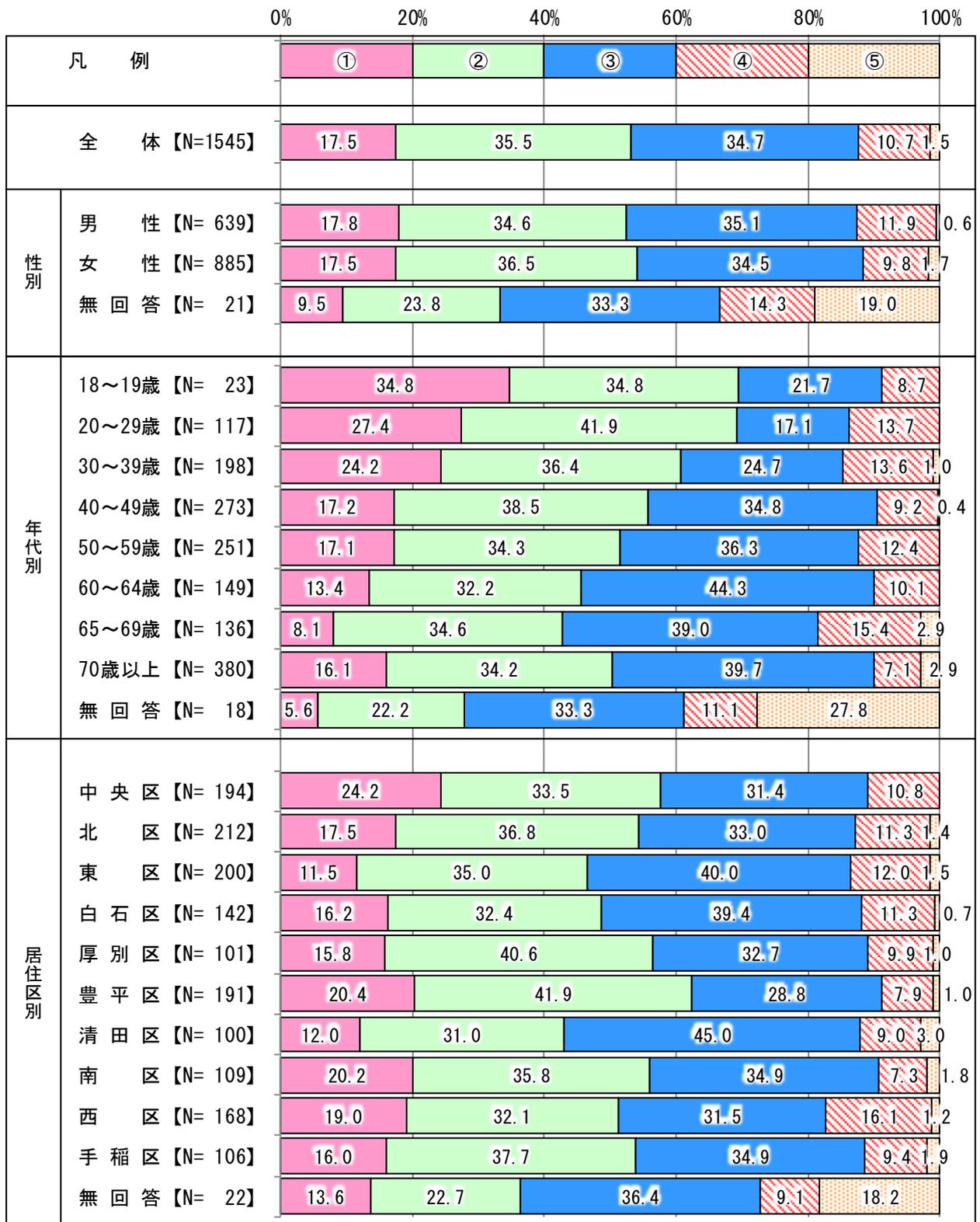
### 【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳～60歳代において、関心の度合いは年代とともに減少傾向にある。「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計は、20歳代では69.3%だが、60歳代後半では42.7%となっている。ただし70歳代の合計は50.3%であり、50歳代の合計（51.4%）とほとんど変わらない。

### 【居住区別】

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計は、豊平区で62.3%と最も高く、清田区で43.0%と最も低い。東区、白石区、清田区では「どちらかといえば関心がない」「関心がない」の合計の方が高い傾向にある。

①関心がある ②どちらかといえば関心がある ③あまり関心がない ④関心がない ⑤無回答



## 行ったスポーツ(運動)

【問 17】あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

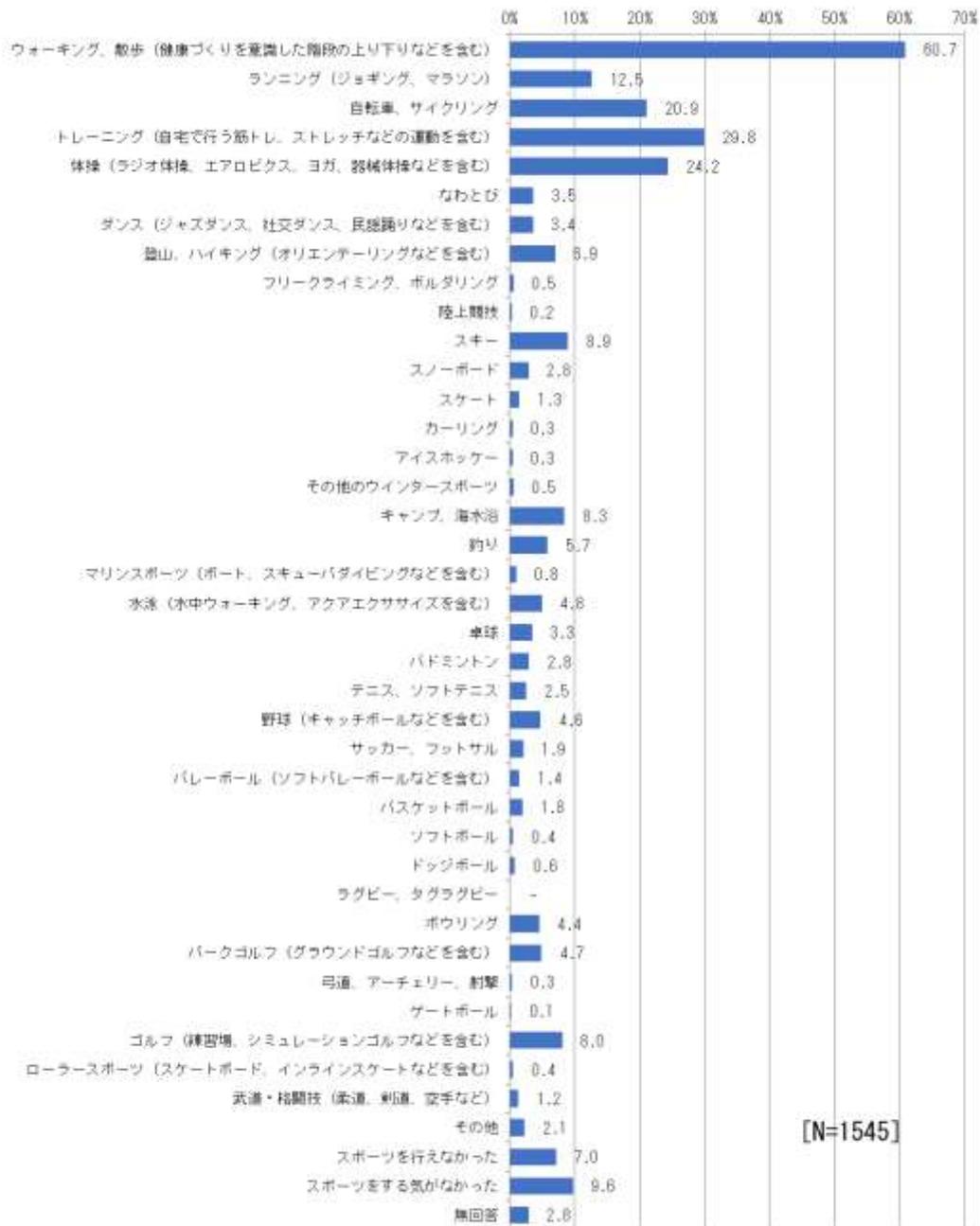
なお、運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「39」または「40」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの変更などがある競技はもとの競技に含まれます。

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル

行ったスポーツ（運動）については、「ウォーキング、散歩」が60.7%と最も高くなっている。次いで、「トレーニング」が29.8%、「体操」が24.2%、「自転車・サイクリング」が20.9%となっている。



#### 【対象者全体】

行ったスポーツ（運動）については、「ウォーキング、散歩」が60.7%と最も高くなっている。次いで、「トレーニング」が29.8%、「体操」が24.2%、「自転車・サイクリング」が20.9%となっている。

#### 【性別】

男性では「ランニング」（18.6%）と「ゴルフ」（14.9%）が、女性では「体操」（30.2%）が、それぞれ異性よりも10ポイント以上上回っている。

【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代では「ランニング」が他の年代よりも高くなっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「ウォーキング、散歩」が最も高く、特に厚別区（72.3%）が他の居住区よりも高くなっている。

		回答者数	ウォーキング、散歩（健康づくりを意識した階段の上り下りなどを含む）	ランニング（ジョギング、マラソン）	自転車、サイクリング	トレニング（自宅で行う筋トレ、ストレッチなどの運動を含む）	体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、器械体操などを含む）	なわとび	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなどを含む）	登山、ハイキング（オリエンテーリングなどを含む）
全体		1,545	60.7	12.5	20.9	29.8	24.2	3.5	3.4	6.9
性別	男性	639	60.4	18.6	24.6	29.9	16.3	1.4	1.4	8.6
	女性	885	61.2	8.2	18.6	30.3	30.2	5.0	4.7	5.6
	無回答	21	47.6	4.8	4.8	4.8	14.3	4.8	9.5	4.8
年代別	18～19歳	23	60.9	34.8	47.8	47.8	30.4	13.0	8.7	4.3
	20～29歳	117	62.4	32.5	23.9	39.3	16.2	5.1	6.8	5.1
	30～39歳	198	60.1	20.7	22.2	34.8	21.2	8.6	3.0	7.1
	40～49歳	273	58.2	17.2	26.0	32.6	22.0	6.6	2.6	9.5
	50～59歳	251	55.8	10.0	21.5	29.1	23.5	1.6	4.4	5.2
	60～64歳	149	61.7	8.1	20.8	32.2	23.5	1.3	4.0	5.4
	65～69歳	136	60.3	6.6	14.7	27.2	30.1	1.5	1.5	5.1
	70歳以上	380	65.5	3.2	16.8	22.9	28.4	0.5	2.6	7.9
	無回答	18	55.6	5.6	-	-	16.7	-	5.6	5.6
居住区別	中央区	194	68.0	17.5	25.8	33.0	29.4	4.6	1.0	9.3
	北区	212	60.4	9.9	22.6	33.5	28.3	2.4	4.7	5.7
	東区	200	56.0	10.0	22.0	27.0	19.5	2.0	2.5	6.0
	白石区	142	54.2	15.5	19.0	33.8	21.8	3.5	3.5	7.7
	厚別区	101	72.3	12.9	25.7	38.6	25.7	4.0	4.0	6.9
	豊平区	191	61.3	13.1	18.3	24.1	21.5	1.0	3.7	4.7
	清田区	100	54.0	14.0	17.0	29.0	24.0	6.0	4.0	6.0
	南区	109	56.0	13.8	20.2	30.3	21.1	3.7	1.8	8.3
	西区	168	62.5	10.7	20.8	28.0	23.2	6.0	5.4	7.7
	手稲区	106	65.1	9.4	17.9	27.4	30.2	4.7	3.8	7.5
	無回答	22	45.5	4.5	-	-	9.1	-	4.5	4.5

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

		回答者数	フリースタイルスキー、ボルダリング	陸上競技	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	アイスホッケー	その他のウィンタースポーツ	キャンプ、海水浴
全体		1,545	0.5	0.2	8.9	2.8	1.3	0.3	0.3	0.5	8.3
性別	男性	639	0.3	0.3	13.1	4.5	1.7	0.5	0.5	0.2	9.2
	女性	885	0.6	0.1	5.9	1.6	1.0	0.2	0.1	0.7	7.7
	無回答	21	-	-	4.8	-	-	-	4.8	-	4.8
年代別	18～19歳	23	4.3	4.3	13.0	13.0	-	-	-	4.3	8.7
	20～29歳	117	3.4	0.9	7.7	9.4	-	0.9	1.7	-	14.5
	30～39歳	198	0.5	-	12.1	4.5	4.0	-	-	0.5	16.7
	40～49歳	273	-	0.4	17.9	5.9	2.9	-	0.4	0.7	15.8
	50～59歳	251	0.4	-	8.0	1.6	0.4	0.4	0.4	0.8	4.8
	60～64歳	149	-	-	5.4	-	0.7	0.7	0.7	0.7	7.4
	65～69歳	136	-	-	4.4	-	0.7	-	-	-	2.2
	70歳以上	380	-	-	4.7	-	0.3	0.5	-	-	1.8
	無回答	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	194	-	-	9.8	2.1	2.1	-	0.5	-	7.7
	北区	212	0.9	-	8.5	1.9	1.4	0.5	0.5	0.9	7.1
	東区	200	1.0	0.5	9.5	2.5	1.5	0.5	-	-	9.5
	白石区	142	0.7	-	9.9	4.9	2.1	-	-	0.7	14.1
	厚別区	101	-	-	6.9	1.0	1.0	-	-	-	4.0
	豊平区	191	0.5	-	9.4	3.1	1.0	-	-	-	11.0
	清田区	100	-	-	3.0	4.0	-	2.0	-	-	9.0
	南区	109	0.9	1.8	11.9	1.8	-	-	0.9	2.8	9.2
	西区	168	-	-	6.5	2.4	0.6	-	0.6	-	4.2
	手稲区	106	-	-	14.2	4.7	1.9	0.9	0.9	0.9	7.5
	無回答	22	-	-	-	4.5	4.5	-	-	-	-

		回答者数	釣り	マリンスポーツ(ボート、スキューバダイビングなどを含む)	水泳(水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む)	卓球	バドミントン	テニス、ソフトテニス	野球(キャッチボールなどを含む)	サッカー、フットサル	バレーボール(ソフトバレーボールなどを含む)
全体		1,545	5.7	0.8	4.8	3.3	2.8	2.5	4.6	1.9	1.4
性別	男性	639	10.2	1.4	5.2	3.0	2.8	3.0	8.9	3.4	1.6
	女性	885	2.5	0.5	4.6	3.5	2.9	2.0	1.5	0.9	1.2
	無回答	21	4.8	-	-	4.8	-	4.8	4.8	-	-
年代別	18～19歳	23	13.0	-	4.3	39.1	39.1	13.0	21.7	17.4	47.8
	20～29歳	117	6.0	1.7	5.1	6.0	6.8	1.7	9.4	7.7	1.7
	30～39歳	198	5.6	1.0	4.5	1.5	3.5	2.0	7.1	5.6	1.0
	40～49歳	273	5.5	1.1	5.5	4.4	4.8	2.2	7.7	1.5	1.1
	50～59歳	251	4.8	1.2	4.8	1.6	0.4	4.0	2.4	0.8	0.4
	60～64歳	149	6.7	1.3	3.4	2.0	1.3	1.3	1.3	-	1.3
	65～69歳	136	7.4	-	7.4	0.7	1.5	2.9	3.7	-	-
	70歳以上	380	5.0	0.3	4.2	2.9	0.5	1.8	1.8	-	-
	無回答	18	5.6	-	-	5.6	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	194	2.1	2.1	5.7	2.1	2.6	4.1	3.6	2.6	0.5
	北区	212	5.7	0.5	6.1	3.3	3.3	3.3	3.8	1.4	2.4
	東区	200	3.5	0.5	2.5	4.0	3.0	3.0	4.5	0.5	1.5
	白石区	142	8.5	1.4	8.5	4.2	4.2	-	2.8	2.8	1.4
	厚別区	101	7.9	1.0	5.9	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	1.0
	豊平区	191	4.7	1.0	4.2	2.6	2.6	1.6	4.7	1.6	0.5
	清田区	100	7.0	-	7.0	6.0	3.0	2.0	5.0	3.0	2.0
	南区	109	6.4	0.9	3.7	3.7	1.8	1.8	6.4	0.9	2.8
	西区	168	7.1	-	2.4	3.0	2.4	2.4	7.7	1.8	1.8
	手稲区	106	8.5	0.9	3.8	1.9	2.8	3.8	6.6	2.8	-
	無回答	22	4.5	-	-	9.1	4.5	-	-	4.5	-

		回答者数	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー、タグラグビー	ボウリング	パークゴルフ（グラウンドゴルフなどを含む）	弓道、アーチェリー、射撃	ゲートボール	ゴルフ（練習場、シミュレーションゴルフなどを含む）
全体		1,545	1.8	0.4	0.6	-	4.4	4.7	0.3	0.1	8.0
性別	男性	639	2.5	0.6	0.2	-	5.5	5.5	0.3	-	14.9
	女性	885	1.4	0.2	1.0	-	3.6	4.1	0.2	0.1	3.1
	無回答	21	-	-	-	-	4.8	9.5	-	-	4.8
年代別	18～19歳	23	17.4	-	8.7	-	21.7	-	8.7	-	4.3
	20～29歳	117	9.4	-	2.6	-	10.3	4.3	0.9	-	4.3
	30～39歳	198	1.5	-	0.5	-	4.5	2.0	0.5	-	6.6
	40～49歳	273	3.3	1.1	1.5	-	4.4	3.3	-	-	7.0
	50～59歳	251	0.4	0.4	-	-	4.4	0.4	-	-	11.2
	60～64歳	149	-	-	-	-	2.7	3.4	-	-	7.4
	65～69歳	136	-	-	-	-	4.4	7.4	-	0.7	10.3
	70歳以上	380	-	0.5	-	-	2.1	10.3	-	-	8.2
	無回答	18	-	-	-	-	5.6	-	-	-	5.6
居住区別	中央区	194	2.1	0.5	0.5	-	3.6	2.1	-	-	13.4
	北区	212	0.5	0.5	-	-	3.8	4.2	1.4	-	9.4
	東区	200	1.0	-	1.0	-	4.5	4.0	-	-	5.0
	白石区	142	2.8	0.7	-	-	4.9	2.1	0.7	-	9.9
	厚別区	101	1.0	-	-	-	5.0	6.9	-	-	5.0
	豊平区	191	3.7	0.5	0.5	-	6.8	4.7	-	-	4.7
	清田区	100	3.0	-	-	-	5.0	6.0	-	1.0	7.0
	南区	109	3.7	0.9	1.8	-	3.7	5.5	-	-	8.3
	西区	168	0.6	0.6	2.4	-	2.4	4.8	-	-	6.5
	手稲区	106	0.9	-	-	-	3.8	12.3	-	-	10.4
	無回答	22	-	-	-	-	9.1	-	-	-	4.5

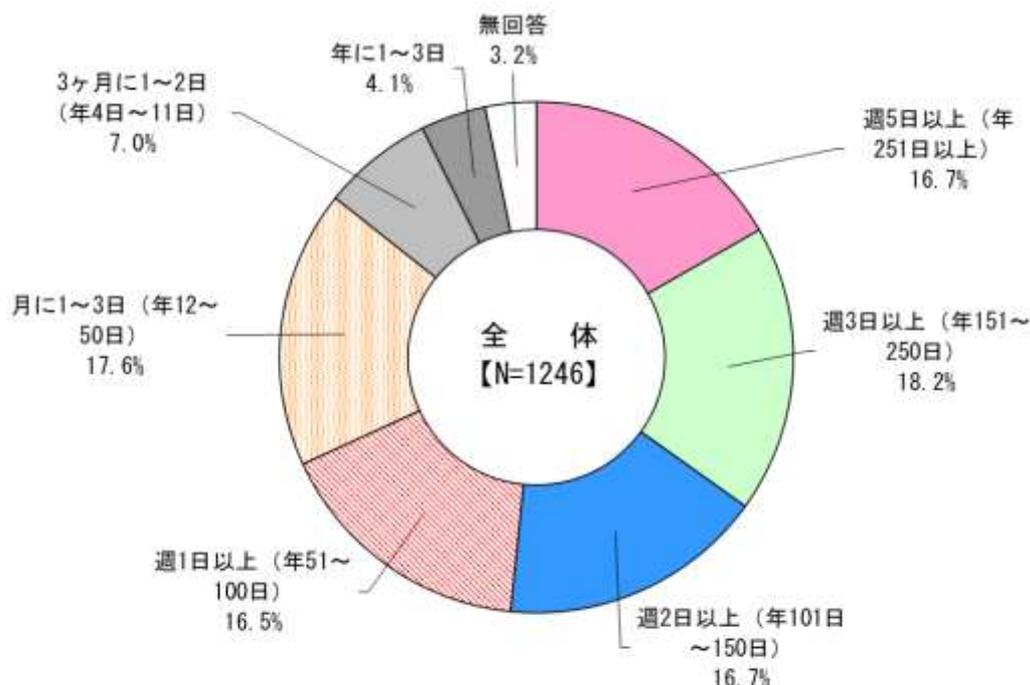
(単位：%)

		回答者数	ローラーアイスボード、インラインスケートなどを含む)	武道・格闘技(柔道、剣道、空手など)	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答	計
全体		1,545	0.4	1.2	2.1	7.0	9.6	2.8	256.0
性別	男性	639	0.6	2.0	1.3	5.9	8.6	2.0	280.9
	女性	885	0.2	0.6	2.7	7.9	10.2	2.7	239.4
	無回答	21	-	-	4.8	-	14.3	28.6	195.2
年代別	18～19歳	23	-	4.3	-	4.3	4.3	-	565.2
	20～29歳	117	0.9	0.9	2.6	6.0	9.4	-	327.4
	30～39歳	198	1.0	1.5	1.0	8.6	7.6	1.5	284.8
	40～49歳	273	0.7	2.2	1.1	6.2	9.9	0.7	293.8
	50～59歳	251	-	1.2	2.4	8.4	12.7	0.8	230.3
	60～64歳	149	0.7	0.7	4.0	7.4	12.8	2.7	232.9
	65～69歳	136	-	0.7	2.2	5.1	9.6	3.7	222.1
	70歳以上	380	-	0.5	2.4	7.1	7.6	5.5	216.1
	無回答	18	-	-	5.6	-	5.6	33.3	155.6
居住区別	中央区	194	-	1.5	1.0	6.2	7.2	0.5	274.7
	北区	212	0.5	1.4	2.8	7.5	7.1	2.4	260.4
	東区	200	-	-	1.0	9.0	14.0	3.0	235.5
	白石区	142	1.4	2.1	3.5	5.6	11.3	0.7	271.1
	厚別区	101	-	-	1.0	5.9	6.9	1.0	262.4
	豊平区	191	0.5	1.6	3.1	10.5	6.8	3.1	242.9
	清田区	100	-	1.0	1.0	8.0	15.0	6.0	260.0
	南区	109	-	1.8	2.8	5.5	11.0	0.9	258.7
	西区	168	-	1.8	3.0	6.0	8.9	2.4	246.4
	手稲区	106	1.9	-	0.9	3.8	9.4	5.7	277.4
	無回答	22	-	-	4.5	-	13.6	27.3	159.1

## スポーツの頻度

【問 18】あなたが、問 17 で答えた運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、1 年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

スポーツの頻度については、「週 3 日以上」が 18.2%で最も高くなっている。次いで「月に 1~3 日（年 12~50 日）」が 17.6%となっている。



### 【対象者全体】

「週 3 日以上」が 18.2%と最も高くなっている。次いで、「月に 1~3 日」が 17.6%、「週 5 日以上」と「週 2 日以上」が 16.7%となっている。

### 【性別】

男性は「月に 1~3 日」が 22.5%と最も高く、女性は「週 3 日以上」が 20.1%と最も高くなっている。

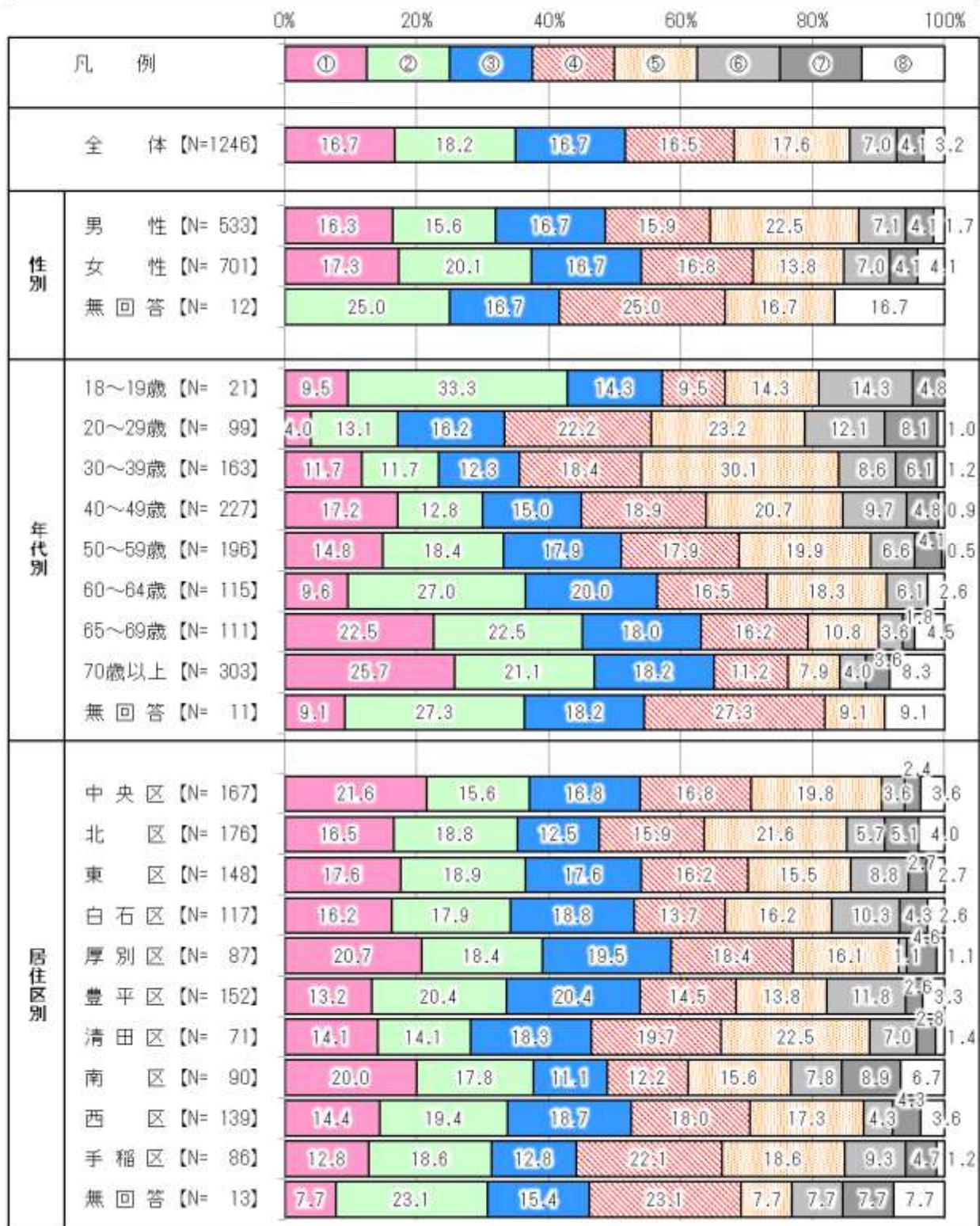
### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

年代が上がるほどスポーツの頻度が増加する傾向にある。20~50 歳代は「月に 1~3 日」が最も高いが、60 歳代前半は「週 3 日以上」が最も高く、60 歳代後半は「週 3 日以上」「週 5 日以上」が同率、70 歳以上は「週 5 日以上」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

中央区、厚別区、南区では「週 5 日以上」が最も高くなっている。北区、清田区では「月に 1~3 日」、東区、西区では「週 3 日以上」、白石区では「週 2 日以上」、豊平区では「週 3 日以上」「週 2 日以上」が同率で最も高くなっている。手稲区では「週 1 日以上」が最も高くなっている。

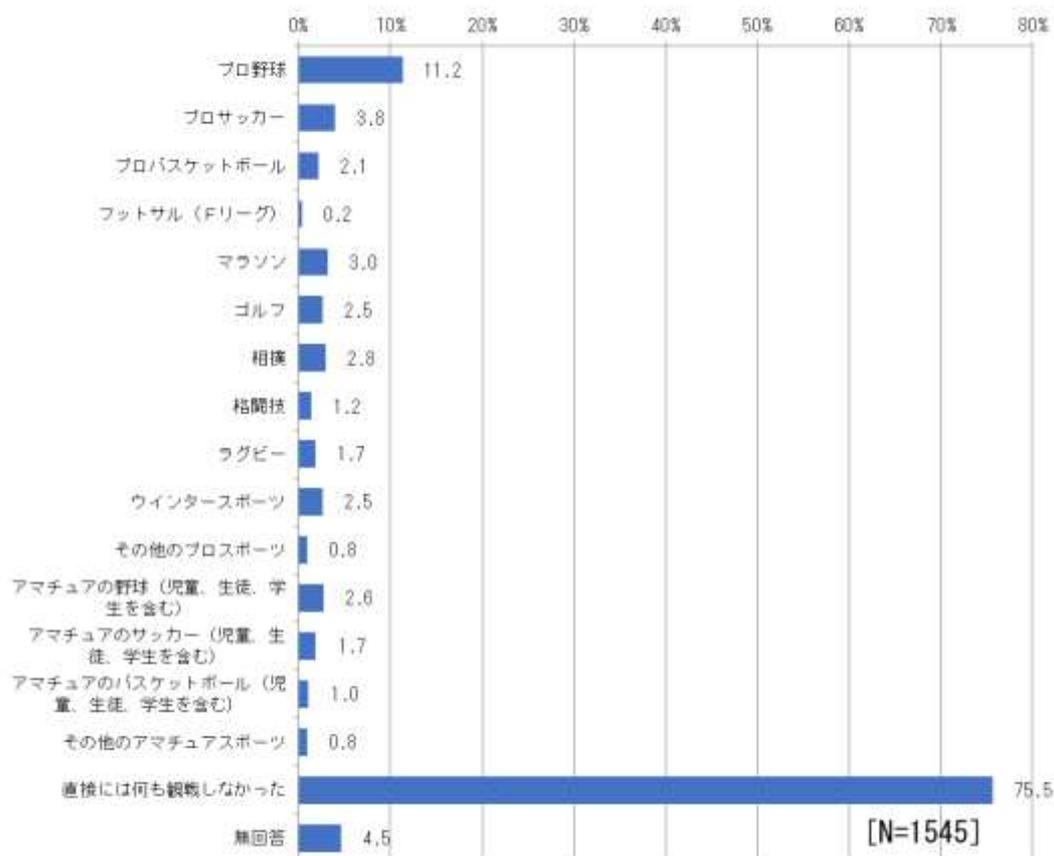
①週5日以上（年251日以上） ②週3日以上（年151～250日）  
 ③週2日以上（年101日～150日） ④週1日以上（年51～100日）  
 ⑤月に1～3日（年12～50日） ⑥3ヶ月に1～2日（年4日～11日） ⑦年に1～3日 ⑧無回答



## 直接観戦したスポーツ

【問 19】あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は「16」だけに○をつけてください。

直接観戦したスポーツについては、「直接には何も観戦しなかった」が75.5%で最も高くなっている。次いで「プロ野球」が11.2%となっている。



### 【対象者全体】

「直接には何も観戦しなかった」が75.5%と最も高くなっている。次いで、「プロ野球」が11.2%、「プロサッカー」が3.8%、「マラソン」が3.0%となっている。

### 【性別】

「直接には何も観戦しなかった」は、男性では72.3%、女性では78.1%となっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「直接には何も観戦しなかった」は30歳代で85.9%と、他の年代に比べて高くなっている。

### 【居住区別】

「直接には何も観戦しなかった」は西区で81.0%と最も高く、南区で69.7%と最も低くなっている。

問19 この1年間のスポーツ観戦

		回答者数	プロ野球	プロサッカー	プロバスケットボール	フットサル(フリーグ)	マラソン	ゴルフ	相撲	格闘技
全体		1,545	11.2	3.8	2.1	0.2	3.0	2.5	2.8	1.2
性別	男性	639	14.1	5.8	2.5	0.3	4.1	4.1	4.1	2.3
	女性	885	9.3	2.4	1.8	0.1	2.3	1.2	1.9	0.5
	無回答	21	4.8	4.8	-	-	4.8	4.8	4.8	-
年代別	18～19歳	23	8.7	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	117	10.3	6.8	3.4	-	-	0.9	-	0.9
	30～39歳	198	3.5	2.5	2.5	-	0.5	1.5	-	0.5
	40～49歳	273	7.7	4.8	4.0	0.4	1.1	1.8	1.1	2.6
	50～59歳	251	12.7	5.2	1.6	0.8	1.6	1.6	0.8	0.8
	60～64歳	149	11.4	2.7	2.0	-	1.3	4.0	2.7	1.3
	65～69歳	136	13.2	4.4	1.5	-	6.6	2.9	7.4	1.5
	70歳以上	380	16.8	2.6	0.8	-	7.4	3.9	6.6	1.1
	無回答	18	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	194	11.9	5.7	2.6	-	3.1	3.1	3.6	0.5
	北区	212	11.3	1.9	1.9	-	3.8	2.4	2.4	0.9
	東区	200	11.5	5.5	0.5	0.5	3.0	3.5	4.5	-
	白石区	142	10.6	1.4	2.8	-	1.4	2.1	1.4	0.7
	厚別区	101	12.9	7.9	5.0	2.0	1.0	3.0	3.0	2.0
	豊平区	191	12.0	3.1	2.6	-	4.7	1.6	1.6	1.6
	清田区	100	12.0	4.0	1.0	-	1.0	1.0	3.0	1.0
	南区	109	14.7	4.6	2.8	-	5.5	1.8	5.5	3.7
	西区	168	7.7	2.4	2.4	-	3.0	1.2	2.4	1.2
	手稲区	106	10.4	3.8	-	-	2.8	5.7	1.9	1.9
	無回答	22	-	-	-	-	-	-	-	4.5

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

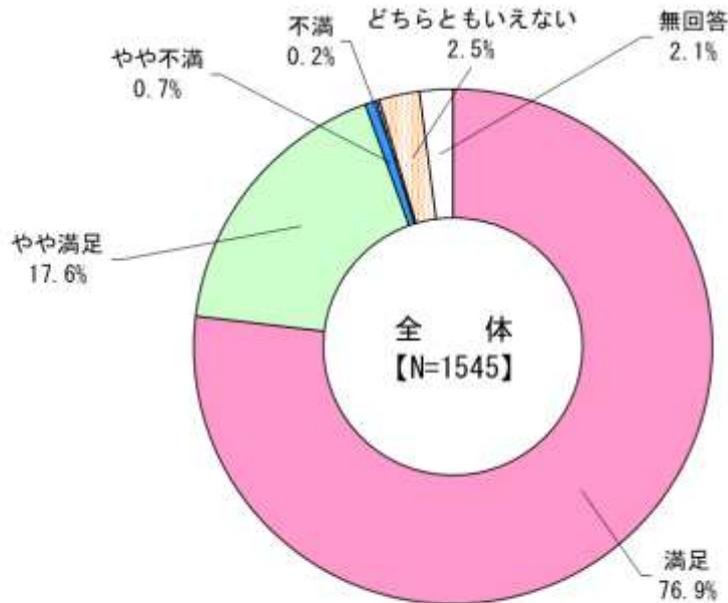
		回答者数	ラグビー	ウインタースポーツ	その他のプロスポーツ	アマチュアの野球（児童、生徒、学生を含む）	アマチュアのサッカー（児童、生徒、学生を含む）	アマチュアのバスケットボール（児童、生徒、学生を含む）	その他のアマチュアスポーツ	直接には何も観戦しなかった	無回答	計
全体		1,545	1.7	2.5	0.8	2.6	1.7	1.0	0.8	75.5	4.5	117.9
性別	男性	639	3.0	3.4	1.1	3.8	1.6	0.5	0.8	72.3	3.8	127.4
	女性	885	0.8	1.7	0.6	1.7	1.9	1.4	0.8	78.1	4.5	110.8
	無回答	21	-	4.8	-	4.8	-	-	-	66.7	23.8	123.8
年代別	18～19歳	23	-	-	4.3	-	-	8.7	4.3	69.6	8.7	104.3
	20～29歳	117	1.7	4.3	-	2.6	0.9	1.7	-	76.1	2.6	112.0
	30～39歳	198	-	-	-	1.5	1.5	1.0	0.5	85.9	1.0	102.5
	40～49歳	273	1.8	3.3	0.7	3.3	3.3	2.2	1.5	75.5	1.1	116.1
	50～59歳	251	2.4	1.6	2.0	0.8	2.4	0.4	0.8	77.3	3.2	115.9
	60～64歳	149	1.3	1.3	0.7	1.3	0.7	-	0.7	79.2	2.7	113.4
	65～69歳	136	3.7	4.4	-	5.9	1.5	1.5	0.7	74.3	3.7	133.1
	70歳以上	380	1.6	3.2	0.8	3.4	1.3	-	0.5	68.7	9.5	128.2
無回答	18	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	100.0	
居住区別	中央区	194	2.1	2.1	1.0	2.1	1.0	1.0	0.5	75.3	3.6	119.1
	北区	212	1.9	2.8	0.5	1.4	1.4	0.5	1.4	77.4	5.2	117.0
	東区	200	1.0	1.0	0.5	4.0	2.0	1.0	2.0	74.0	4.5	119.0
	白石区	142	0.7	1.4	0.7	2.1	2.8	1.4	0.7	76.1	2.1	108.5
	厚別区	101	2.0	5.0	1.0	3.0	2.0	3.0	-	76.2	2.0	130.7
	豊平区	191	2.1	2.6	1.6	3.1	1.0	0.5	0.5	74.3	3.7	116.8
	清田区	100	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	-	77.0	6.0	114.0
	南区	109	3.7	2.8	0.9	2.8	1.8	1.8	-	69.7	6.4	128.4
	西区	168	1.2	2.4	-	3.0	2.4	0.6	0.6	81.0	3.0	114.3
	手稲区	106	1.9	5.7	0.9	2.8	1.9	-	0.9	73.6	5.7	119.8
無回答	22	-	-	-	-	-	-	-	68.2	27.3	100.0	

## 札幌の水道

【問 20】あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、「3. やや不満」「4. 不満」に○をつけた方は、具体的な理由をお書きください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること  
(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く)

水道水の安定供給については、「満足」(76.9%)と「やや満足」(17.6%)を合わせた割合(94.5%)が全体の9割以上を占めている。



### 【対象者全体】

「満足」が76.9%と最も高くなっている。次いで「やや満足」が17.6%、「どちらともいえない」が2.5%、「やや不満」が0.7%、「不満」が0.2%となっている。

### 【性別】

男女ともに「満足」が最も高くなっており、男性は74.5%、女性は79.0%である。

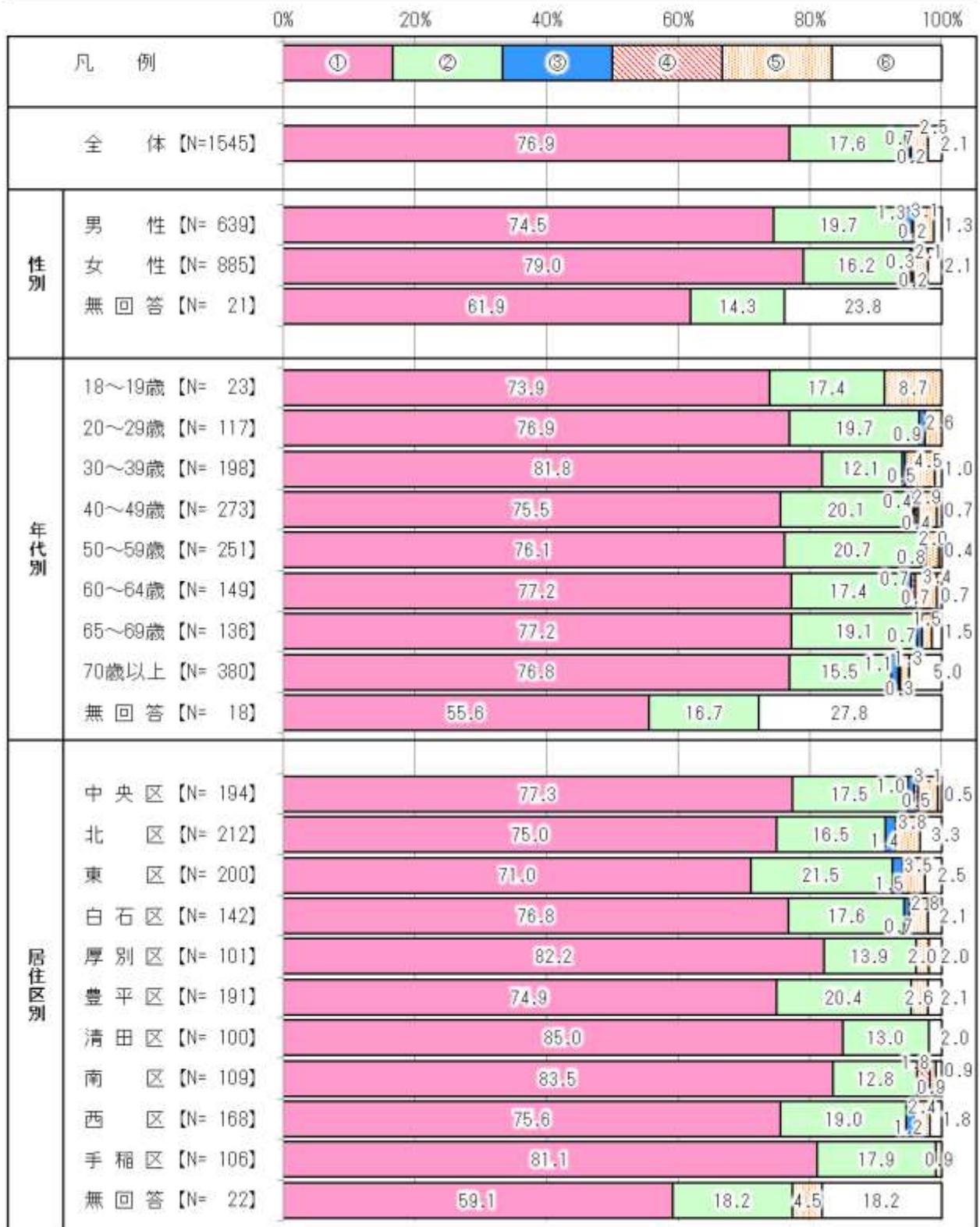
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「満足」が7割以上となっており、その中でも30歳代が81.8%と最も高くなっている。

### 【居住区別】

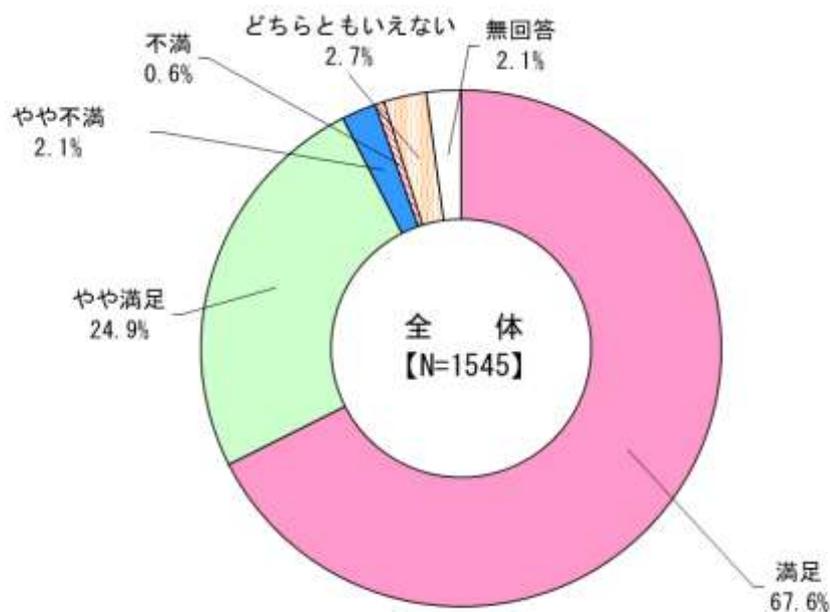
「満足」は清田区で85.0%と最も高く、東区で71.0%と最も低くなっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



## (2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水の供給については、「満足」(67.6%)と「やや満足」(24.9%)を合わせた割合(92.5%)が約9割を占めている。



### 【対象者全体】

「満足」が67.6%、「やや満足」が24.9%、「どちらともいえない」が2.7%、「やや不満」が2.1%、「不満」が0.6%となっている。

### 【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性が66.4%、女性が68.8%となっている。

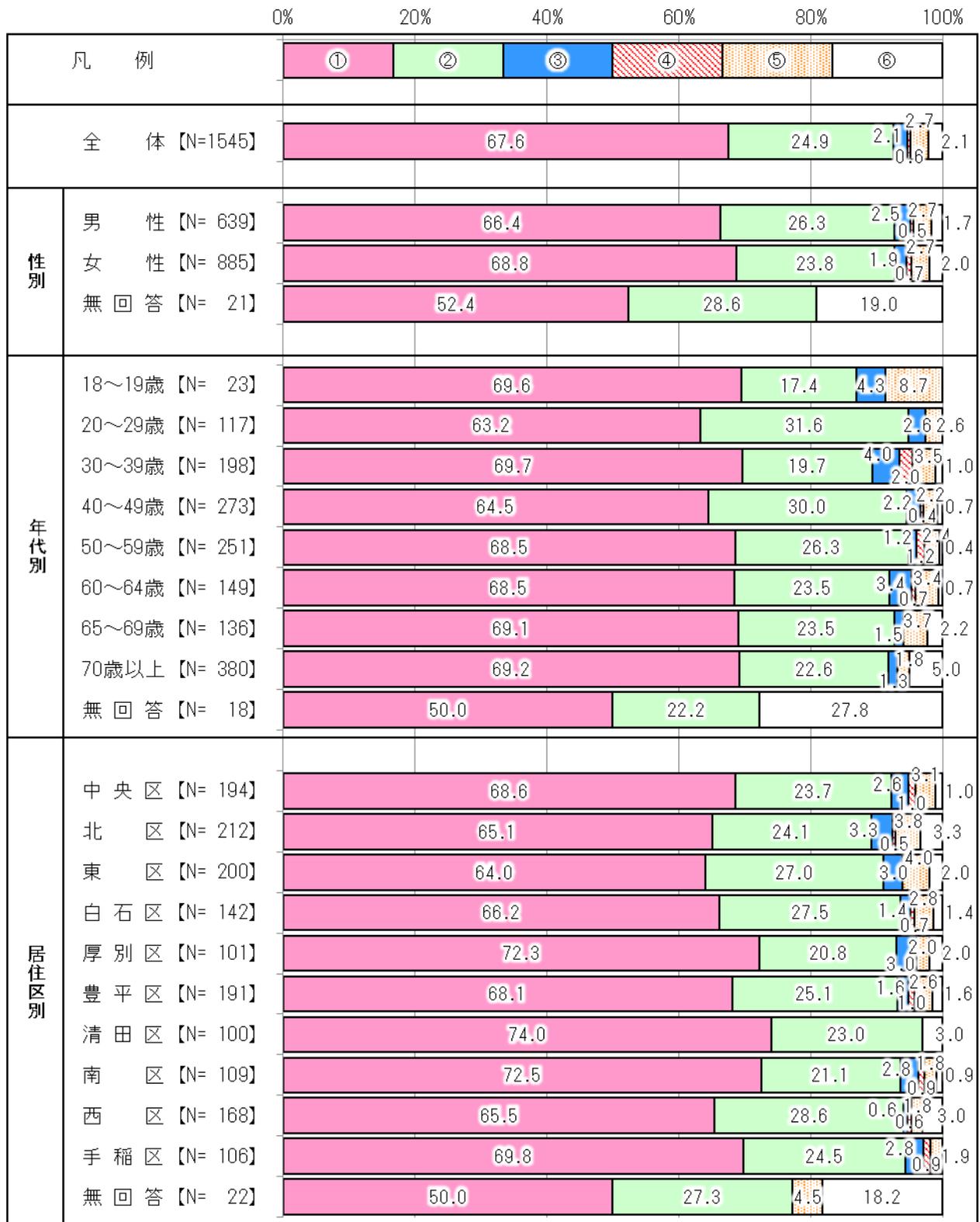
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

すべての年代で「満足」が6割以上となっているが、20歳代では63.2%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

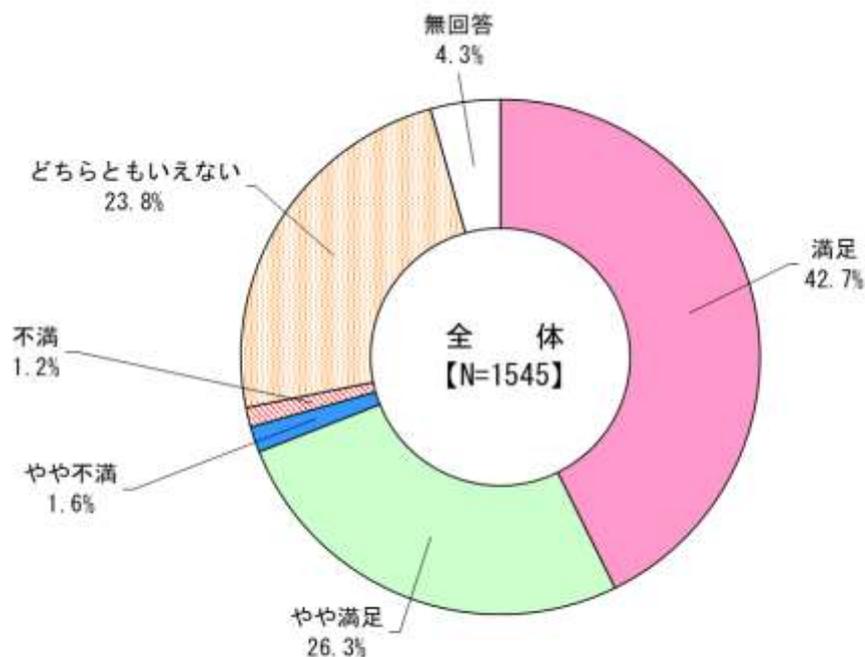
「満足」は清田区で74.0%と最も高く、東区で64.0%と最も低くなっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



### (3) お客様サービス（問い合わせ対応・広報）

お客様サービスについては、「満足」（42.7%）と「やや満足」（26.3%）を合わせた割合（69.0%）が全体の約7割を占めている。



#### 【対象者全体】

「満足」が42.7%と最も高くなっている。次いで、「やや満足」が26.3%、「どちらともいえない」が23.8%、「やや不満」が1.6%、「不満」が1.2%、となっている。

#### 【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性が40.8%、女性が44.3%となっている。

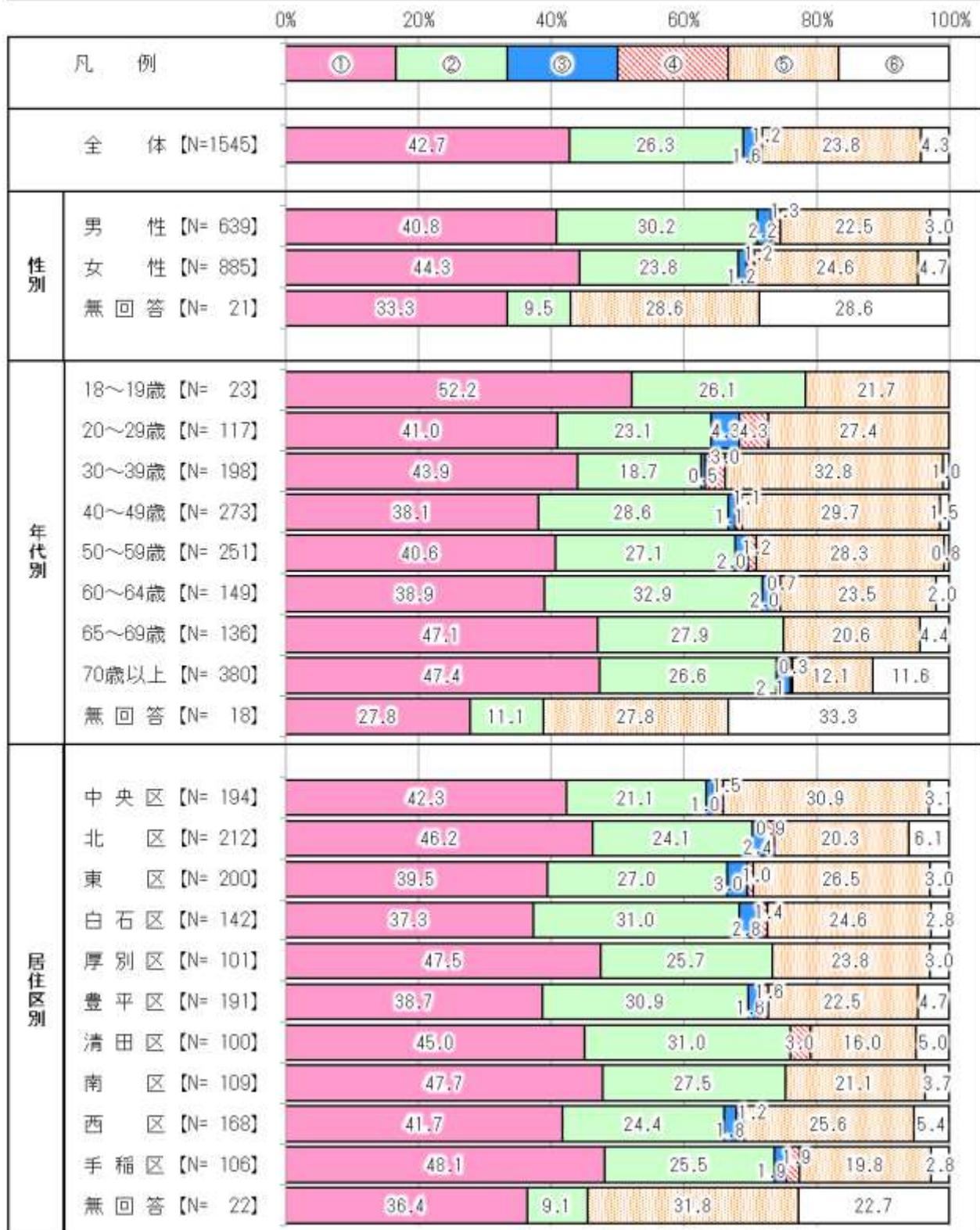
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

すべての年代で「満足」が最も高くなっている。その中でも70歳代が47.4%と最も高く、40歳代が38.1%と最も低くなっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「満足」が最も高くなっている。その中でも手稲区が48.1%と最も高く、白石区が37.3%と最も低くなっている。

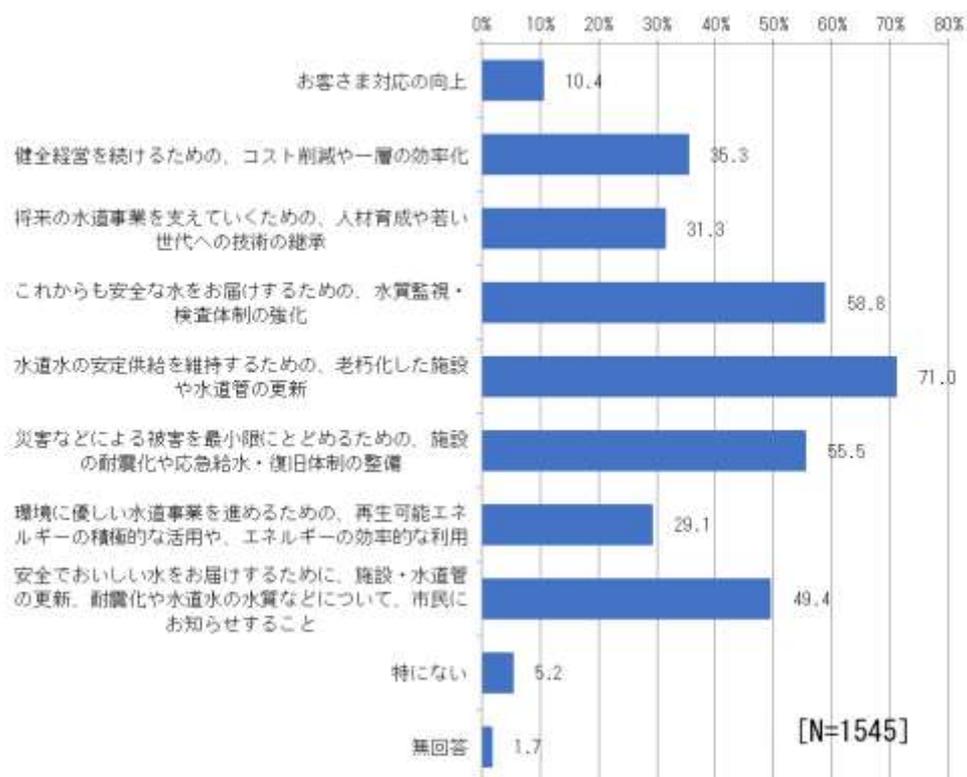
①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



## 水道に関する取り組み

【問 21】あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取組は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

水道に関する取り組みについては、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が71.0%と最も高くなっている。次いで、「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が58.8%となっている。



### 【対象者全体】

「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が71.0%と最も高くなっている。次いで、「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が58.8%、「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」が55.5%となっている。

### 【性別】

男女ともに「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高く、男性は 71.7%、女性は 70.8%となっている。「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」は女性では 60.1%と、男性（49.6%）よりも 10.5 ポイント高くなっている。

### 【年代別】※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代以外の年代では「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高くなっているが、20 歳代では「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」が 53.8%と最も高くなっている。

### 【居住区別】

全居住区で「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高くなっている。清田区では「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が 46.0%と他の居住区より低くなっている。

(単位：%)

	回答者数	お客さま対応の向上	健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化	将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承	これからの安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化	水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新	災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備	環境に優しい水道事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用	安全でおいしい水をお届けするために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること	特になし	無回答	計	
全体	1,545	10.4	35.3	31.3	58.8	71.0	55.5	29.1	49.4	5.2	1.7	347.8	
性別	男性	639	11.4	39.3	31.1	55.4	71.7	49.6	23.6	48.4	5.8	0.6	336.9
	女性	885	9.8	32.8	31.5	61.6	70.8	60.1	33.3	50.2	4.9	1.9	356.9
	無回答	21	4.8	23.8	28.6	42.9	57.1	38.1	19.0	47.6	4.8	23.8	290.5
年代別	18～19歳	23	8.7	34.8	26.1	47.8	47.8	39.1	30.4	26.1	17.4	-	278.3
	20～29歳	117	16.2	30.8	26.5	51.3	48.7	53.8	29.1	28.2	10.3	-	294.9
	30～39歳	198	9.6	29.8	28.3	50.5	59.6	58.1	28.3	36.4	9.1	2.0	311.6
	40～49歳	273	7.7	33.7	22.7	52.4	67.8	52.0	26.4	42.9	5.9	1.1	312.5
	50～59歳	251	12.4	37.8	29.9	66.5	75.3	59.4	28.3	51.0	1.6	-	362.2
	60～64歳	149	10.1	32.9	35.6	63.1	79.2	60.4	33.6	54.4	2.7	0.7	372.5
	65～69歳	136	11.0	41.2	30.1	65.4	85.3	57.4	29.4	60.3	4.4	1.5	386.0
	70歳以上	380	10.0	38.4	41.1	62.1	77.6	54.2	30.5	62.4	4.2	2.6	383.2
	無回答	18	5.6	27.8	22.2	44.4	44.4	27.8	22.2	38.9	5.6	33.3	272.2
居住区別	中央区	194	9.3	42.3	25.8	53.1	70.1	51.0	24.7	53.6	5.7	-	335.6
	北区	212	10.8	33.5	35.8	61.8	74.1	58.0	29.7	52.8	4.7	2.4	363.7
	東区	200	11.5	33.5	30.5	57.5	72.5	55.5	29.5	48.0	6.0	1.0	345.5
	白石区	142	11.3	35.9	27.5	53.5	71.8	57.0	25.4	44.4	5.6	0.7	333.1
	厚別区	101	12.9	43.6	38.6	67.3	77.2	65.3	35.6	52.5	1.0	1.0	395.0
	豊平区	191	9.4	33.5	29.3	61.3	68.6	57.6	35.1	44.5	5.8	2.1	347.1
	清田区	100	12.0	29.0	32.0	46.0	66.0	51.0	23.0	51.0	7.0	3.0	320.0
	南区	109	9.2	33.0	35.8	65.1	71.6	54.1	32.1	46.8	6.4	1.8	356.0
	西区	168	8.3	37.5	27.4	57.7	72.0	57.7	27.4	49.4	4.2	1.8	343.5
	手稲区	106	11.3	31.1	38.7	67.0	67.0	50.0	28.3	51.9	5.7	-	350.9
	無回答	22	9.1	27.3	22.7	59.1	54.5	31.8	31.8	45.5	4.5	22.7	309.1

対象者全体の値と比較し10%以上高い

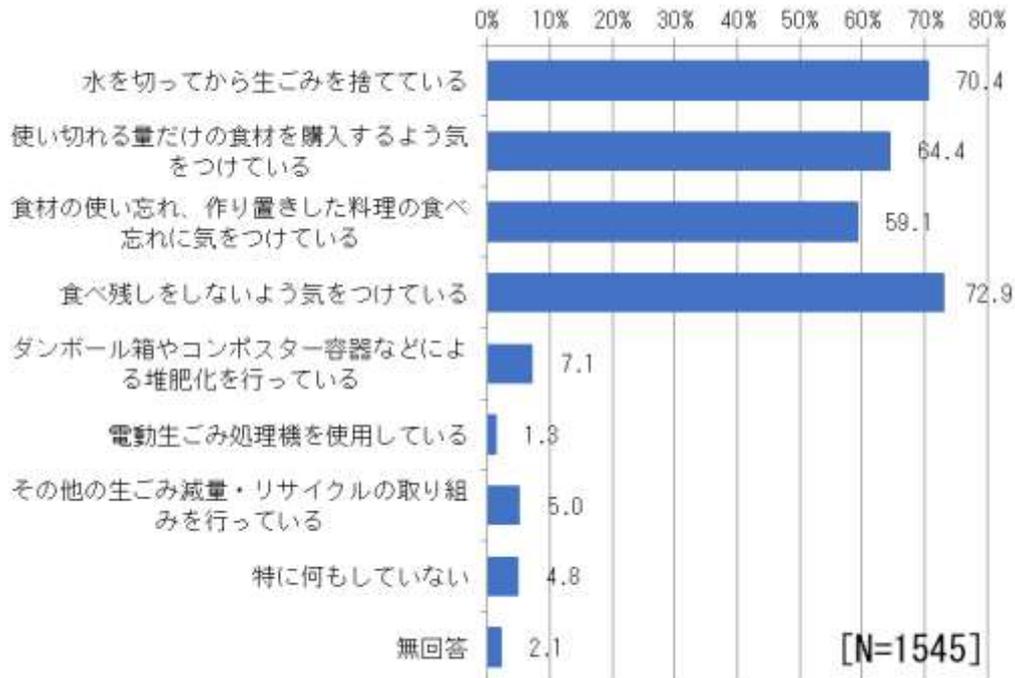
対象者全体の値と比較し10%以上低い

## (2)「低炭素社会・エネルギー転換」について

### 生ごみ減量・リサイクルの取り組み

【問 22】生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「食べ残しをしないよう気をつけている」が 72.9%と最も高くなっている。次いで、「水を切ってから生ごみを捨てている」が 70.4%となっている。



#### 【対象者全体】

「食べ残しをしないよう気をつけている」が 72.9%と最も高くなっている。次いで、「水を切ってから生ごみを捨てている」が 70.4%、「使い切れる量だけの食材を購入するよう気をつけている」が 64.4%、「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が 59.1%となっている。

#### 【性別】

男性は「食べ残しをしないよう気をつけている」が 73.4%と最も高く、女性は「水を切ってから生ごみを捨てている」が 76.9%と最も高くなっている。

#### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代から 60 歳代前半では「食べ残しをしないよう気をつけている」が、60 歳代後半以上では「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高くなっている。「水を切ってから生ごみを捨てている」は 70 歳代以上 (80.5%) が他の年代よりも高い一方、20 歳代～30 歳代では 6 割未満と、他の年代よりも低くなっている。

#### 【居住区別】

中央区、北区、東区、白石区、厚別区、豊平区、手稲区では「食べ残しをしないよう気をつけている」が最も高く、清田区と西区は「食べ残しをしないよう気をつけている」と「水を切ってから生ごみを捨

ている」が同率で最も高い。南区では「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高い。

(単位：%)

		回答者数	水を切つてから生ごみを捨てている	使い切れる量だけの食材を購入するよう気をつけている	食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている	食べ残しをしないよう気をつけている	ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている	電動生ごみ処理機を使用している	その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている	特に何もしていない	無回答	計
全体		1,545	70.4	64.4	59.1	72.9	7.1	1.3	5.0	4.8	2.1	287.2
性別	男性	639	62.3	58.2	52.1	73.4	7.2	0.9	4.7	7.2	1.6	267.6
	女性	885	76.9	69.7	65.2	73.6	7.1	1.5	5.4	3.1	1.8	304.3
	無回答	21	42.9	28.6	14.3	33.3	4.8	4.8	-	4.8	28.6	161.9
年代別	18～19歳	23	60.9	26.1	34.8	69.6	4.3	4.3	17.4	4.3	4.3	226.1
	20～29歳	117	58.1	62.4	48.7	71.8	4.3	-	0.9	10.3	-	256.4
	30～39歳	198	56.6	67.2	58.6	70.2	4.5	1.0	3.5	5.6	1.0	268.2
	40～49歳	273	64.8	62.3	56.4	70.3	5.1	1.5	1.8	6.6	-	268.9
	50～59歳	251	70.9	69.7	64.5	71.7	3.2	2.8	3.2	3.2	0.4	289.6
	60～64歳	149	78.5	65.8	61.1	79.2	8.7	0.7	8.1	4.0	2.0	308.1
	65～69歳	136	80.1	68.4	66.2	79.4	11.8	1.5	3.7	2.9	2.9	316.9
	70歳以上	380	80.5	62.9	61.3	74.5	11.3	0.8	9.5	3.4	4.2	308.4
	無回答	18	38.9	44.4	11.1	38.9	5.6	-	-	5.6	27.8	172.2
居住区別	中央区	194	67.5	67.0	62.4	74.7	5.7	4.1	3.6	6.2	1.5	292.8
	北区	212	71.7	66.5	60.8	73.6	8.0	0.9	9.4	3.8	0.9	295.8
	東区	200	71.5	64.5	61.0	73.5	5.5	2.0	4.0	6.0	1.0	289.0
	白石区	142	66.2	59.9	56.3	73.2	4.2	0.7	4.2	5.6	4.2	274.6
	厚別区	101	77.2	66.3	58.4	79.2	8.9	2.0	5.0	3.0	1.0	301.0
	豊平区	191	68.6	68.6	58.6	73.8	3.7	-	4.7	4.7	1.6	284.3
	清田区	100	68.0	53.0	53.0	68.0	15.0	-	3.0	7.0	1.0	268.0
	南区	109	78.0	62.4	58.7	71.6	11.0	0.9	6.4	3.7	2.8	295.4
	西区	168	69.6	64.3	58.3	69.6	4.2	1.2	4.2	5.4	2.4	279.2
	手稲区	106	73.6	69.8	66.0	75.5	12.3	-	5.7	0.9	0.9	304.7
	無回答	22	50.0	40.9	22.7	50.0	9.1	-	-	4.5	27.3	204.5

対象者全体の値と比較し10%以上高い

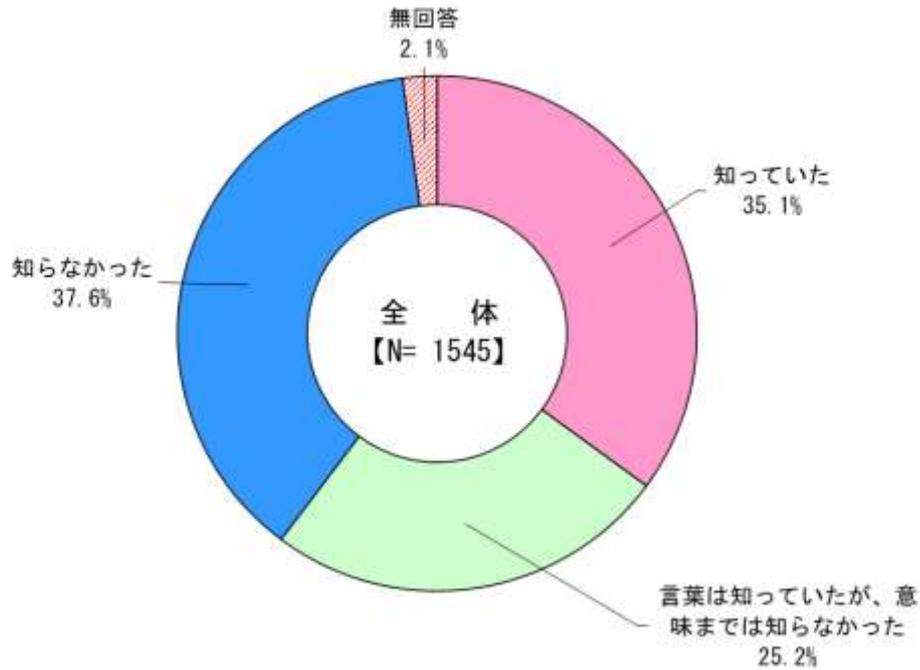
対象者全体の値と比較し10%以上低い

## 「生物多様性」の言葉の意味

【問 23】「生物多様性」とは、多種多様な生き物が存在し、それらが食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして互いにつながりを持っていることを表す言葉です。この生き物たちのつながりにより、地球上では豊かな生態系が保たれています。

あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「生物多様性」の言葉の意味については、「知らなかった」が 37.6%と最も高くなっている。次いで、「知っていた」が 35.1%、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が 25.2%となっている。



### 【対象者全体】

「知らなかった」が 37.6%と最も高くなっている。次いで、「知っていた」が 35.1%、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が 25.2%となっている。

### 【性別】

男性では「知っていた」が最も高く 37.9%となっている。一方、女性では「知らなかった」が最も高く 41.9%となっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

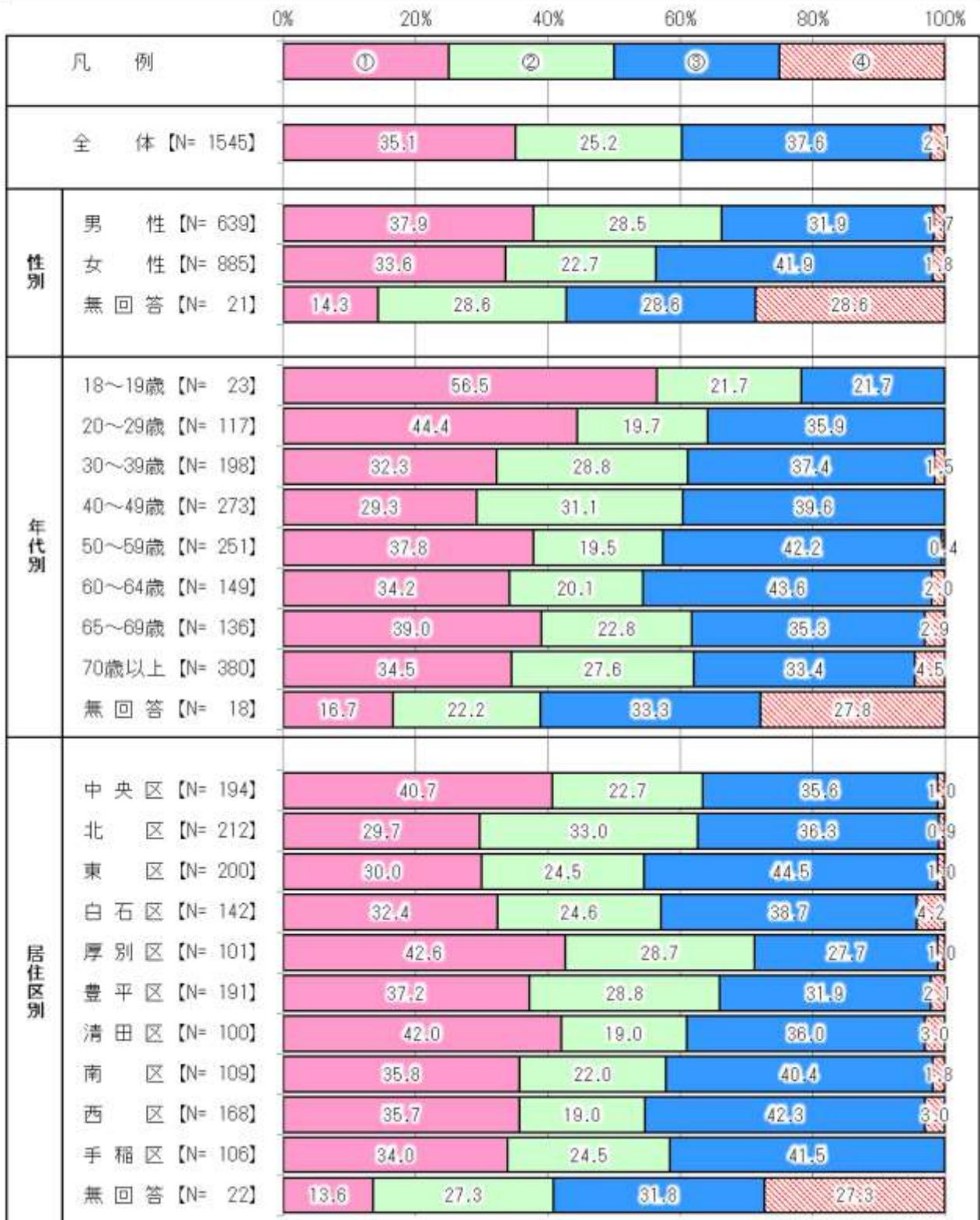
20歳代と60歳代後半、70歳以上では「知っていた」が最も高く、その他の年代では「知らなかった」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

中央区、厚別区、豊平区、清田区では「知っていた」が最も高く、その他の居住区では「知らなかった」が最も高くなっている。



①知っていた ②言葉は知っていたが、意味までは知らなかった ③知らなかった ④無回答

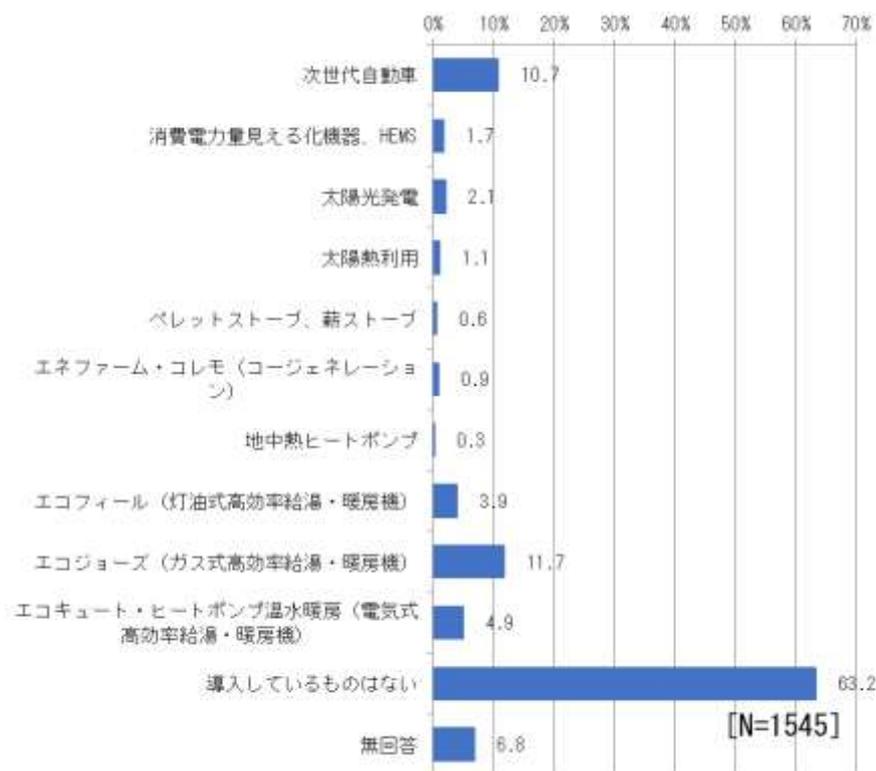


## 環境配慮活動について

【問 24】 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) 次の再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などのうち、あなたが導入しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器の導入については、「導入しているものはない」が 63.2%と最も高くなっている。



※1 次世代自動車：具体的には、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2 HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3 コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

### 【対象者全体】

「導入しているものはない」が 63.2%と最も高くなっている。次いで、「エコジョーズ」が 11.7%、「次世代自動車」が 10.7%、「エコキュート・ヒートポンプ温水暖房」が 4.9%となっている。

#### 【性別】

男女で大きな差は見られないが、男性では「次世代自動車」(13.3%)が、女性では「エコジョーズ」(13.1%)が、異性に比べて4ポイント前後高くなっている。

#### 【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「導入しているものはない」が最も高くなっている。中でも20歳代は75.2%と最も高く、70歳以上は59.2%と最も低くなっている。

#### 【居住区別】

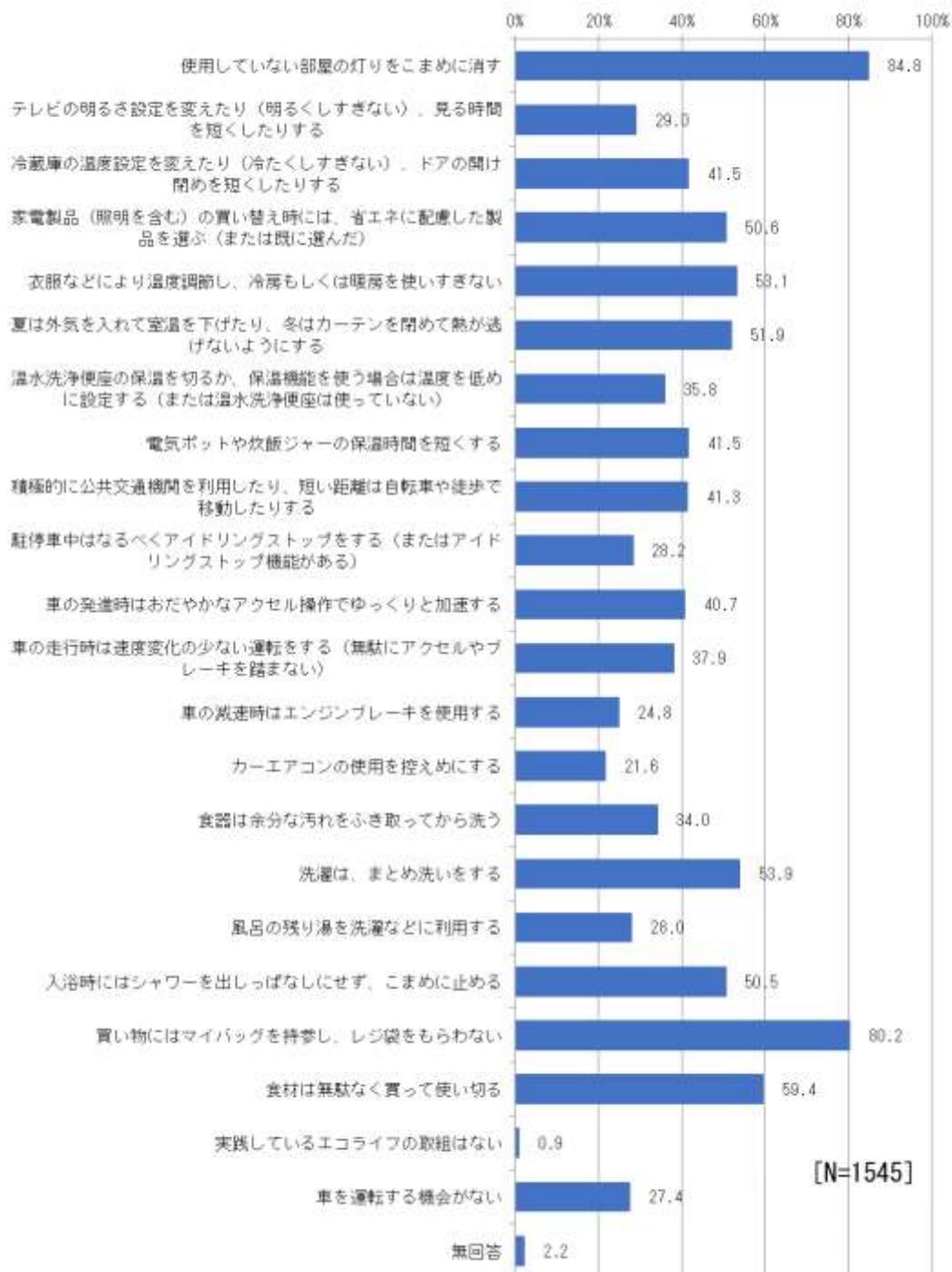
全居住区で「導入しているものはない」が最も高くなっている。中でも東区は70.5%と最も高く、清田区は57.0%と最も低くなっている。

(単位：%)

	回答者数	次世代自動車	H E M S 消費電力量見える化機器、	太陽光発電	太陽熱利用	ペレットストーブ、薪ストーブ	エネファーム・コレモ（コー ジエネレーション）	地中熱ヒートポンプ	エコフィール（灯油式高効率給 湯・暖房機）	エコジョーズ（ガス式高効率給 湯・暖房機）	エコキュート・ヒートポンプ温 水暖房（電気式高効率給湯・暖 房機）	導入しているものはない	無回答	計	
全体	1,545	10.7	1.7	2.1	1.1	0.6	0.9	0.3	3.9	11.7	4.9	63.2	6.8	108.0	
性別	男性	639	13.3	2.2	2.2	1.1	0.3	0.8	0.5	2.8	9.7	4.2	64.9	5.6	107.7
	女性	885	8.9	1.5	2.1	1.1	0.8	1.0	0.1	4.7	13.1	5.4	62.6	6.8	108.2
	無回答	21	9.5	-	-	-	-	-	-	-	9.5	4.8	38.1	42.9	104.8
年代別	18～19歳	23	8.7	-	-	-	-	-	-	-	8.7	8.7	73.9	4.3	104.3
	20～29歳	117	3.4	5.1	2.6	1.7	-	0.9	-	1.7	10.3	5.1	75.2	0.9	106.8
	30～39歳	198	7.1	2.0	3.0	0.5	-	2.5	1.0	0.5	21.2	7.6	63.1	2.5	111.1
	40～49歳	273	10.3	1.5	2.2	0.4	1.1	1.8	0.4	2.9	16.8	5.1	64.1	4.4	111.0
	50～59歳	251	16.3	1.6	2.8	0.4	0.8	1.2	-	2.8	8.8	4.0	64.5	4.8	108.0
	60～64歳	149	16.8	0.7	2.7	1.3	0.7	-	-	4.0	6.0	6.0	64.4	4.0	106.7
	65～69歳	136	14.7	0.7	2.2	1.5	0.7	-	-	7.4	8.1	3.7	61.0	5.9	105.9
	70歳以上	380	8.2	1.8	1.1	2.1	0.5	-	0.3	6.6	8.9	3.9	59.2	13.7	106.3
無回答	18	5.6	-	-	-	-	-	-	5.6	11.1	-	33.3	44.4	100.0	
居住区別	中央区	194	13.4	2.1	1.5	0.5	0.5	1.0	-	2.6	17.5	7.2	58.2	5.7	110.3
	北区	212	9.9	3.3	2.8	2.4	-	1.4	0.9	2.8	13.7	7.1	59.4	6.1	109.9
	東区	200	12.5	1.0	1.0	-	0.5	0.5	-	2.5	7.0	5.0	70.5	6.0	106.5
	白石区	142	6.3	4.2	2.1	2.8	-	-	-	4.9	6.3	3.5	66.9	8.5	105.6
	厚別区	101	9.9	-	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	4.0	16.8	6.9	63.4	4.0	112.9
	豊平区	191	8.9	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	-	2.6	14.1	2.1	64.4	8.4	103.7
	清田区	100	11.0	1.0	5.0	-	1.0	1.0	1.0	7.0	14.0	6.0	57.0	7.0	111.0
	南区	109	12.8	1.8	4.6	2.8	0.9	-	-	6.4	7.3	4.6	62.4	6.4	110.1
	西区	168	10.1	1.8	1.8	-	0.6	1.8	-	4.8	9.5	4.2	66.7	6.0	107.1
	手稲区	106	14.2	0.9	2.8	0.9	1.9	-	-	4.7	7.5	2.8	67.0	3.8	106.6
	無回答	22	4.5	-	-	-	-	-	-	4.5	18.2	-	31.8	40.9	100.0
対象者全体の値と比較し10%以上高い				対象者全体の値と比較し10%以上低い											

(2) 次のエコライフの取組のうち、あなたが常に実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、車を所有していないなど、車を運転する機会がない方は、「22」に○をつけてください。

エコライフの実践については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が 84.8%と最も高くなっている。次いで、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が 80.2%となっている。



### 【対象者全体】

「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が84.8%と最も高くなっている。次いで、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が80.2%、「食材は無駄なく買って使い切る」が59.4%となっている。

### 【性別】

男女ともに「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。「電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする」は男性（29.3%）よりも女性（50.8%）が21.5ポイント高く、「車を運転する機会がない」も男性（16.7%）より女性が（35.3%）が18.6ポイント高かった。

### 【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

60歳代前半までは「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。

60歳代前半では「車の走行時は速度変化の少ない運転をする（無駄にアクセルやブレーキを踏まない）」（38.3%）、「駐停車中はなるべくアイドリングストップをする（またはアイドリングストップ機能がある）」（50.7%）と、車に関する項目が他の年代に比べて高い。20歳代は「車を運転する機会がない」（39.3%）が他の年代より高く、その他の項目は全体的に他の年代よりも低い傾向にある。

### 【居住区別】

南区では「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」（90.8%）が他の居住区よりも高く9割を超えており、その他6項目でも他の居住区より高い結果となっている。清田区では「衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない」（41.0%）、「積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする」（24.0%）が他の居住区に比べて低い。

		回答者数	使用していない部屋の灯りをこまめに消す	テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりする	冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりする	家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既選んだ）	衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない	夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする	温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する（または温水洗浄便座は使っていない）	電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする	積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする	駐停車中はなるべくアイドリングストップ機能がある）	車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆつくりと加速する
全体		1,545	84.8	29.0	41.5	50.6	53.1	51.9	35.8	41.5	41.3	28.2	40.7
性別	男性	639	83.7	26.6	33.3	47.3	47.7	48.4	30.0	29.3	36.2	32.7	49.0
	女性	885	86.6	31.0	48.0	53.2	57.3	55.3	40.3	50.8	45.6	25.3	35.3
	無回答	21	42.9	19.0	14.3	38.1	38.1	19.0	19.0	19.0	14.3	14.3	19.0
年代別	18～19歳	23	91.3	34.8	26.1	26.1	39.1	30.4	21.7	26.1	39.1	13.0	21.7
	20～29歳	117	80.3	20.5	27.4	27.4	47.9	37.6	26.5	26.5	40.2	13.7	24.8
	30～39歳	198	82.3	26.8	32.3	35.4	50.0	47.5	36.4	42.4	36.9	27.8	42.4
	40～49歳	273	86.4	23.4	40.7	49.1	53.5	49.1	35.5	46.9	33.7	29.7	45.4
	50～59歳	251	89.2	37.5	48.6	54.2	57.4	58.2	38.6	48.2	43.8	34.3	44.2
	60～64歳	149	87.9	32.2	45.0	59.1	56.4	53.0	36.2	41.6	40.9	38.3	49.7
	65～69歳	136	86.8	22.1	44.9	59.6	58.8	57.4	35.3	41.2	41.2	36.8	50.0
	70歳以上	380	83.4	32.4	46.1	59.7	50.8	57.1	37.9	38.9	48.9	22.6	34.2
	無回答	18	33.3	22.2	16.7	38.9	50.0	16.7	27.8	27.8	22.2	11.1	22.2
居住区別	中央区	194	87.6	30.4	39.7	48.5	55.2	52.6	32.5	39.7	53.6	22.7	33.0
	北区	212	85.8	30.2	41.5	54.7	57.5	48.6	34.9	37.3	42.5	31.1	37.3
	東区	200	83.5	30.0	43.0	50.0	49.0	52.5	42.5	41.0	41.5	26.5	46.5
	白石区	142	78.9	30.3	38.7	43.0	56.3	52.8	35.9	47.2	44.4	20.4	38.7
	厚別区	101	86.1	27.7	46.5	58.4	65.3	58.4	38.6	43.6	47.5	30.7	43.6
	豊平区	191	81.7	23.0	41.9	47.6	51.8	45.0	31.9	42.4	46.6	27.7	36.1
	清田区	100	86.0	27.0	42.0	52.0	41.0	51.0	33.0	42.0	24.0	37.0	54.0
	南区	109	91.7	32.1	44.0	63.3	51.4	63.3	41.3	38.5	34.9	41.3	45.9
	西区	168	84.5	28.0	38.7	42.3	51.2	53.0	32.7	42.9	35.1	26.8	35.7
	手稲区	106	92.5	34.0	47.2	55.7	52.8	54.7	39.6	46.2	34.9	25.5	50.9
	無回答	22	45.5	22.7	13.6	40.9	40.9	22.7	22.7	27.3	13.6	27.3	31.8

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

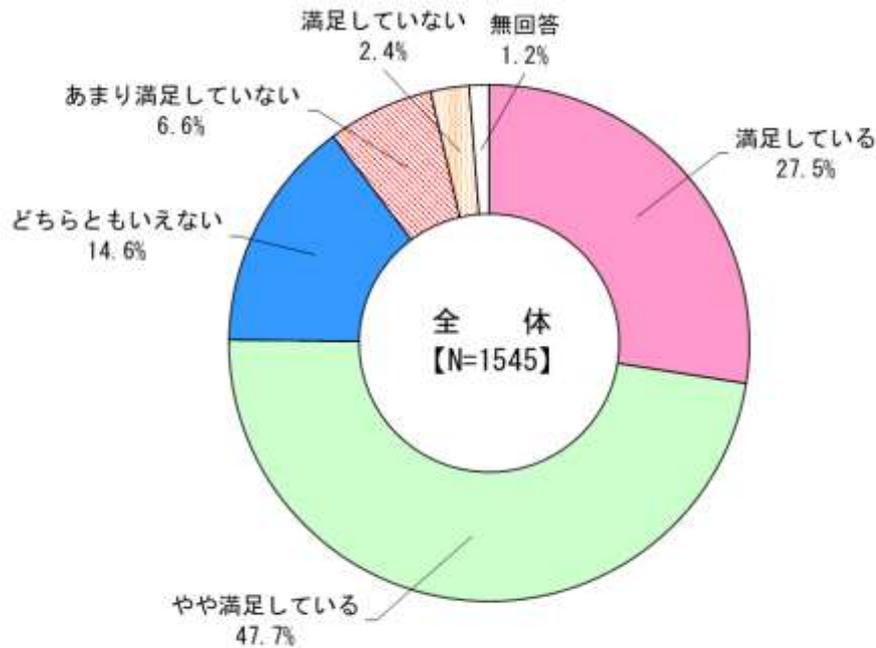
	回答者数	車の走行時は速度変化の少ない運転をする(無駄にアクセルやブレーキを踏まない)	車の減速時はエンジンブレーキを使用する	カーエアコンの使用を控える	食器は余分な汚れをふき取ってから洗う	洗濯は、まとめ洗いをする	風呂の残り湯を洗濯などに利用する	入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める	買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない	食材は無駄なく買って使い切る	実践しているエコライフの取組はない	車を運転する機会がない	無回答	計	
全体	1,545	37.9	24.8	21.6	34.0	53.9	28.0	50.5	80.2	59.4	0.9	27.4	2.2	919.2	
性別	男性	639	46.3	34.4	25.5	27.4	44.1	29.9	48.2	75.4	54.3	0.6	16.7	1.4	868.5
	女性	885	32.7	18.1	19.0	39.2	61.9	27.0	53.0	84.4	64.0	1.0	35.3	2.0	966.2
	無回答	21	4.8	14.3	9.5	19.0	14.3	9.5	14.3	47.6	23.8	4.8	23.8	33.3	476.2
年代別	18～19歳	23	17.4	8.7	8.7	21.7	47.8	17.4	39.1	65.2	30.4	-	65.2	-	691.3
	20～29歳	117	21.4	12.8	13.7	29.9	54.7	15.4	46.2	72.6	53.0	-	39.3	0.9	732.5
	30～39歳	198	38.9	24.2	16.7	25.3	54.0	26.3	36.9	77.8	58.1	0.5	24.7	1.0	844.4
	40～49歳	273	42.1	24.2	24.9	27.5	49.1	28.2	45.1	74.7	57.9	0.4	17.2	0.4	885.0
	50～59歳	251	41.8	30.3	23.1	33.5	54.6	23.1	47.8	83.3	63.7	0.4	18.7	-	974.5
	60～64歳	149	45.6	32.2	26.8	36.2	53.0	31.5	59.1	85.9	59.1	0.7	22.8	2.0	995.3
	65～69歳	136	50.7	32.4	28.7	39.0	57.4	34.6	58.8	87.5	65.4	0.7	17.6	2.9	1,009.6
	70歳以上	380	32.1	21.6	19.7	43.7	57.9	33.4	60.5	83.4	61.8	2.1	41.3	4.5	974.2
無回答	18	5.6	11.1	11.1	22.2	16.7	11.1	16.7	44.4	22.2	5.6	27.8	33.3	516.7	
居住区別	中央区	194	30.9	18.6	16.0	24.2	52.6	21.1	48.5	77.3	61.9	-	30.4	1.0	877.8
	北区	212	35.4	25.5	17.5	38.2	59.4	27.4	50.5	77.8	63.7	1.4	29.7	1.9	929.7
	東区	200	41.0	31.0	25.5	38.5	53.5	25.5	50.5	81.5	64.5	0.5	27.5	1.0	946.5
	白石区	142	35.9	21.1	17.6	33.1	49.3	26.1	41.5	73.9	54.9	1.4	32.4	3.5	877.5
	厚別区	101	40.6	20.8	23.8	38.6	58.4	40.6	53.5	89.1	64.4	-	25.7	1.0	1,003.0
	豊平区	191	36.1	21.5	19.4	30.9	57.1	23.0	47.1	80.1	60.7	1.6	31.9	2.6	888.0
	清田区	100	44.0	30.0	36.0	31.0	50.0	31.0	57.0	86.0	50.0	-	18.0	1.0	923.0
	南区	109	45.0	30.3	24.8	45.0	61.5	39.4	62.4	90.8	61.5	0.9	22.9	1.8	1,033.9
	西区	168	33.9	22.6	16.7	29.8	48.8	25.0	50.0	75.0	52.4	0.6	28.6	3.0	857.1
	手稲区	106	49.1	33.0	30.2	38.7	52.8	39.6	58.5	85.8	60.4	1.9	18.9	-	1,002.8
	無回答	22	27.3	13.6	22.7	22.7	22.7	9.1	18.2	50.0	27.3	4.5	13.6	31.8	572.7

### (3)「戦略を支える都市空間」について

#### 住環境の満足度

【問 25】あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

住環境の満足度については、「満足している」(27.5%)と「やや満足している」(47.7%)を合わせた割合(75.2%)が全体の7割強を占めている。



#### 【対象者全体】

「やや満足している」が47.7%と最も高くなっている。次いで、「満足している」が27.5%、「どちらともいえない」が14.6%、「あまり満足していない」が6.6%、「満足していない」が2.4%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「やや満足している」が最も高く、男性が48.8%、女性が47.8%となっている。

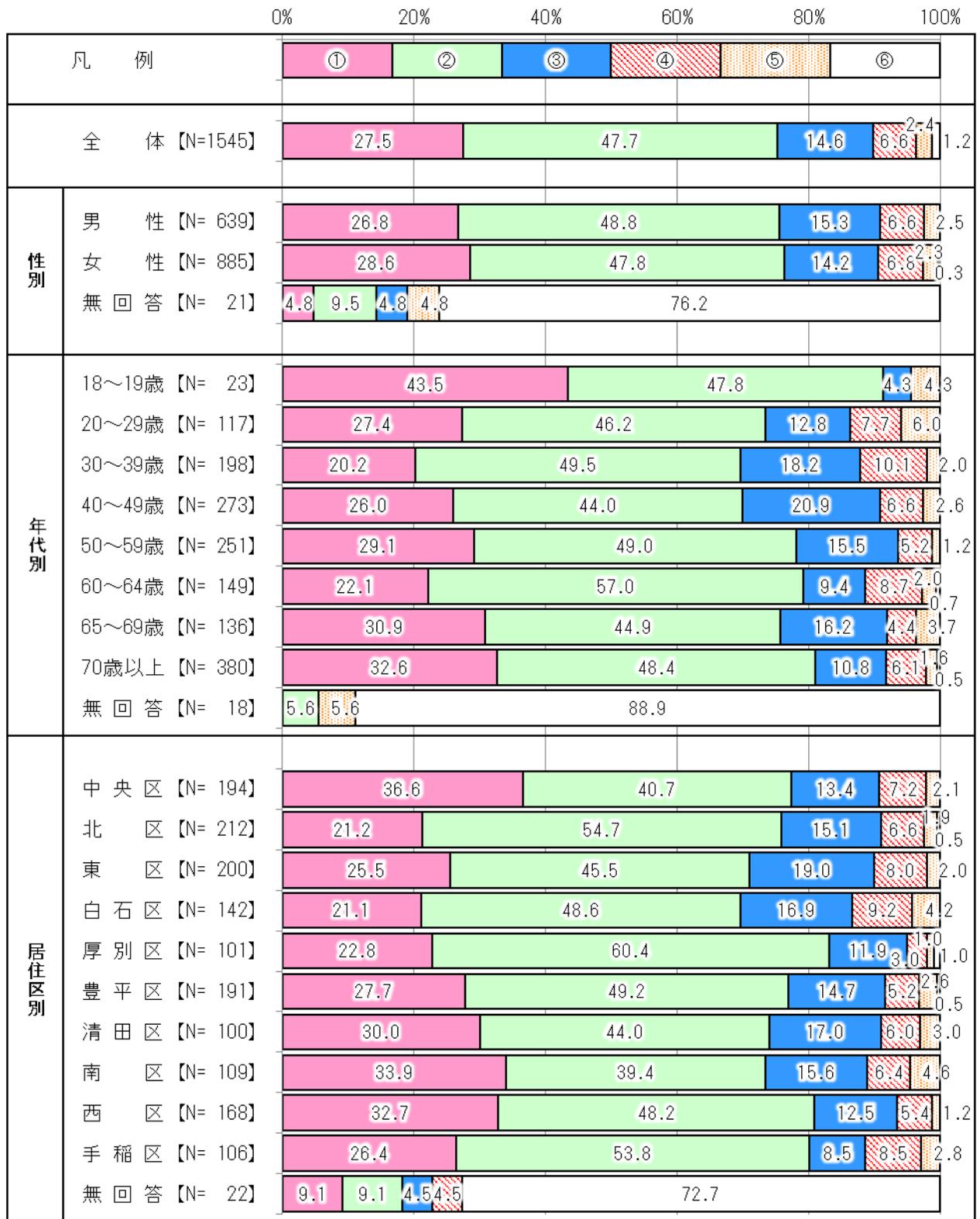
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「やや満足している」が最も高く、いずれも4割以上となっている。「満足している」「やや満足している」の合計は、60歳代前半で79.2%と最も高く、30歳代で69.7%と最も低くなっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「やや満足している」が最も高くなっている。「満足している」「やや満足している」の合計は、厚別区で83.2%と最も高く、白石区で69.7%と最も低くなっている。

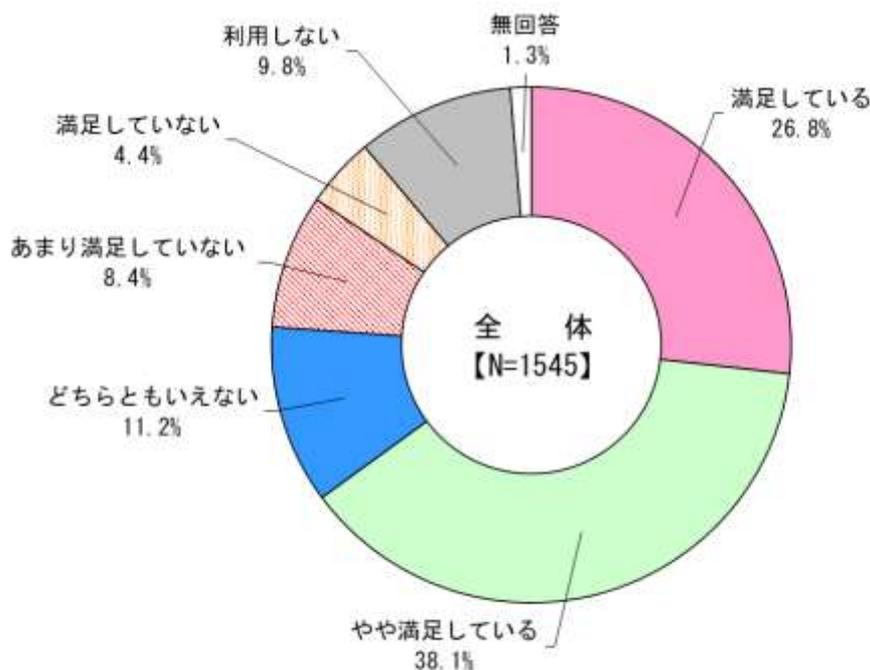
①満足している ②やや満足している ③どちらともいえない ④あまり満足していない  
⑤満足していない ⑥無回答



## 公共交通の満足度

【問 26】あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

公共交通の満足度については、「満足している」(26.8%)と「やや満足している」(38.1%)を合わせた割合(64.9%)が全体の6割強を占めている。



### 【対象者全体】

「やや満足している」が38.1%と最も高くなっている。次いで、「満足している」が26.8%、「どちらともいえない」が11.2%、「利用しない」が9.8%、「あまり満足していない」が8.4%、「満足していない」が4.4%となっている。

### 【性別】

男女とも「やや満足している」が最も高く、男性が36.9%、女性が39.7%となっている。

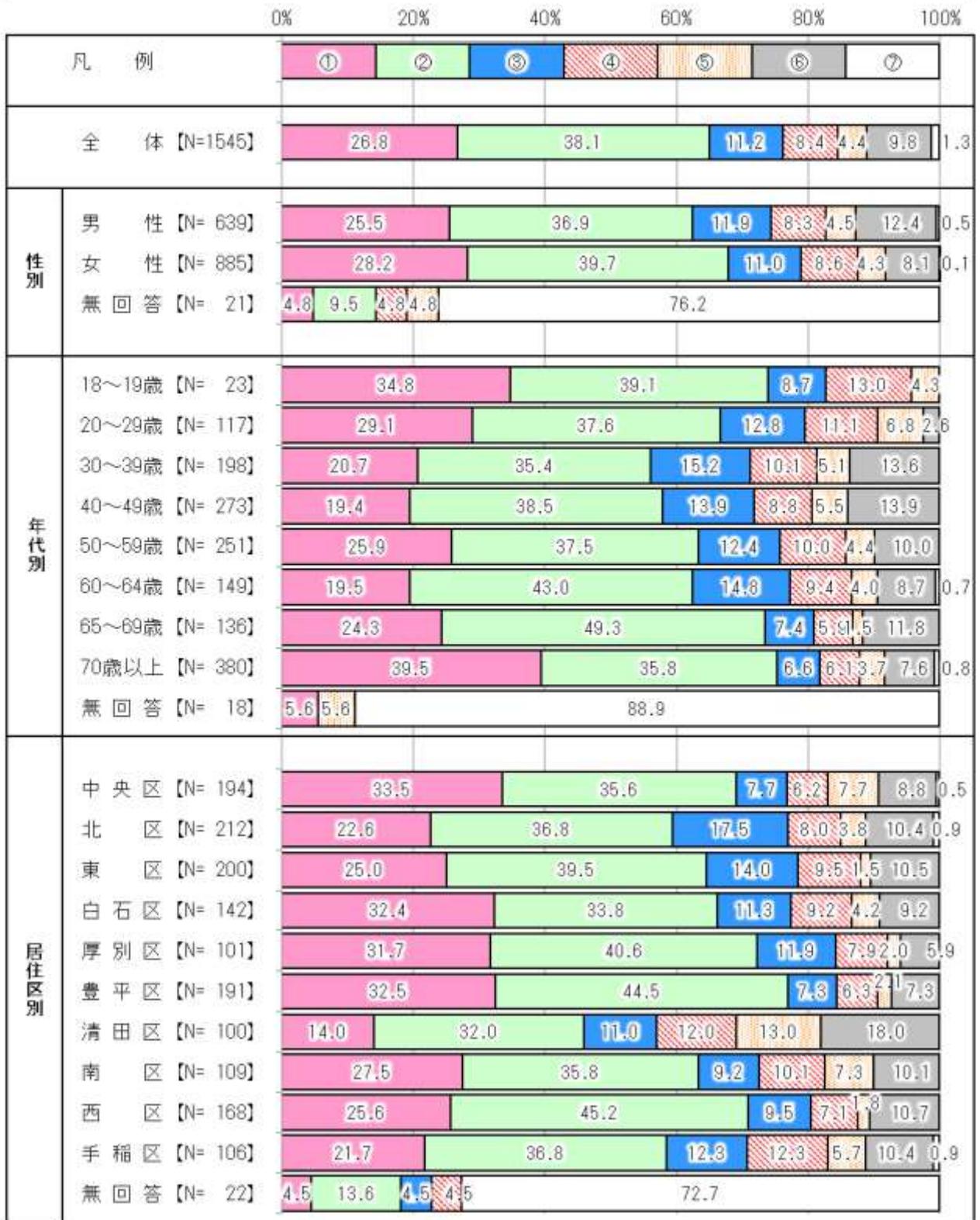
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

70歳以上を除いたすべての年代で「やや満足している」が最も高くなっている。70歳以上では「満足している」が39.5%と最も高い。「満足している」「やや満足している」の合計は、70歳以上で75.3%と最も高く、30歳代で56.1%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

「満足している」「やや満足している」の合計は、豊平区で77.0%と最も高く、清田区で46.0%と最も低くなっている。清田区では「利用しない」が他の区に比べて高く18.0%となっている。

①満足している ②やや満足している ③どちらともいえない ④あまり満足していない  
 ⑤満足していない ⑥利用しない ⑦無回答



### **3. 調査票**

令和2年度 札幌市  
事業の効果に関する市民意識調査  
～アンケート調査へのご協力をお願い～

日ごろから、札幌市政にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

札幌市では、様々な事業を実施しておりますが、より良い事業推進のためには、その取組の効果を的確に把握し、今後の改善や見直しにつなげていく必要があります。

効果の把握としては、例えばイベントにおける入場者数など、札幌市が直接把握できるもののほか、事業を通じて提供されるサービスの利用者満足度など、市民の皆様にお聞きしなければ把握できないものもあることから、このたび、アンケートにより市民の皆様にお伺いさせていただくものです。

突然のお願いで恐縮ではありますが、趣旨をご理解いただき、可能な限りご回答くださいますようお願いいたします（なお、ご事情により回答できない場合には、ご回答いただかなくて構いません）。

●市民の皆様にご協力いただきたいこと

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返信してください。

●今回のアンケートの対象者の選び方

市民の皆様の中から4,000人を、くじびきのような方法（無作為抽出）で選ばせていただきました。

●今回お送りしたもの

事業の効果に関する市民意識調査（この冊子）、返信用封筒

●プライバシーの保護には十分配慮します

この調査は、皆様から無記名でご回答いただくものであり、その結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値や表としてまとめますので、個人のお名前を公表することはございません。また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用しません。

◆◆◆ご回答にあたって◆◆◆

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでもかまいません。

ご回答は、あてはまるところ（番号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。記入が終わった調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに令和3年3月1日（月）までに、郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのご不明な点などがございましたら

札幌市総務局 改革推進室推進課 担当：牛島・岩淵 まで

TEL：011-211-2061

FAX：011-218-5194

令和2年度 札幌市  
事業の効果に関する市民意識調査 調査票

「暮らし・コミュニティ」について

問1 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために大切にされなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、これまで「子どもの権利」について知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 「子どもの権利」という言葉を聞いたことがあり、内容もある程度知っている
2. 「子どもの権利」という言葉を聞いたことがあり、内容も少しだけ知っている
3. 「子どもの権利」という言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らなかった
4. 「子どもの権利」という言葉を知らなかった

(2) あなたは、今の札幌市では、「子どもの権利」が大切にされていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

問2 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

問3 あなたは、ご自身が「社会や他人の役に立っている」、「社会や他人から必要とされている」など、社会の一員として役割を持っていると感じることがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 日頃から感じている
2. たまに感じることもある
3. あまり感じることはない
4. 全く感じることはない
5. わからない

<この設問は18歳以下のお子さんがある方にのみお聞きします。>

問4 各項目についてお答えください。

(1) 妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いる (ある)
2. いない (ない)
3. 悩んだことはない

(2) (1)で「1. いる (ある)」と答えた方にお聞きします。

あなたは、妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談や情報収集したことにより不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いつもできている
2. だいたいできている
3. あまりできていない
4. 全くできていない

<この設問は20歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。>

問5 各項目についてお答えください。

(1) あなたは、今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |              |       |                   |       |
|--------------|-------|-------------------|-------|
| 1. 感じている     | ⇒(2)✓ | 2. どちらかといえば感じている  | ⇒(2)✓ |
| 3. どちらともいえない |       | 4. どちらかといえば感じていない |       |
| 5. 感じていない    |       |                   |       |

(2) (1)で「1. 感じている」または「2. どちらかといえば感じている」を回答した方のみにお聞きします。

あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |             |       |        |          |       |
|-------------|-------|--------|----------|-------|
| 1. 家計       | 2. 仕事 | 3. 子育て | 4. 自分の健康 | 5. 家事 |
| 6. その他（具体的に |       |        |          | ）     |

<この設問からは皆様にお聞きします。>

問6 仕事と生活の調和についてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、「仕事」と「育児、家事、介護、趣味などの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |         |           |              |             |          |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

(2) あなたはどうしたら、「仕事」と「育児、家事、介護、趣味などの生活」の調和がよりとれるようになると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 1. 長時間労働の改善や休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる     |   |
| 2. 十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える            |   |
| 3. 家族、知人等の協力により育児、家事等の負担が減る         |   |
| 4. 保育・子育て育児、家事等のサービスの充実など行政の支援が得られる |   |
| 5. その他（                             | ） |

問7 あなたは、札幌市の子ども・子育て支援施策について、どの程度充実していると思いますか。各項目についてあてはまるもの一つに○をつけてください。

子ども・子育て支援施策	← 充実している ← どちらでもない → 充実していない →				
	5	4	3	2	1
子育てしやすい環境について					
①子連れでも出かけやすく楽しめる場の確保	5	4	3	2	1
②放課後の子どもの生活の場など居場所づくり	5	4	3	2	1
③子育てしやすい環境に向けた企業に対する改善の働きかけ	5	4	3	2	1
子ども支援・子育て支援サービスについて					
④待機児童対策や子育て支援サービスの提供	5	4	3	2	1
⑤いじめや虐待から子どもを守る取組	5	4	3	2	1
経済的支援について					
⑥幼児教育・保育、医療費など子育て支援にかかる費用の軽減	5	4	3	2	1

問8 あなたは、札幌市が、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問9 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさに関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなた、またはあなたの同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください（ここで言う「障がいのある方」とは、障害者手帳の有無に関わりません。）。

1. 本人 2. 配偶者 3. 子または子の配偶者 4. 子のうち18歳以下の子  
5. 親または配偶者の親 6. その他（祖父母・孫など） 7. いない

(2) あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない



問 12 次にあげるまちづくり活動\*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動とは、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等の市民まちづくり団体が行う活動に参加するなど、快適な生活空間の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための活動全般を指します。

1. ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守
2. 近隣のごみ拾い・清掃
3. 地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加
4. 雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき
5. 自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援
6. 寄附や募金
7. 通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加
8. 街路樹柵への花植えなど地域の緑化活動への参加
9. 高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認
10. 健康づくり活動への参加、病気を抱える人・高齢者・障がい者・要介護者への支援など、保健、医療、福祉の増進に関する取組
11. リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組
12. 子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加など、子どもの健全育成に関する取組
13. 音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承
14. 防災訓練への参加
15. 上記以外で、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等、市民まちづくり活動団体が行う活動への参加
16. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
17. 参加・活動していることはない

札幌市では、市の事業や施策（市政）を進めていくにあたり、できるだけ多くの市民の皆様に参加していただけるように努めているところです。

問13 札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) あなたは、説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆様が集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）に参加したことがありますか。
1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない
- (2) あなたは、パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆様から意見をいただくもの）に意見を提出したことがありますか。
1. 意見を提出したことがある    2. 知っているが意見を提出したことはない    3. 知らない
- (3) あなたは、シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）に参加したことがありますか。
1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない
- (4) あなたは、ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）に参加したことがありますか。
1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない
- (5) あなたは、審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募に応募したことがありますか。
1. 応募したことがある    2. 知っているが応募したことはない    3. 知らない

問14 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい
2. 関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい
3. 関心はあるが、参加したいとは思わない
4. 関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えても良い
5. 関心がなく、参加したいとは思わない
6. わからない

問 15 あなたは、今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること
2. 参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること
3. 参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること
4. 意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること
5. わからない
6. 必要ない

問 16 札幌市においても国際社会との関係が深まる中、あなたは、姉妹・友好都市<sup>※1</sup>をはじめとした海外諸都市との往来や外国人との交流<sup>※2</sup>等を通して、異文化を理解し、世界の都市と友好を深めていくことに関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 海外諸都市との往来や外国人との交流とは、スポーツ、文化芸術、教育、観光、経済など様々な分野における交流を指します。

1. 関心がある
2. どちらかと言えば関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

問17 あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「39」または「40」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの変更などがある競技はもとの競技に含まれます。

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル

1. ウォーキング、散歩 (健康づくりを意識した階段の上り下りなどを含む)	2. ランニング（ジョギング、マラソン）
3. 自転車、サイクリング	4. トレーニング（自宅で行う筋トレ、ストレッチなどの運動を含む）
5. 体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、器械体操などを含む）	6. なわとび
7. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなどを含む）	8. 登山、ハイキング（オリエンテーリングなどを含む）
9. フリークライミング、ボルダリング	10. 陸上競技
11. スキー	12. スノーボード
13. スケート	14. カーリング
15. アイスホッケー	16. その他のウィンタースポーツ (具体的に： )
17. キャンプ、海水浴	18. 釣り
19. マリンスポーツ（ボート、スキューバダイビングなどを含む）	20. 水泳（水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む）
21. 卓球	22. バドミントン
23. テニス、ソフトテニス	24. 野球（キャッチボールなどを含む）
25. サッカー、フットサル	26. バレーボール（ソフトバレーボールなどを含む）
27. バasketボール	28. ソフトボール
29. ドッジボール	30. ラグビー、タグラグビー
31. ボウリング	32. パークゴルフ（グラウンドゴルフなどを含む）
33. 弓道、アーチェリー、射撃	34. ゲートボール
35. ゴルフ（練習場、シミュレーションゴルフなどを含む）	36. ローラースポーツ（スケートボード、インラインスケートなどを含む）
37. 武道・格闘技（柔道、剣道、空手など）	38. その他 (具体的に： )
39. スポーツを行えなかった ⇒問19へ	40. スポーツをする気がなかった ⇒問19へ

<この設問は、問17で「1」から「38」までのいずれかに○をつけた方にのみお聞きします。>

問18 あなたが、問17で答えた運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 週に5日以上 (年251日以上)    | 2. 週に3日以上 (年151~250日) |
| 3. 週に2日以上 (年101日~150日) | 4. 週に1日以上 (年51日~100日) |
| 5. 月に1~3日 (年12日~50日)   | 6. 3ヶ月に1~2日 (年4日~11日) |
| 7. 年に1~3日              |                       |

問19 あなたは、この1年間に(テレビなどではなく)直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は「16」だけに○をつけてください。

- |                                  |                              |               |
|----------------------------------|------------------------------|---------------|
| 1. プロ野球                          | 2. プロサッカー                    | 3. プロバスケットボール |
| 4. フットサル (Fリーグ)                  | 5. マラソン                      | 6. ゴルフ        |
| 7. 相撲                            | 8. 格闘技                       | 9. ラグビー       |
| 10. ウィンタースポーツ                    | 11. その他のプロスポーツ (具体的に: )      |               |
| 12. アマチュアの野球 (児童、生徒、学生を含む)       | 13. アマチュアのサッカー (児童、生徒、学生を含む) |               |
| 14. アマチュアのバスケットボール (児童、生徒、学生を含む) |                              |               |
| 15. その他のアマチュアスポーツ (具体的に: )       | 16. 直接には何も観戦しなかった            |               |

問20 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、「3. やや不満」「4. 不満」に○をつけた方は、具体的な理由をお書きください。

(1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること (事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く)
1. 満足    2. やや満足    3. <u>やや不満</u> 4. <u>不満</u> 5. どちらともいえない
[具体的な理由: ← _____ ]
(2) 安全で良質な水道水をお届けすること
1. 満足    2. やや満足    3. <u>やや不満</u> 4. <u>不満</u> 5. どちらともいえない
[具体的な理由: ← _____ ]
(3) お客さまサービス (問い合わせ対応・広報)
1. 満足    2. やや満足    3. <u>やや不満</u> 4. <u>不満</u> 5. どちらともいえない
[具体的な理由: ← _____ ]

問21 あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取組は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. お客さま対応の向上
2. 健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化
3. 将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承
4. これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化
5. 水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新
6. 災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備
7. 環境に優しい水道事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用
8. 安全でおいしい水をお届けするために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること
9. 特にない

## 「低炭素社会・エネルギー転換」について

問22 生ごみ減量・リサイクルの取組として、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 水を切ってから生ごみを捨てている
2. 使い切れる量だけの食材を購入するよう気をつけている
3. 食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている
4. 食べ残しをしないよう気をつけている
5. ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている
6. 電動生ごみ処理機を使用している
7. その他の生ごみ減量・リサイクルの取組を行っている  
(具体的に： )
8. 特に何もしていない

問23 「生物多様性」とは、多種多様な生き物が存在し、それらが食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして互いにつながりを持っていることを表す言葉です。この生き物たちのつながりにより、地球上では豊かな生態系が保たれています。

あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 意味を知っていた
2. 言葉は知っていたが、意味までは知らなかった
3. 知らなかった

問24 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 次の再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などのうち、あなたが導入しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| 1. 次世代自動車 <sup>※1</sup>     | 2. 消費電力量見える化機器、HEMS <sup>※2</sup>        |
| 3. 太陽光発電                    | 4. 太陽熱利用                                 |
| 5. ペレットストーブ、薪ストーブ           | 6. エネファーム・コレモ（コージェネレーション <sup>※3</sup> ） |
| 7. 地中熱ヒートポンプ                | 8. エコフィール（灯油式高効率給湯・暖房機）                  |
| 9. エコジョーズ<br>（ガス式高効率給湯・暖房機） | 10. エコキュート・ヒートポンプ温水暖房<br>（電気式高効率給湯・暖房機）  |
| 11. 導入しているものはない             |  |

※1 次世代自動車：具体的には、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2 HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3 コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

(2) 次のエコライフの取組のうち、あなたが常々実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、車を所有していないなど、車を運転する機会がない方は、「22」に○をつけてください。

1. 使用していない部屋の灯りをこまめに消す
2. テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりする
3. 冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりする
4. 家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）
5. 衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない
6. 夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする
7. 温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する（または温水洗浄便座は使っていない）
8. 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする
9. 積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする
10. 駐停車中はなるべくアイドリングストップをする（またはアイドリングストップ機能がある）
11. 車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
12. 車の走行時は速度変化の少ない運転をする（無駄にアクセルやブレーキを踏まない）
13. 車の減速時はエンジンプレーキを使用する
14. カーエアコンの使用を控えるにする
15. 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う
16. 洗濯は、まとめ洗いをする
17. 風呂の残り湯を洗濯などに利用する
18. 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める
19. 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
20. 食材は無駄なく買って使い切る
21. 実践しているエコライフの取組はない
22. 車を運転する機会がない

## 「戦略を支える都市空間」について

問 25 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している     | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない  |              |

問 26 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している     | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない  | 6. 利用しない     |

最後にあなたご自身のことについてお聞きます。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢は（令和3年2月8日現在）

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70歳以上  |

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- |        |        |       |        |         |
|--------|--------|-------|--------|---------|
| 1. 中央区 | 2. 北区  | 3. 東区 | 4. 白石区 | 5. 厚別区  |
| 6. 豊平区 | 7. 清田区 | 8. 南区 | 9. 西区  | 10. 手稲区 |

ご協力ありがとうございました。同封の封筒に入れて、3月1日（月）までに投函してください。